

令和8年度 小学校施設整備事業
下黒瀬小学校長寿命化改良及びEV棟増築工事

長寿命化改良工事 1 / 2

A 建築主体工事図面目録

01	建築改修工事特記仕様書(1)	—	51	10棟	矩計図(改修前・後)	1/50	101	1棟	1階	展開図2(改修後)	1/50	151	11棟	2階	展開図2(改修後)	1/50	201	家具詳細図-4	1/30	
02	建築改修工事特記仕様書(2)	—	52	11棟	矩計図(改修前)	1/50	102	1	1階	展開図3(改修前)	1/50	152	1	2階	展開図3(改修前)	1/50	202	家具詳細図-5	1/30	
03	建築改修工事特記仕様書(3)	—	53	1	矩計図(改修後)	1/50	103	1	1階	展開図3-1(改修後)	1/50	153	1	2階	展開図3(改修後)	1/50	203	家具詳細図-6	1/30	
04	建築改修工事特記仕様書(4)	—	54	1	階段詳細図(改修前)	1/50	104	1	1階	展開図3-2(改修後)	1/50	154	1	2階	展開図4(改修前)	1/50	204	家具詳細図-7	1/30	
05	建築改修工事特記仕様書(5)	—	55	1	階段詳細図(改修後)	1/50	105	1	1階	展開図4-1(改修前)	1/50	155	1	2階	展開図4(改修後)	1/50	205	家具詳細図-8	1/30	
06	建築改修工事特記仕様書(6)	—	56	1	屋外階段詳細図(改修前)	1/50	106	1	1階	展開図4-2(改修前)	1/50	156	1	2階	展開図5(改修前)	1/50	206	家具詳細図-9	1/30	
07	建築改修工事特記仕様書(7)	—	57	1	屋外階段詳細図(改修後)	1/50	107	1	1階	展開図4-1(改修後)	1/50	157	1	2階	展開図5(改修後)	1/50	207	家具詳細図-10	1/30	
08	建築改修工事特記仕様書(8)	—	58	15棟	矩計図1(改修前)	1/50	108	1	1階	展開図4-2(改修後)	1/50	158	1	2階	展開図6(改修前)	1/50	208	家具詳細図-11	1/30	
09	外壁改修工事特記仕様書(1)	—	59	1	矩計図1(改修後)	1/50	109	1	1階	展開図4-3(改修後)	1/50	159	1	2階	展開図6(改修後)	1/50	209	家具詳細図-12	1/30	
10	外壁改修工事特記仕様書(2)	—	60	1	矩計図2(改修前)	1/50	110	1	1階	展開図5(改修後)	1/50	160	15棟	1階	展開図1(改修前)	1/50	210	家具詳細図-13	1/30	
11	外壁改修工事特記仕様書(3)	—	61	1	矩計図2(改修後)	1/50	111	1	1階	展開図6(改修前)	1/50	161	1	1階	展開図1(改修後)	1/50	211	家具詳細図-14	1/30	
-12	工事区分表	—	62	1	矩計図3(改修前)	1/50	112	1	1階	展開図6(改修後)	1/50	162	1	1階	展開図2(改修前)	1/50	212	家具詳細図-15	1/30	
13	(改修後)配置図	1/750	63	1	矩計図3(改修後)	1/50	113	1	1階	展開図7(改修前)	1/50	163	1	1階	展開図2(改修後)	1/50	213	家具詳細図-16	1/30	
14	仮設計画図	1/500	64	1	矩計図4(改修前)	1/50	114	1	1階	展開図7(改修後)	1/50	164	1	1階	展開図3(改修前)	1/50	214	家具詳細図-17	1/30	
15	1、2、10棟 外部仕上表1	—	65	1	矩計図4(改修後)	1/50	115	1	1階	展開図8(改修前)	1/50	165	1	1階	展開図3(改修後)	1/50	215	家具詳細図-18	1/30	
16	11棟 外部仕上表1	—	66	1棟	平面詳細図1(改修前)	1/50	116	1	1階	展開図8(改修後)	1/50	166	1	1階	展開図4(改修前)	1/50	216	黒板・白板・掲示板詳細図-1	1/5.30	
17	外部仕上表2	—	67	1	平面詳細図1(改修後)	1/50	117	2棟	1階	展開図1-1(改修前)	1/50	167	1	1階	展開図4(改修後)	1/50	217	黒板・白板・掲示板詳細図-2	1/5.30	
18	15棟 外部仕上表1	—	68	1	平面詳細図2(改修前)	1/50	118	1	1階	展開図1-2(改修前)	1/50	168	1	1階	展開図5(改修前)	1/50	218	黒板・白板・掲示板詳細図-3	1/5.30	
19	外部仕上表2	—	69	1	平面詳細図2(改修後)	1/50	119	1	1階	展開図1-1(改修後)	1/50	169	1棟ほか	1階	天井伏図(改修前)	1/200	219	1、2棟 部分詳細図1	1/30	
20	1、10棟 内部仕上表1	—	70	1	平面詳細図3(改修前)	1/50	120	1	1階	展開図1-2(改修後)	1/50	170	1	1階	天井伏図(改修後)	1/200	220	1	部分詳細図2	1/30
21	内部仕上表2	—	71	1	平面詳細図3(改修後)	1/50	121	1	1階	展開図2-1(改修前)	1/50	171	11棟	B1階	天井伏図(改修前・後)	1/200	221	1	部分詳細図3	1/30
22	2棟 内部仕上表1	—	72	1	平面詳細図4(改修前)	1/50	122	1	1階	展開図2-2(改修前)	1/50	172	1	1階	天井伏図(改修前・後)	1/200	222	1	部分詳細図4	1/30
23	内部仕上表2	—	73	1	平面詳細図4(改修後)	1/50	123	1	1階	展開図2(改修後)	1/50	173	1	2階	天井伏図(改修前・後)	1/200	223	1棟 部分詳細図1	1/30	
24	11棟 内部仕上表1	—	74	1	平面詳細図5(改修前・後)	1/50	124	1	1階	展開図3-1(改修前)	1/50	174	1棟ほか	1階	建具位置図(改修前)	1/200	224	1	部分詳細図2	1/30
25	内部仕上表2	—	75	2棟	平面詳細図1(改修前)	1/50	125	1	1階	展開図3-2(改修前)	1/50	175	1	1階	建具位置図(改修後)	1/200	225	2、10棟 部分詳細図1	1/30	
26	内部仕上表3	—	76	1	平面詳細図1(改修後)	1/50	126	1	1階	展開図3(改修後)	1/50	176	11棟	B1階	建具位置図(改修前・後)	1/200	226	10棟 部分詳細図1	1/30	
27	15棟 内部仕上表1	—	77	1	平面詳細図2(改修前)	1/50	127	1	1階	展開図4(改修前)	1/50	177	1	2階	建具位置図(改修前・後)	1/200	227	11棟 部分詳細図1	1/30	
28	11棟 B1階 平面図(改修前・後)	1/200	78	1	平面詳細図2(改修後)	1/50	128	1	1階	展開図4(改修後)	1/50	178	15棟	B1、2階	建具位置図(改修前・後)	1/200	228	1	部分詳細図2	1/20.1/30
29	1棟ほか 1階 平面図(改修前)	1/200	79	1	平面詳細図3(改修前)	1/50	129	1	1階	展開図5(改修前)	1/50	179	1、2、10棟	建具表1	1/100	229	1	部分詳細図3	1/30	
30	1階 平面図(改修後)	1/200	80	1	平面詳細図3(改修後)	1/50	130	1	1階	展開図5(改修後)	1/50	180	1	建具表2	1/100	230	1	部分詳細図4	1/30	
31	11棟 2階 平面図(改修前・後)	1/200	81	11棟	B1階 平面詳細図1(改修前)	1/50	131	11棟	B1階	展開図1(改修前)	1/50	181	1	建具表3	1/100	231	1	部分詳細図5	1/30	
32	1棟ほか 屋根伏図(改修前)	1/200	82	1	B1階 平面詳細図1(改修後)	1/50	132	1	B1階	展開図1(改修後)	1/50	182	11棟	建具表1	1/100	232	15棟 部分詳細図1	1/10.1/50		
33	屋根伏図(改修後)	1/200	83	1	1階 平面詳細図1(改修前)	1/50	133	1	B1階	展開図2(改修前)	1/50	183	1	建具表2	1/100	233	1	部分詳細図2	1/30	
34	11棟 屋根伏図(改修前・後)	1/200	84	1	1階 平面詳細図1(改修後)	1/50	134	1	B1階	展開図2(改修後)	1/50	184	1	建具表3	1/100	234	1	部分詳細図3	1/20.1/30	
35	15棟 B1階、2階 平面図(改修前・後) 屋根伏図(改修前・後)	1/200	85	1	1階 平面詳細図2(改修前)	1/50	135	1	B1階	展開図3(改修前)	1/50	185	15棟	建具表1	1/100	235	1	部分詳細図(共通)	1/30	
36	1、10棟 南側立面図(改修前・後)	1/200	86	1	1階 平面詳細図2(改修後)	1/50	136	1	B1階	展開図3(改修後)	1/50	186	1	建具表2	1/100	236	1	部分詳細図(水廻り)	1/30	
37	1	北側立面図(改修前・後)	1/200	87	1	2階 平面詳細図1(改修前)	1/50	137	1	1階	展開図1(改修前)	1/50	187	1、2、10棟	建具表1(解体図1)	1/100	237	1棟ほか 1階 サイン配置図(改修後)	1/200	
38	1、10、15棟 北立面図 西立面図(改修前・後)	1/200	88	1	2階 平面詳細図1(改修後)	1/50	138	1	1階	展開図1(改修後)	1/50	188	1	建具表2(解体図2)	1/100	238	11、15棟 B1、2階 サイン配置図(改修後)	1/200		
39	1	南立面図 東立面図(改修前・後)	1/200	89	1	2階 平面詳細図2(改修前)	1/50	139	1	1階	展開図2(改修前)	1/50	189	1	建具表3(解体図3)	1/100	239	1	サイン詳細図	1/10
40	2棟 南側、東側立面図(改修前・後)	1/200	90	1	2階 平面詳細図2(改修後)	1/50	140	1	1階	展開図2(改修後)	1/50	190	11棟	建具表1(解体図1)	1/100	240	1、10棟 南側立面図 劣化図1	1/100		
41	1	北側、西側立面図(改修前・後)	1/200	91	1	B1階 便所平面詳細図(改修前・後)	1/50	141	1	1階	展開図3(改修前・後)	1/50	191	1	建具表2(解体図2)	1/100	241	1	北側立面図 劣化図2	1/100
42	EV棟・11棟 南立面図 東立面図(改修前・後) EV棟 断面図	1/200	92	1	階段詳細図(改修前)	1/50	142	1	1階	展開図3(改修後)	1/50	192	15棟	建具表1(解体図1)	1/100	242	1	西側、東側立面図 劣化図3	1/100	
43	1	北立面図 西立面図(改修前・後) EV棟 断面図	1/200	93	1	階段詳細図(改修後)	1/50	143	1	1階	展開図4(改修後)	1/50	193	1	建具表2(解体図2)	1/100	243	2棟 南側、東側立面図 劣化図1	1/100	
44	1、10棟 X-X断面図(改修前・後)	1/200	94	1	屋外階段 詳細図(改修前)	1/50	144	1	1階	展開図5(改修前)	1/50	194	1、2、10、11、15棟	1階 家具配置図(改修後)	1/200	244	1	北側、西側立面図 劣化図2	1/100	
45	1、10、15棟 Y-Y断面図(改修前・後)	1/200	95	1	屋外階段 詳細図(改修後)	1/50	145	1	1階	展開図5(改修後)	1/50	195	11棟	2階 家具配置図(改修後)	1/200	245	11棟 北側立面図 劣化図1	1/100		
46	2棟 各断面図(改修前・後)	1/200	96	15棟	1階 平面詳細図1(改修前)	1/50	146	1	1階	展開図6(改修前)	1/50	196	1	家具共通仕様書-A仕様	1/30	246	1	北側立面図 劣化図2	1/100	
47	11棟 断面図(改修前・後)	1/200	97	1	1階 平面詳細図1(改修後)	1/50	147	1	1階	展開図6(改修後)	1/50	197	1	家具共通仕様書-2B・C仕様	1/30	247	1	南側立面図 劣化図3	1/100	
48	1棟 矩計図(改修前・後)	1/50	98	1棟	1階 展開図1(改修前)	1/50	148	1	2階	展開図1(改修前)	1/50	198	1	家具詳細図-1	1/30	248	1	南側立面図 劣化図4	1/100	
49	2棟 矩計図1(改修前・後)	1/50	99	1	1階 展開図1(改修後)	1/50	149	1	2階	展開図1(改修後)	1/50	199	1	家具詳細図-2	1/30	249	1	南側立面図 劣化図5	1/100	
50	1	矩計図2(改修前・後)	1/50	100	1	1階 展開図2(改修前)	1/50	150	1	2階	展開図2(改修前)	1/50	200	1	家具詳細図-3	1/30	250	1	西側、東側立面図 劣化図6	1/100

<p>I. 工事概要等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事情況: 令和8年度 小学校施設整備事業 下黒瀬小学校長寿命化改良及びE.V棟増築工事 2. 工事場所: 広島県広島市東区大字津江 3. 敷地面積: 33.692.29㎡ 4. 構造規模: 鉄筋コンクリート造1階1号 <p>5. 工事種目: 長寿命化改良工事</p> <p>6. 別途工事:</p> <p>7. 調査協力について 本工事は契約不適合の責任を明確にするため、受注者の立会いのもと不適合調査(発注者作成)に沿って検査を行うため、発注者から連絡があれば対応すること。 ○引渡し後 概ね1年目後 ○引渡し後 概ね2年目後(設備機器本体等は除く)</p> <p>8. 公共災害防止措置 (1) 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危機、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。 (2) 上記について、「建設工事公共災害防止対策要綱(平成5年1月12日 建設事務次官通達)」に基づき実施すること。 (3) 掘削作業前には、必ず既存の設備面画或は改修履歴等を確認し、配線・配管の有無を確認すること。また、掘削作業時は、必要に応じて、設備業者と立会を依頼すること。</p> <p>9. 現状復旧 工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、受注者の責任において現状復旧を行うこと。</p> <p>10. 主要資材等 (1) 主要資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に営業所・本店を有する業者に発注するものとし、予め購入先の名前所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする。 (2) 当該工事に使用する砂については、海砂(県外産を含む)を使用しないこと。 (3) この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部(主体的部分を除く)を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。</p>	<p>⑦ 建設発生土</p> <p>⑧ 環境への配慮 [1. 4. 1]</p> <p>⑨ 材料の品質等 [1. 4. 2]</p>	<p>※ 工事現場外に搬出し、関係法令等に基づき、適切に処理する。 ・ 構内指示場所に堆積 ・ 構内指示場所に敷き均し</p> <p>化学物質を放射させる建築材料等 本工事の建物内等に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1) 合板、本質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しない又は放射が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放射量」の区分に応じた材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びビニルピレンの含有量が少量の材料を使用する。 (3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む)を有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 (4) (1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しないか、放射が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放射量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の第7項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド放射建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の第7項に定める第三種ホルムアルデヒド放射建築材料 ④建築基準法施行令第20条の第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 備考による環境汚染等の評価の推奨等に関する法律(平成17年法律第10号)に基づき制定された「広域高汚染大規模大汚染」に掲載されている自治体については、他の特記事項及び前面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選択するよう努めるものとする。</p> <p>材料・織材等の品質及び性能 (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(6)に指定する材料の製造業者等は、次の①～④の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書等)を監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること ②生産施設及び品質管理を適切に行っていること ③安定した供給が可能であること ④法令等で定められた許可、認可、認定又は免許を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売・保守等の営業体制を整えていること ⑦製造業者等に関係する資料の提出を定める材料</p> <table border="1"> <tr><td>床型枠用固定デッキプレート</td><td>オーバーヘッドドア</td></tr> <tr><td>鉄骨柱下無収縮モルタル</td><td>防水剤</td></tr> <tr><td>無収縮グラウト材</td><td>現場発泡断熱材</td></tr> <tr><td>乾式保潔材</td><td>フリーアクセスフロア</td></tr> <tr><td>既設合モルタル</td><td>可動間仕切り</td></tr> <tr><td>既設合自地材</td><td>移動間仕切り</td></tr> <tr><td>ルーフトレイン</td><td>トイレブース</td></tr> <tr><td>吸気調整機</td><td>矢形砂袋口</td></tr> <tr><td>鉛防雨</td><td>食品格口</td></tr> <tr><td>クローザ類</td><td>グレーチング</td></tr> <tr><td>自動昇降機</td><td>屋上緑化システム</td></tr> <tr><td>閉閉式上吊り引戸機構</td><td>フラットライト</td></tr> <tr><td>重量リフター</td><td>ポリマーセメントモルタル</td></tr> <tr><td>軽量シャッター</td><td>鏡嵌りふた</td></tr> </table>	床型枠用固定デッキプレート	オーバーヘッドドア	鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤	無収縮グラウト材	現場発泡断熱材	乾式保潔材	フリーアクセスフロア	既設合モルタル	可動間仕切り	既設合自地材	移動間仕切り	ルーフトレイン	トイレブース	吸気調整機	矢形砂袋口	鉛防雨	食品格口	クローザ類	グレーチング	自動昇降機	屋上緑化システム	閉閉式上吊り引戸機構	フラットライト	重量リフター	ポリマーセメントモルタル	軽量シャッター	鏡嵌りふた	<p>12 調査のための破壊部分の補修 [1. 6. 3]</p> <p>13 技術士 [1. 7. 2]</p>	<table border="1"> <tr> <th>補修方法</th> <th>※図示</th> <th>技術士によるは、積極的な活用を図ること。</th> </tr> <tr> <td>工事種目</td> <td>技能検定職種</td> <td>技能検定作業</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>防水施工</td> <td>アスファルト防水工事 ウレタンゴム系透膜防水工事 アクリルゴム系透膜防水工事 合成ゴム系シート防水工事 塩化ビニルシート防水工事 セメント系防水工事 シーリング防水工事 改質アスファルトシート工法防水工事 FRP防水工事</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り</td> <td>樹脂接着剤注入工事 左官作業 タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工</td> <td>ビル用サッシ施工 ガラス工事 自動ドア施工 建築フィルム作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>塗装</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>タイル張り 建築木工 建築板金</td> <td>タイル張り作業 木工工事 建築板金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官 内装仕上施工</td> <td>左官作業 プラスチック系床仕上げ工事 カーペット系床仕上げ工事 ボード仕上げ工事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表紙</td> <td>壁紙作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>とび</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋施工 型枠施工 コンクリート圧送施工</td> <td>鉄筋組立作業 型枠組立作業 コンクリート圧送工事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄工</td> <td>構造物組立作業</td> </tr> <tr> <td>環境配慮改修工事</td> <td>配管 路面表示施工 造園</td> <td>建築配管作業 消熱ペイントハンドマーカ-工事 加熱ペイントマシンマーカ-工事 造園工事</td> </tr> </table>	補修方法	※図示	技術士によるは、積極的な活用を図ること。	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	とび作業	防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事 ウレタンゴム系透膜防水工事 アクリルゴム系透膜防水工事 合成ゴム系シート防水工事 塩化ビニルシート防水工事 セメント系防水工事 シーリング防水工事 改質アスファルトシート工法防水工事 FRP防水工事	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り	樹脂接着剤注入工事 左官作業 タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工	ビル用サッシ施工 ガラス工事 自動ドア施工 建築フィルム作業	塗装改修工事	塗装	建築塗装作業	内装改修工事	タイル張り 建築木工 建築板金	タイル張り作業 木工工事 建築板金		左官 内装仕上施工	左官作業 プラスチック系床仕上げ工事 カーペット系床仕上げ工事 ボード仕上げ工事		表紙	壁紙作業		とび	とび作業		鉄筋施工 型枠施工 コンクリート圧送施工	鉄筋組立作業 型枠組立作業 コンクリート圧送工事		鉄工	構造物組立作業	環境配慮改修工事	配管 路面表示施工 造園	建築配管作業 消熱ペイントハンドマーカ-工事 加熱ペイントマシンマーカ-工事 造園工事	<p>① 電子納品</p> <p>② 工事情報共有システム</p> <p>③ 施工図及び施工計画書</p> <p>④ 設備工事との取合い</p> <p>⑤ 撤去部分</p> <p>⑥ 適用区分</p> <p>⑦ 騒音・振動の防止</p> <p>⑧ 施工中の安全保障</p> <p>⑨ 実施工程表 [1. 2. 1]</p> <p>⑩ 工程報告</p> <p>⑪ 保証書</p> <p>29 コンクリートの試験 (8.8.1~6)</p> <p>30 工事区分</p>	<p>※電子納品対象工事とし、「電子納品・電子検査事前チェックシート(営業用)」により監督職員と事前に協議した対象書類について、電子媒体により提出する。電子成果品の作成については「営業用電子納品要領」による。 【提出部数】 2部</p> <p>(1) 本工事は、受発注者の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム (http://shotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html) (3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサブスプロバイダ(以下「サブスプロバイダ」という)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4) 受注者は、監督職員又はサブスプロバイダから技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等が求められた場合、協力しなければならない。</p> <p>提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。</p> <p>設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重等の算定には次の表を用いる。 基準風速 $V_{50} = 32 \text{ m/s}$ 地表風速区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV 積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表(34)</p> <p>「低騒音・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する。</p> <p>・同一場所で別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべきとして本工事現場代理人を指名する。 ①労働安全衛生法第15条に基づき統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約後直ちに「統括安全衛生責任者選任届出書」(任意様式)を提出すること。</p> <p>工事期間は建築設備を含んだ期間とし、工事全体を把握して作成し、監督職員の承諾を受け。</p> <p>別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月2回1部提出すること。</p> <p>次の工事について保証書を提出すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>工事区分</th> <th>材 料 名</th> <th>保証年数</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">○防水改修工事</td> <td>・アスファルト防水</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシート防水</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>・合成高分子ルーフィング防水</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>・接着防水</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※コンクリートの強度試験 公的機関又はこれに準ずる機関で行う。ただし、調査管理強度の管理試験用及び型枠取外し時期の決定については、生コン工場試験室でもよい。</p> <p>工事区分表による</p> <p>2 仮設工事</p> <p>① 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]</p> <p>② 足場等 [2.2.1] [表2.2.1]</p> <p>3 既存部分の養生 [2.3.1]</p> <p>4 仮設間仕切り [2.3.2] [表2.3.1]</p> <p>5 監督職員事務所等 [2.4.1]</p> <p>6 工事用水</p> <p>7 工事用電力</p> <p>8 仮囲い等の安全施設</p> <p>9 工事現場の表示</p> <p>10 交通誘導員</p> <p>11 快適トイレモデル工事</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する(範囲) 工事に必要な範囲 ・設置しない 内部足場 ○設置する(脚立、足場板等) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種: 利用可能なエレベーター() D種: 利用可能な階段()</p> <p>養生方法等 [2.3.1] ・ 既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等(取外し再取付を行う) 保護場所 ※ 構内既存施設内 ・ 固定された家具等(備品、机、ロッカー等)の移動 ※行う(図示) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p> <p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] [表2.3.1] 仮設間仕切りの種類と材質等 ・ A種 ※ 自働 ・ C種 図示 ・ A、B種の仕上げ材 ※ セッコウボード (90-R 厚さ95mm) ・ 合板 (普通合板 厚さ9mm) A、B種の片面への塗装等 ※ 行わない ・ 行う A種のガラスウールの充填 ※ 行う (JIS A 630 1 グラスウール吸音材 32 K 厚50mm) ・ 行わない</p> <p>仮設扉の種類 ・ 木製 (合板張り程度) ・ 鋼製</p> <p>※ 設ける 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による。</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない</p> <p>別紙設計図による</p> <p>現場の見やすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ・ 工事名等の表示板 (900mm×600mm) ・ 工事概要等の説明看板 (900mm×600mm) 仕様等の詳細は仕様書等の「現場指示板について」を参照のこと。 ・ 配置する ・ 配置しない ○大型車両進入時 () 人/日 ○常時配置 () 人/日 ・ () 作業期間 () 人/日</p> <p>本工事は快適トイレモデル工事(※発注者指定型・受注者希望型)であり、「快適トイレモデル工事実施要領(最新版)」に基づき実施するものとする。 快適トイレチェックシートの様式は、「広島県の環境情報」の「様式集>建設工事関係」その他の契約関係の様式に掲載している。 また、完成検査までに提出するアンケートは、「広島県の環境情報」の「入札・契約制度」入札・契約制度関係要綱に掲載している。</p>	工事区分	材 料 名	保証年数	備 考	○防水改修工事	・アスファルト防水	年	漏水の場合等	・改質アスファルトシート防水	年	漏水の場合等	・合成高分子ルーフィング防水	年	漏水の場合等	・接着防水	年	漏水の場合等				
床型枠用固定デッキプレート	オーバーヘッドドア																																																																																																
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤																																																																																																
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材																																																																																																
乾式保潔材	フリーアクセスフロア																																																																																																
既設合モルタル	可動間仕切り																																																																																																
既設合自地材	移動間仕切り																																																																																																
ルーフトレイン	トイレブース																																																																																																
吸気調整機	矢形砂袋口																																																																																																
鉛防雨	食品格口																																																																																																
クローザ類	グレーチング																																																																																																
自動昇降機	屋上緑化システム																																																																																																
閉閉式上吊り引戸機構	フラットライト																																																																																																
重量リフター	ポリマーセメントモルタル																																																																																																
軽量シャッター	鏡嵌りふた																																																																																																
補修方法	※図示	技術士によるは、積極的な活用を図ること。																																																																																															
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																															
仮設工事	とび	とび作業																																																																																															
防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事 ウレタンゴム系透膜防水工事 アクリルゴム系透膜防水工事 合成ゴム系シート防水工事 塩化ビニルシート防水工事 セメント系防水工事 シーリング防水工事 改質アスファルトシート工法防水工事 FRP防水工事																																																																																															
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り	樹脂接着剤注入工事 左官作業 タイル張り作業																																																																																															
建具改修工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工	ビル用サッシ施工 ガラス工事 自動ドア施工 建築フィルム作業																																																																																															
塗装改修工事	塗装	建築塗装作業																																																																																															
内装改修工事	タイル張り 建築木工 建築板金	タイル張り作業 木工工事 建築板金																																																																																															
	左官 内装仕上施工	左官作業 プラスチック系床仕上げ工事 カーペット系床仕上げ工事 ボード仕上げ工事																																																																																															
	表紙	壁紙作業																																																																																															
	とび	とび作業																																																																																															
	鉄筋施工 型枠施工 コンクリート圧送施工	鉄筋組立作業 型枠組立作業 コンクリート圧送工事																																																																																															
	鉄工	構造物組立作業																																																																																															
環境配慮改修工事	配管 路面表示施工 造園	建築配管作業 消熱ペイントハンドマーカ-工事 加熱ペイントマシンマーカ-工事 造園工事																																																																																															
工事区分	材 料 名	保証年数	備 考																																																																																														
○防水改修工事	・アスファルト防水	年	漏水の場合等																																																																																														
	・改質アスファルトシート防水	年	漏水の場合等																																																																																														
	・合成高分子ルーフィング防水	年	漏水の場合等																																																																																														
	・接着防水	年	漏水の場合等																																																																																														
<p>II. 建築改修工事仕様</p> <p>1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁官制部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。 図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁官制部制定「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」以下、「標準仕様書」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様 (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 ○印と ※ 印のついた場合は共に適用する。 (3) 項目に記載 [] の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。() の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 工事施工に必要な官公署その他への手続き及び届出は、全て受注者の負担において滞りなく行うこと。 (5) 関係法令の改正等により(条約を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。 (6) 材料及び製造等の特記は順不同である。</p>	<p>① 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]</p> <p>① 施工数量調査 [1. 6. 2]</p>	<p>調査 ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 賃与資料(調査報告書)</p> <p>・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクリライト、アモサイト、アソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="2">分析方法(定性)</th> <th>分析方法(定量)</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3、JIS A 1481-4 又はJIS A 1481-5</td> <td>JIS A 1481-3、JIS A 1481-4 又はJIS A 1481-5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </table> <p>材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示</p> <p>調査範囲 ※外壁(庇、笠木共) ・ 屋根 ・ 図示 調査方法 ※テスタハンマーによる打診及び目視 ・ 図示 外壁調査は、外壁面のひび割れ、浮き、欠陥部、内部まで貫通しているひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠陥部、目地欠陥部及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し、ひび割れ等の集計表を添えて監督職員に提出する。(必要に応じ写真等も添付する。)</p>	材料名	分析方法(定性)		分析方法(定量)	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4 又はJIS A 1481-5	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4 又はJIS A 1481-5		・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	<p>① 中間検査</p> <p>① 工事写真等</p> <p>① 完成時の提出図書</p>	<p>測定対象箇所及び測定箇所数は図示による。 (1) ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指標値以下であることを確認し、監督職員に報告する。測定箇所は仕上表により、施工方法は施工条件明示による。 パッシブ型採取器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ①30分間換気 測定対象のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。 ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として2.4時間とする。ただし工程等の都合により、2.4時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間の中央となるよう、10時30分~18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること。 (2) 木材の防霉・防蟻処理剤は、クロロピク、ダイオキシジン及びフェノカルボンを含有しない薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で十分に乾燥させた後現場に搬入する。 (3) 保温材、断熱材、経路材については、ホルムアルデヒドを放射しないか放射が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 (4) 塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ない安全等級のものとする。 (5) 屋内に面して用いる材料は、上記(2)~(4)に適合した上で、揮発性有機化合物の放射が無く害しくは極めて少ないものを選択するよう努め、(1)の規定を満たすこと。 ※行う(回数及び時期については監督職員の指示による)</p> <p>下記のものを監督職員に提出する。工事写真等及び完成写真の撮影は国土交通大臣官庁官制部制定の「工事写真等撮影要領」によるものとする。 「十一」工事写真 「工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の様相を補完する工事工程報告書」に添付するものとする。 (2) 工事写真 水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査・確認する事が出来ない部分、及びその他監督職員が指示する箇所は、適切に写真等を整備するものとする。 (3) 完成写真 【撮影箇所】建物外観各方向、主要箇所、主要室内その他監督職員が指示する箇所 【規格・提出部数】※A4版クリアファイル 3部 ・ A2版 1部 【完成写真の撮影業者】・監督職員の承諾する撮影業者 (4) その他の写真 隣接建物等に損傷のおそれがある場合は、施工前・施工後の写真を監督職員の指示により提出するものとする。 (5) 保管 工事写真のデータ等は、受注者において工事完成後3年間保管すること。</p> <p>※提出を要する 完成図書:1部 (1) 完成図 【完成図の種類】(※全て ・) 【作成方法】 ①原則としてCADにて修正を行う。このとき、図面内の適当な位置に「完成図」と表示すること。 ②施工図・保安に関する資料で、完成図として提出すべきものについては、監督職員の指示による【提出部数】二つ折紙本(※A3版 3部 ・ A2版 1部) (2) 建物仕様に関する資料(保安システムシステム) 監督職員が指定する様式で作成する。</p>	<p>2 仮設工事</p> <p>① 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]</p> <p>② 足場等 [2.2.1] [表2.2.1]</p> <p>3 既存部分の養生 [2.3.1]</p> <p>4 仮設間仕切り [2.3.2] [表2.3.1]</p> <p>5 監督職員事務所等 [2.4.1]</p> <p>6 工事用水</p> <p>7 工事用電力</p> <p>8 仮囲い等の安全施設</p> <p>9 工事現場の表示</p> <p>10 交通誘導員</p> <p>11 快適トイレモデル工事</p>																																																																									
材料名	分析方法(定性)			分析方法(定量)																																																																																													
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4 又はJIS A 1481-5	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4 又はJIS A 1481-5																																																																																														
	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																																																																																														
	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																																																																																														
	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																																																																																														

3	① 降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5)⑦～⑨による。	[3.1.3]																																																																												
	② 既存防水の処理	既存保護層の除去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) () [3.1.4] [3.2.3, 4, 6] ○ 行わない 既存防水層の除去 ○ 行う (範囲 ○ 図示) () ○ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (・ M4S ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)																																																																													
4	③ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6] POS工法及びPOSI工法(機械的固定工法)の既存保護層を除去し防水層を非除去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸線の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する																																																																													
	④ アスファルト防水	屋根保護防水 [3.3.2～5] 防水層の種類 <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>絶縁シート</th><th>立上り部の保護</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">P2A</td><td>A-1</td><td rowspan="2">※A-2 ※A-3</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m2程度</td><td rowspan="2">・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え ※JIS R 1250</td></tr><tr><td>B-1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">P1B</td><td>B-2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B-2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">P2A1</td><td>A1-1</td><td rowspan="2">※A1-2 ※A1-3</td><td rowspan="2">(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断 熱材3種b A (スキン層 付き) (厚さ)(mm) ※25 ・ 50</td><td rowspan="2">※フラット ヤーンクロス 70g/m2程度</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>A1-2</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">P1B1</td><td>B1-1</td><td rowspan="2">※B1-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B1-2</td><td></td></tr></tbody></table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ こて仕上げ ※ 水 下 80mm以上 床タイル張り ※ 水 下 60mm以上 乾式保護材 高寒系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。 (品質・性能) <table border="1"><thead><tr><th>分類・規格</th><th>高寒系パネル I類</th><th>金属複合板</th></tr></thead><tbody><tr><td>寸法 (mm)</td><td>厚さ (mm) 幅 (mm)</td><td></td></tr><tr><td>寸法の許容差</td><td>厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%</td><td></td></tr><tr><td>出荷時の含水率</td><td>厚さ: 40%以下、幅: 10%以下</td><td></td></tr><tr><td>曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)</td><td>厚さ: 550以上 凍結融解完了後 (スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)</td><td>300以上 250以上 (300)</td></tr><tr><td>吸水率 (%)</td><td>20以下</td><td>1以下</td></tr><tr><td>吸水による長さ変化率 (%)</td><td>0.07以下</td><td>0.01以下</td></tr><tr><td>難燃性</td><td>不燃</td><td>表面材は不燃</td></tr><tr><td>耐凍結融解性能</td><td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないことと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)</td><td></td></tr><tr><td>耐衝撃性能</td><td>質量500g (高寒系パネル I類) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。</td><td>質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。</td></tr><tr><td>剛性 (E×I)</td><td>—</td><td>80,000・cm²以上</td></tr><tr><td>(スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> (試験方法) (1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の厚さを20mm以上内側の四角を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンパクトスループ又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築物ポード製の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央金剛線に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(高寒系パネル I類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 (3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 (4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁シート	立上り部の保護	P2A	A-1	※A-2 ※A-3		※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m2程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え ※JIS R 1250	B-1		P1B	B-2					B-2					P2A1	A1-1	※A1-2 ※A1-3	(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断 熱材3種b A (スキン層 付き) (厚さ)(mm) ※25 ・ 50	※フラット ヤーンクロス 70g/m2程度		A1-2		P1B1	B1-1	※B1-2				B1-2		分類・規格	高寒系パネル I類	金属複合板	寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)		寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%		出荷時の含水率	厚さ: 40%以下、幅: 10%以下		曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	厚さ: 550以上 凍結融解完了後 (スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	300以上 250以上 (300)	吸水率 (%)	20以下	1以下	吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下	難燃性	不燃	表面材は不燃	耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないことと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)		耐衝撃性能	質量500g (高寒系パネル I類) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	剛性 (E×I)	—	80,000・cm ² 以上	(スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)		
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁シート	立上り部の保護																																																																										
P2A	A-1	※A-2 ※A-3		※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m2程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え ※JIS R 1250																																																																										
	B-1																																																																														
P1B	B-2																																																																														
	B-2																																																																														
P2A1	A1-1	※A1-2 ※A1-3	(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断 熱材3種b A (スキン層 付き) (厚さ)(mm) ※25 ・ 50	※フラット ヤーンクロス 70g/m2程度																																																																											
	A1-2																																																																														
P1B1	B1-1	※B1-2																																																																													
	B1-2																																																																														
分類・規格	高寒系パネル I類	金属複合板																																																																													
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)																																																																														
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%																																																																														
出荷時の含水率	厚さ: 40%以下、幅: 10%以下																																																																														
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	厚さ: 550以上 凍結融解完了後 (スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	300以上 250以上 (300)																																																																													
吸水率 (%)	20以下	1以下																																																																													
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下																																																																													
難燃性	不燃	表面材は不燃																																																																													
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないことと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)																																																																														
耐衝撃性能	質量500g (高寒系パネル I類) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。																																																																													
剛性 (E×I)	—	80,000・cm ² 以上																																																																													
(スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)																																																																															

(5)	① 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験体の標線間隔を140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験体の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平で約30mmとなるように保持して、常温の水の中に浸せきする。24時間経過した後、試験体水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。	
	(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「高寒系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(高寒系パネ I類は200サイクルまでとする。)	
②	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
③	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
④	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
⑤	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
⑥	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
⑦	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
⑧	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
⑨	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
⑩	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	

6	①	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
②	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
③	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
④	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑤	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑥	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑦	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑧	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑨	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑩	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		

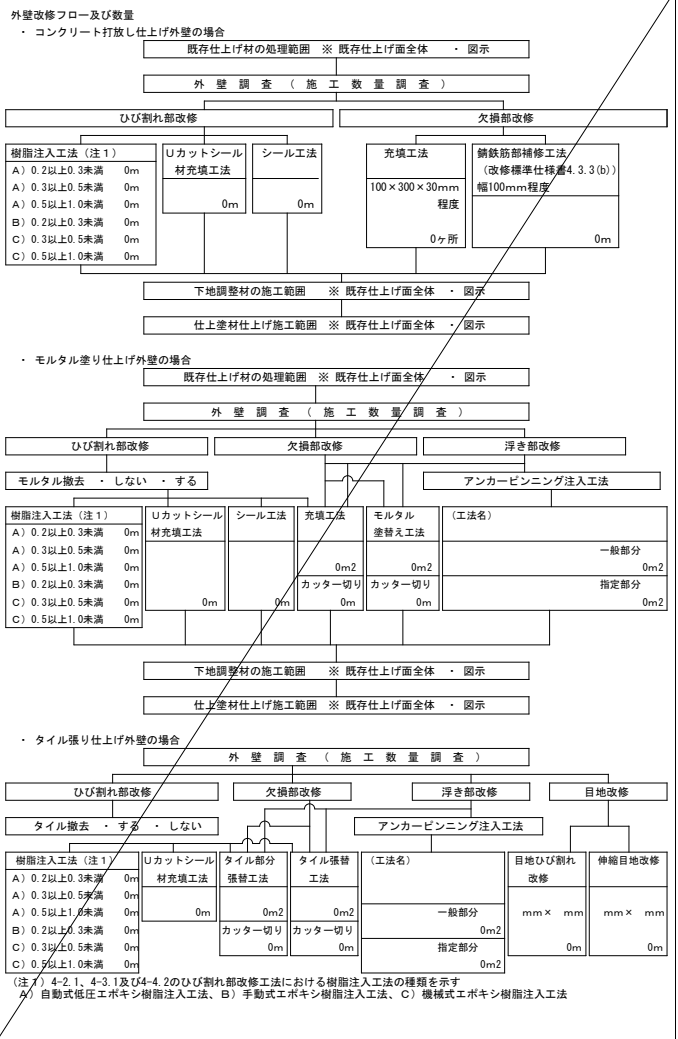
7	①	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)	
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
②	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
③	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
④	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑤	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑥	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑦	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑧	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑨	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
⑩	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)		

①	ポリマーセメントモルタル	(品質・性能) [4. 2. 2]	4 2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)														
	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr> <tr><td>だれ</td><td>下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。</td></tr> <tr><td>曲げ強さ (N/mm²)</td><td>6.0以上</td></tr> <tr><td>圧縮強さ (N/mm²)</td><td>20.0以上</td></tr> <tr><td>接着強さ (N/mm²)</td><td>標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 遅温時 0.5以上 低温時 0.5以上</td></tr> <tr><td>透水性</td><td>裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エポキシ樹脂系は、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。</td></tr> </table>	項目		品質・性能	だれ	下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。	曲げ強さ (N/mm ²)	6.0以上	圧縮強さ (N/mm ²)	20.0以上	接着強さ (N/mm ²)	標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 遅温時 0.5以上 低温時 0.5以上	透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。	その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エポキシ樹脂系は、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	
項目	品質・性能																
だれ	下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。																
曲げ強さ (N/mm ²)	6.0以上																
圧縮強さ (N/mm ²)	20.0以上																
接着強さ (N/mm ²)	標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 遅温時 0.5以上 低温時 0.5以上																
透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。																
その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エポキシ樹脂系は、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。																
②	ポリマーセメントスラリー	(品質・性能) [4. 2. 2]	4 1 3 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁)														
③	吸水調整材	改修標準仕様書表4.3.2による [4. 3. 5]															
④	既調合モルタル	モルタル下地としたタイル工事に使用する種付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能)	4 1 4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)														
	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>品質・性能</th><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr> <tr><td>保水率</td><td>70.0%以上</td><td>長さ変化率</td><td>0.20%以下</td></tr> <tr><td>単位容積質量</td><td>1.80 kg/L以上</td><td>曲げ強さ</td><td>4.0N/mm²以上</td></tr> <tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60N/mm²以上 遅冷繰り返し後 0.40N/mm²以上</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるのに要する材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。 繰り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料とする。</p> <p>(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロントガラス及び磨きガラス」に規定する磨きガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング状(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング状の上部にガラス板を当てて下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さ×ノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50:リング型状の内径 mm</p> <p>(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。</p> <p>(4) 接着強さ(標準時)の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N=300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付けする。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による胎枠の「50角ユニットタイル(外寸約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シボ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さを試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び取り取る。(全てが0.6N/mm²以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N=300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付けする。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による胎枠の「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ(遅冷繰り後)の試験方法 (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (遅冷繰り後)の試験方法「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11遅冷繰り後試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せかけた後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰り返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びぬれの有無を目標によって調べる。 (遅冷繰り後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々遅冷繰り後試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上を確保していること)</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーエポキシ樹脂及び再乳化粉未樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p>	項目		品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm ² 以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm ² 以上 遅冷繰り返し後 0.40N/mm ² 以上	
項目	品質・性能	項目	品質・性能														
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下														
単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm ² 以上														
接着強さ	標準時 0.60N/mm ² 以上 遅冷繰り返し後 0.40N/mm ² 以上																

①	ひび割れ部改修工法	③ 樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4. 5. 6. 7]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)																																																			
	② 欠損部改修工法	③ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4. 8]																																																				
①	ひび割れ部改修工法	③ モルタルを撤去しないで改修 [4. 1. 4] [4. 3. 5. 6. 7. 8]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)																																																			
	② 欠損部改修工法	③ 充填工法 [4. 1. 4] [4. 3. 9. 10]																																																				
③	浮き部改修工法	③ モルタルを撤去しないで改修 [4. 1. 4] [4. 3. 11~16]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)																																																			
	④ 外壁検査改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁検査改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする																																																				
1	タイルの形状、寸法等	タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 ・ JIS A 5557による一液反応硬化型シリコン樹脂系 タイルの形状、寸法等	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)																																																			
	⑤ 接着強さ(遅冷繰り後)の試験方法	<table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>形状/寸法</th><th>再生材料</th><th>吸水率</th><th>区分</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑り性</th><th>備考</th></tr> <tr><td></td><td>(mm)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12節: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4-1.0とする。</p> <p>役物の使用箇所</p> <table border="1"> <tr><th>内装</th><th>出隅</th><th>天端</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>見本焼き ・行方(施工箇所): ※行わない ・試験後(施工箇所): ※行わない</p>		施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率	区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考		(mm)																																内装	出隅	天端				
施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率	区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																												
	(mm)																																																					
内装	出隅	天端																																																				
2	ひび割れ部改修工法	③ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁)による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)																																																			

3	欠損部改修工法	③ 樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5. 7. 8]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)
	④ 浮き部改修工法	③ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5. 9~15] [4. 5. 9~15]	
5	目地改修工法	③ 目地改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5. 16]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)
	6 外壁検査改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁検査改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする	
①	既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	③ 樹脂注入工法 [4. 5. 4]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)
	② 下地調整材	③ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4. 5. 2]	

③	仕上塗材仕上げ	③ 仕上塗材仕上げ [4. 1. 5] [4. 5. 2] [表4. 5. 1]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)
	④ マスチック塗材塗り	③ マスチック塗材塗り [4. 1. 5] [4. 6. 2] [表4. 6. 1]	
5	外壁用差込防水材塗り	③ 外壁用差込防水材塗り [4. 1. 5] [4. 7. 2. 3] [表4. 7. 1]	4 1 4 5 外壁改修工事(仕上げ外壁)
	⑤ 外壁改修フロー及び数量	③ 外壁改修フロー及び数量 [4. 1. 5] [4. 7. 2. 3] [表4. 7. 1]	



5 建具 改修 工事	① 改修工法	<p>[5. 1. 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○ アルミ製建具</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ 樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>○ 外部</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ 内部</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製軽量建具</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口のけ方 ※ 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○ アルミ製建具	-	○	※ 建具表による	・ 樹脂製建具	-	○	※ 建具表による	○ 鋼製建具	○ 外部	○	※ 建具表による	・ 内部	-	○	※ 建具表による	○ 鋼製軽量建具	-	○	※ 建具表による	・ ステンレス製建具	-	-	※ 建具表による	9 鋼製軽量建具	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 6. 2~4]	10 ステンレス製建具	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	11 建具用金物	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	12 鍵	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	13 自動ドア開閉装置	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	14 自閉式上り引戸装置	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	15 重量シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	16 軽量シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	17 オーバーヘッドドア	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	18 木製建具	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																														
	○ アルミ製建具	-	○	※ 建具表による																																														
	・ 樹脂製建具	-	○	※ 建具表による																																														
	○ 鋼製建具	○ 外部	○	※ 建具表による																																														
	・ 内部	-	○	※ 建具表による																																														
	○ 鋼製軽量建具	-	○	※ 建具表による																																														
	・ ステンレス製建具	-	-	※ 建具表による																																														
	② 防火戸	<p>[5. 1. 4]</p> <p>○ 適用する 指定箇所 (建具表による)</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・ 連動させる 適用箇所 (○建具表による)</p> <p>・ 連動させない</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																								
	3 見本の製作等	<p>[5. 1. 5]</p> <p>建具見本の製作 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない</p> <p>特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																								
4 防犯建物部品	<p>[5. 1. 7]</p> <p>・ 適用する 適用箇所 (※ 建具表による)</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																									
⑤ アルミニウム製建具	<p>[5. 2. 2~5] [表 5. 2. 2]</p> <p>性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()</p> <p>※ 改修標準仕様書表 5. 2. 1による種別 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5. 5. 11による 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																									
⑥ 網戸等	<p>[5. 2. 3] [5. 3. 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○ 防虫網</td> <td>・ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製</td> <td>○ 0. 25mm以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1. 5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	○ 防虫網	・ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	○ 0. 25mm以上	※ 16~18メッシュ	・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																													
種類	材質	線径	網目																																															
○ 防虫網	・ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	○ 0. 25mm以上	※ 16~18メッシュ																																															
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																															
⑦ 樹脂製建具	<p>[5. 2. 2] [5. 3. 2~5]</p> <p>性能値等 ・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()</p> <p>※ 改修標準仕様書表 5. 3. 1による種別 外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 (建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 (建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 () 取付工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する ガラス ※ 複層ガラス</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																									
⑧ 鋼製建具	<p>[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2]</p> <p>性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5. 4. 21による 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																									
⑨ 鋼製軽量建具	<p>[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~4]</p> <p>性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~4]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5. 5. 11による 使用箇所 () 召合せ、縦小口包み材の材質 ※ 鋼板 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																									
⑩ 鋼製建具	<p>[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2]</p> <p>性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5. 4. 21による 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																									
⑪ 鋼製建具	<p>[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2]</p> <p>性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震ドア 面内変形追従性の等級 ()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表 5. 4. 21による 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による</p>	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 8. 4]	性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 9. 2, 3]	性能値等 ※ 標準仕様書表 5. 10. 11による (試験方法) [5. 10. 3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター																																									



19	ガラス	(3, 7, 5, 14, 2~4) (図5, 14, 1)	<p>下記のガラス以外の品名、厚さの呼びによる種類等</p> <p>※ 器具による</p> <p>合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">材料ガラスの種類、組合せ</td> <td>飛球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>Ⅰ類</td> <td>Ⅱ-1類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Ⅱ-2類</td> <td>Ⅲ類</td> </tr> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料ガラスによる種類による名称</td> <td>材料ガラス</td> <td>破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>フロート強化ガラス</td> <td>フロート板ガラス</td> <td>Ⅰ類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>Ⅲ類</td> </tr> </table> <p>熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料ガラスによる種類</td> <td>性能による種類</td> <td>色調</td> </tr> <tr> <td>熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>Ⅰ類</td> <td>Ⅱ類</td> </tr> <tr> <td>熱線吸収網入り磨き板ガラス</td> <td>グリーン</td> <td></td> </tr> </table> <p>複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>断熱性による区分</td> <td>T1</td> <td>T2</td> <td>T3</td> <td>T4</td> <td>T5</td> <td>T6</td> </tr> </table> <p>乾燥気体の種類</p> <p>○ 空気</p> <p>アルゴン</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <p>○ G</p> <p>○ S</p> <p>熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料ガラスによる種類</td> <td>日射熱遮蔽性による区分</td> <td>耐久性による区分</td> </tr> <tr> <td>色調 (ブルー、グレー)</td> <td>Ⅰ類</td> <td>A類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Ⅱ類</td> <td>A類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Ⅲ類</td> <td>B類</td> </tr> </table> <p>反射皮膜</p> <p>・ 内面</p> <p>・ 外面</p> <p>映像調整</p> <p>・ 行わない</p> <p>・ 行う</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <td>建具の種類</td> <td>ガラス留め材</td> <td>ガラス溝の大きさ (mm)</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ガスケット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ グレージングチャンネル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>鋼製及び鋼製性量</p> <p>※ シーリング材</p> <p>※ 建具の製造所の仕様による</p> <p>ステンレス製</p> <p>※ シーリング材</p> <p>※ 建具の製造所の仕様による</p> <p>樹脂製</p> <p>※ シーリング材</p> <p>※ 建具の製造所の仕様による</p> <p>・ ガスケット</p> <p>・ グレージングチャンネル形</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <td>表面形状</td> <td>呼び寸法 (mm)</td> <td>厚さ (mm)</td> <td>色調</td> <td>目地幅 (mm)</td> <td>伸縮調整目地位置 (mm)</td> <td>防火性能</td> </tr> <tr> <td>・ 正方形</td> <td>160×160</td> <td>95</td> <td>乳白</td> <td>※8~15</td> <td>外側 ※標準仕様書5, 14, 5(2)(イ) (a)②</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200×200</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td>内側 ※標準仕様書5, 14, 5(2)(イ) (a)②</td> <td>・ 有り</td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示</p> <p>カ骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※ 径5.5mm</p> <p>形状 ※ はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ()</p> <p>シーリングの種類 ()</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ※ 図示</p> <p>形状 ※ 図示</p> <p>工法 1章 適用区分による風圧力の (1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法目地部の保力骨の納まり</p> <p>※ ガラスブロック製造所の仕様による ※ 図示</p>	材料ガラスの種類、組合せ		飛球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類	フロート板、フロート板合わせガラス	Ⅰ類	Ⅱ-1類		Ⅱ-2類	Ⅲ類	材料ガラスによる種類による名称	材料ガラス	破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類	フロート強化ガラス	フロート板ガラス	Ⅰ類			Ⅲ類	材料ガラスによる種類	性能による種類	色調	熱線吸収フロート板ガラス	Ⅰ類	Ⅱ類	熱線吸収網入り磨き板ガラス	グリーン		断熱性による区分	T1	T2	T3	T4	T5	T6	材料ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分	色調 (ブルー、グレー)	Ⅰ類	A類		Ⅱ類	A類		Ⅲ類	B類	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による		・ ガスケット			・ グレージングチャンネル形		表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・ 正方形	160×160	95	乳白	※8~15	外側 ※標準仕様書5, 14, 5(2)(イ) (a)②	・ 無し		200×200	95			内側 ※標準仕様書5, 14, 5(2)(イ) (a)②	・ 有り	6	① 他の部位との取り合い等	<p>既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6. 1. 3]</p> <p>※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲</p> <p>※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示</p> <p>既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修</p> <p>※ 既存のまま ※ 図示</p>	6	② 既存床の撤去及び下地補修	<p>ビニルシート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤ととも) [6. 2. 2]</p> <p>○ 下地モルタルとも (○ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て)</p> <p>合成樹脂塗料の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目黒し工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p>	6	③ 既存壁の撤去及び下地補修	<p>開口壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2]</p> <p>※ 改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示)</p>	6	④ 造作用単板積層材	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1)(イ)(b)による</p> <p>○ 普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)</td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 無し (等級)</td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>・ JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)</td> <td>・ 適用する</td> <td>※14%以下</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 無し ()</td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>・ JAS 3079に基づく直交集積板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1)(イ)(b)による</p> <p>○ 普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>11棟廊下</td> <td>※5. 5</td> <td>ラワン</td> <td>※1類</td> <td>広葉樹 ※2等以上</td> <td>○ 適用する</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 2類</td> <td>針葉樹 ※C-0以上</td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>○ 構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>11棟廊下</td> <td>※2級以上</td> <td>針葉樹</td> <td>※1類</td> <td>※D-0以上</td> <td>※12</td> <td>○ 適用する</td> <td>・ 適用する ()</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 1級</td> <td>・ 特類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>・ 「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類</td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類</td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1類</td> <td>・ 2類</td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>・ パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td>※15</td> </tr> </table> <p>・ JAS 0360に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 2級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 3級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 4級</td> </tr> </table> <p>・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着りによる区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用				・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 適用する	・ 適用しない				・ 無し (等級)	・ 適用しない	・ 適用しない	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用				・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 適用する	※14%以下	・ 適用しない				・ 無し ()	・ 適用しない	・ 適用しない	・ 適用しない	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用									施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用	11棟廊下	※5. 5	ラワン	※1類	広葉樹 ※2等以上	○ 適用する	・ 適用しない				・ 2類	針葉樹 ※C-0以上	・ 適用しない	・ 適用しない	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用	11棟廊下	※2級以上	針葉樹	※1類	※D-0以上	※12	○ 適用する	・ 適用する ()	・ 適用しない		・ 1級	・ 特類				・ 適用しない	・ 適用しない	・ 適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用				※1類	・ 適用する	・ 適用しない	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用				※1類	・ 適用する	・ 適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用			※1類	・ 2類		・ 適用する	・ 適用しない	施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)				※13タイプ	※P又はM	※15	施工箇所	等級	寸法 (mm)			・ 1級			・ 2級			・ 3級			・ 4級	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着りによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用								6	⑤ 造作用集材	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1)(イ)(b)による</p> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>縦縁、C BOX</td> <td>米柑</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による化粧張り造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用	縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用							※1等	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用						※15%以下	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用					※15%以下	・ 2等	6	⑥ 接合具等	<p>造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3]</p> <p>※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ ぶつぶし釘打ち ・ 釘頭隠し</p> <p>諸金物</p> <p>※ かすがい、産金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表6. 5. 3~5に示す程度の市販品 表8. 20. 10F種程度)</p> <p>(形状: 寸法: 材質:)</p>	6	⑦ 防塵・防蟻処理	<p>・ 薬剤の加圧注入による防塵防蟻処理 [6. 5. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の塗布等による防塵、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の接着剤への混入による防塵、防蟻処理</p> <p>適用部位 ()</p> <p>・ 合板等の加圧注入処理等の適用</p> <p>適用部位 ()</p>	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品	6	⑧ 内部間仕切り輪及び床組み	<p>開口切組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6]</p> <p>※ 杉又は松</p> <p>・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <p>※ 杉又は松</p>	6	⑨ 窓、出入口その他	<p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7]</p> <p>※ 杉元幹、水掛りの下幹及び数節はひのき、その他は杉又は松</p>	6	⑩ 床板張り	<p>・ 縁板張り及び上がりこまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8]</p> <p>※ ひのき</p>	6	⑪ 壁及び天井下地	<p>・ 壁脚縁、野縁受柱、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9]</p> <p>※ 杉又は松</p>
	材料ガラスの種類、組合せ		飛球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	フロート板、フロート板合わせガラス	Ⅰ類	Ⅱ-1類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		Ⅱ-2類	Ⅲ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材料ガラスによる種類による名称	材料ガラス	破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
フロート強化ガラス	フロート板ガラス	Ⅰ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		Ⅲ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料ガラスによる種類	性能による種類	色調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
熱線吸収フロート板ガラス	Ⅰ類	Ⅱ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
熱線吸収網入り磨き板ガラス	グリーン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
断熱性による区分	T1	T2	T3	T4	T5	T6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材料ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
色調 (ブルー、グレー)	Ⅰ類	A類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	Ⅱ類	A類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	Ⅲ類	B類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
アルミニウム製	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ ガスケット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・ グレージングチャンネル形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ 正方形	160×160	95	乳白	※8~15	外側 ※標準仕様書5, 14, 5(2)(イ) (a)②	・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	200×200	95			内側 ※標準仕様書5, 14, 5(2)(イ) (a)②	・ 有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			・ 無し (等級)	・ 適用しない	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・ 有り (加工 ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 適用する	※14%以下	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・ 無し ()	・ 適用しない	・ 適用しない	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
11棟廊下	※5. 5	ラワン	※1類	広葉樹 ※2等以上	○ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・ 2類	針葉樹 ※C-0以上	・ 適用しない	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11棟廊下	※2級以上	針葉樹	※1類	※D-0以上	※12	○ 適用する	・ 適用する ()	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・ 1級	・ 特類				・ 適用しない	・ 適用しない	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			※1類	・ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			※1類	・ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		※1類	・ 2類		・ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			※13タイプ	※P又はM	※15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	等級	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ 1級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ 2級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ 3級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ 4級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着りによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
						※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
20	ガラスブロック積み	[5. 14. 5]	<p>表面形状</p> <p>・ 正方形</p> <p>・ 160×160</p> <p>・ 95</p> <p>・ 125</p> <p>・ 200×200</p> <p>・ 95</p> <p>・ 125</p> <p>色調</p> <p>乳白</p> <p>平積み</p> <p>目地幅 (mm)</p> <p>※8~15</p> <p>曲面積み</p> <p>※6mm以下</p> <p>・ 図示</p> <p>伸縮調整目地位置 (mm)</p> <p>※6mm以下</p> <p>・ 図示</p> <p>防火性能</p> <p>・ 無し</p> <p>・ 有り</p> <p>壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示</p> <p>カ骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※ 径5.5mm</p> <p>形状 ※ はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ()</p> <p>シーリングの種類 ()</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ※ 図示</p> <p>形状 ※ 図示</p> <p>工法 1章 適用区分による風圧力の (1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法目地部の保力骨の納まり</p> <p>※ ガラスブロック製造所の仕様による ※ 図示</p>	6	⑫ 造作用集材	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1)(イ)(b)による</p> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>縦縁、C BOX</td> <td>米柑</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による化粧張り造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用	縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用							※1等	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用						※15%以下	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用					※15%以下	・ 2等	6	⑬ 接合具等	<p>造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3]</p> <p>※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ ぶつぶし釘打ち ・ 釘頭隠し</p> <p>諸金物</p> <p>※ かすがい、産金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表6. 5. 3~5に示す程度の市販品 表8. 20. 10F種程度)</p> <p>(形状: 寸法: 材質:)</p>	6	⑭ 防塵・防蟻処理	<p>・ 薬剤の加圧注入による防塵防蟻処理 [6. 5. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の塗布等による防塵、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の接着剤への混入による防塵、防蟻処理</p> <p>適用部位 ()</p> <p>・ 合板等の加圧注入処理等の適用</p> <p>適用部位 ()</p>	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品	6	⑮ 内部間仕切り輪及び床組み	<p>開口切組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6]</p> <p>※ 杉又は松</p> <p>・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <p>※ 杉又は松</p>	6	⑯ 窓、出入口その他	<p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7]</p> <p>※ 杉元幹、水掛りの下幹及び数節はひのき、その他は杉又は松</p>	6	⑰ 床板張り	<p>・ 縁板張り及び上がりこまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8]</p> <p>※ ひのき</p>	6	⑱ 壁及び天井下地	<p>・ 壁脚縁、野縁受柱、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9]</p> <p>※ 杉又は松</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
						※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
21	ガラス用フィルム	種類	<p>記号</p>	6	⑫ 造作用集材	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1)(イ)(b)による</p> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>縦縁、C BOX</td> <td>米柑</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による化粧張り造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用	縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用							※1等	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用						※15%以下	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用					※15%以下	・ 2等	6	⑬ 接合具等	<p>造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3]</p> <p>※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ ぶつぶし釘打ち ・ 釘頭隠し</p> <p>諸金物</p> <p>※ かすがい、産金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表6. 5. 3~5に示す程度の市販品 表8. 20. 10F種程度)</p> <p>(形状: 寸法: 材質:)</p>	6	⑭ 防塵・防蟻処理	<p>・ 薬剤の加圧注入による防塵防蟻処理 [6. 5. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の塗布等による防塵、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の接着剤への混入による防塵、防蟻処理</p> <p>適用部位 ()</p> <p>・ 合板等の加圧注入処理等の適用</p> <p>適用部位 ()</p>	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品	6	⑮ 内部間仕切り輪及び床組み	<p>開口切組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6]</p> <p>※ 杉又は松</p> <p>・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <p>※ 杉又は松</p>	6	⑯ 窓、出入口その他	<p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7]</p> <p>※ 杉元幹、水掛りの下幹及び数節はひのき、その他は杉又は松</p>	6	⑰ 床板張り	<p>・ 縁板張り及び上がりこまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8]</p> <p>※ ひのき</p>	6	⑱ 壁及び天井下地	<p>・ 壁脚縁、野縁受柱、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9]</p> <p>※ 杉又は松</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
						※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
22	ガラス用フィルム	種類	<p>記号</p> <p>内張り用</p> <p>外張り用</p> <p>その他性能等</p> <p>・ 日射調整フィルム</p> <p>・ SC-1</p> <p>・ SC-2</p> <p>・ 低放射フィルム</p> <p>・ LE</p> <p>・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</p> <p>・ G1-1</p> <p>・ G1-2</p> <p>・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</p> <p>・ GD-1</p> <p>・ GD-2</p> <p>・ ガラス貫通防止フィルム</p> <p>・ SF</p> <p>ガラスの貫通防止性能による区分</p> <p>・ A</p> <p>・ B</p> <p>品質 JIS A5759による</p>	6	⑫ 造作用集材	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1)(イ)(b)による</p> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>縦縁、C BOX</td> <td>米柑</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による化粧張り造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table> <p>・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・ 2等</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用	縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用							※1等	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用						※15%以下	・ 2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用					※15%以下	・ 2等	6	⑬ 接合具等	<p>造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3]</p> <p>※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ ぶつぶし釘打ち ・ 釘頭隠し</p> <p>諸金物</p> <p>※ かすがい、産金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表6. 5. 3~5に示す程度の市販品 表8. 20. 10F種程度)</p> <p>(形状: 寸法: 材質:)</p>	6	⑭ 防塵・防蟻処理	<p>・ 薬剤の加圧注入による防塵防蟻処理 [6. 5. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ K2 ※ K3</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の塗布等による防塵、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の接着剤への混入による防塵、防蟻処理</p> <p>適用部位 ()</p> <p>・ 合板等の加圧注入処理等の適用</p> <p>適用部位 ()</p>	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3			・ K2 ※ K3	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品	6	⑮ 内部間仕切り輪及び床組み	<p>開口切組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6]</p> <p>※ 杉又は松</p> <p>・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <p>※ 杉又は松</p>	6	⑯ 窓、出入口その他	<p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7]</p> <p>※ 杉元幹、水掛りの下幹及び数節はひのき、その他は杉又は松</p>	6	⑰ 床板張り	<p>・ 縁板張り及び上がりこまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8]</p> <p>※ ひのき</p>	6	⑱ 壁及び天井下地	<p>・ 壁脚縁、野縁受柱、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9]</p> <p>※ 杉又は松</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	縦縁、C BOX	米柑	図示			※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
						※1等	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の面積	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				※15%以下	・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		・ K2 ※ K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 15711に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
23	ガラス用フィルム	種類	<p>記号</p> <p>内張り用</p> <p>外張り用</p> <p>その他性能等</p> <p>・ 日射調整フィルム</p> <p>・ SC-1</p> <p>・ SC-2</p> <p>・ 低放射フィルム</p> <p>・ LE</p> <p>・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</p> <p>・ G1-1</p> <p>・ G1-2</p> <p>・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</p> <p>・ GD-1</p> <p>・ GD-2</p> <p>・ ガラス貫通防止フィルム</p> <p>・ SF</p> <p>ガラスの貫通防止性能による区分</p> <p>・ A</p> <p>・ B</p> <p>品質 JIS A5759による</p>	6	⑫ 造作用集材	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1)(イ)(b)による</p> <p>・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>縦縁、C BOX</td> <td>米柑</td> <td></td></tr></table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用	縦縁、C BOX	米柑																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	縦縁、C BOX	米柑																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

22	合成樹脂塗床	[6.10.2.3]				・ 化粧パーテイクルボード ・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	
23	防じん用塗床	材料 水性アクリル樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗り2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする 仕上げの種類(※平滑仕上げ・防汚仕上げ)(※標準色) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	
24	フローリング張り	[6.11.2~6]				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	
25	畳敷き	[6.12.2]				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	
26	せっこうボードその他ボード及び合板張り	[6.13.2.3]				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	
27	壁紙張り	[6.14.2.3]				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	
28	モルタル塗り	[6.15.3.5.6]				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	
29	タイル張り	[6.16.2~4]				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	
30	セルフレベリング材塗り	[6.17.2.3]				・ 化粧オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(雑種) ・ 12(雑種) ・ ハードボード(素地) HB ・ 無研磨板(・スタンダード・テンパード RN) ・ 研磨板(・スタンダード・テンパード RS) ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用D1 ・ 外装用DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インシュレーションボード 18 A級(・天井仕上げ・内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	

9 環境配慮 改修工事	① 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1.3~5]	③ 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]	10 その他	① フリーアクセスフロア (20.2.2)	② 表示 (20.2.11)	③ ブラインド (20.2.14)	④ ロールスクリーン (20.2.15)	⑤ カーテン (20.2.16)	⑥ カーテンレール (20.2.16)	⑦ ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.16)	⑧ 天井点検口 (20.2.16)																																																																																																																																																																									
	<p>・ 石綿含有建材の除去工事</p> <p>測定時期、場所及び測定点 [9.1.1.3~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計1点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置 計1点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室外</td> <td>計4点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業中 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計2点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業後 (シート撤去後1週間以降)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・ 自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>測定()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンプルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>測定()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>測定()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去方法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去方法 ※ 原形のまま、手ばらし・破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○ 石綿含有成形板等 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外) の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有石膏ボード ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ○ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ○ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有成形板等 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種) の除去 除去対象範囲 ※ 図示 養生方法 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去方法 ・ 石綿障害予防規制 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・ 超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用) ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度) ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 除去対象範囲 ※ 図示 作業時の隔離 ※ 行わない・行う 試験施工 ※ 行わない・行う 養生方法 ※ 9.1.3(1)(7)による 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け 改修標準仕様書9.1.3(4)(7)、(9)、(h)及び(7)による</p>	適用測定名称		測定時期								測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計点	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	計1点	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計1点	測定6	処理作業中	処理作業室外	計4点	測定7	処理作業中 (シート養生中)	処理作業室内	計2点	測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計点	測定9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	調査対象室外部の付近	計点	測定名称	測定方法	測定4・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定()		測定名称	メンブレンプルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4・測定5	25	5	30	測定()	47	10	120	測定()	47	10	240	測定()				<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 [9.3.2~4]</p> <p>※ F☆☆☆☆ ・ 断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td> <td>2種 b A ※ 25 ※ 外壁 3種 b A ※ 25 ※ スラブ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による</p> <p>○ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ○ A種1H 吹付け厚さ (mm) ○ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフレイン回りの床板下等、部分的に後張りとななければならない箇所 ・ 図示</p> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリ試験) に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次のこと。 (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KJ/m²を超えないこと。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液体、乳濁状又は分散状の樹脂-ブロックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</p> <p>・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・ 断熱材にせっこうボード等張り付けたパネル (材質 厚さ mm) ・ 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法</p>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	25		※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	2種 b A ※ 25 ※ 外壁 3種 b A ※ 25 ※ スラブ		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	25		・ フェノールフォーム断熱材	25		項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリ試験) に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次のこと。 (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KJ/m ² を超えないこと。	<p>フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構造</th> <th>○ 置数式</th> <th>・ 支柱調整式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所定荷重</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> </tr> <tr> <td>耐震性能</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> </tr> <tr> <td>パネル寸法 (mm)</td> <td>○ 600×600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ (mm)</td> <td>○ 29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面仕上材</td> <td>※ タイルカーベット ※ 帯電防止床タイル</td> <td>※ タイルカーベット ※ 帯電防止床タイル</td> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(a) (a)~(c)による</p> <p>スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント 配線用取り出し開口 ※ 製造所の仕様による ・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 ・ 図示</p> <p>空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所: ※ 図示)</p> <p>(性能) (1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 (2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと (3) ローリングロー性能 所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意) による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 (4) 耐震性能</p> <p>イ) 固定台試験による耐震性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td> <td>水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上</td> </tr> <tr> <td>② 上記①以外の部分が耐力に達したとき</td> <td>水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上</td> </tr> <tr> <td>③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td> <td>構造床面からの高さの1/50以下</td> </tr> </tbody> </table> <p><適用地震時水平力> 3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当たり自重+3,000N) /m2当りの支柱本数] × 0.6 3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当たり自重+3,000N) /m2当りの支柱本数] × 1.0 5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当たり自重+5,000N) /m2当りの支柱本数] × 0.6 5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当たり自重+5,000N) /m2当りの支柱本数] × 1.0</p> <p>ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高≧300mmの場合のみ) 振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。 (5) 耐燃性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼後の残炭時間が0秒 (6) 帯電防止性能評価値 (U) 0.6以上 (7) 帯電防止性能 漏えい抵抗(R) ≧1×10¹⁰ Ω (8) 歩行感 通常の歩行において空音やがたつきがなく、歩行時に違和感がない (9) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 (試験方法) (1) 耐震性能 1) 設計床高≧300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N・200kg 5000N・350kg 加振 0.6:所定加速度600cm/S² 1.0:所定加速度1000cm/S² 2) 300mm<設計床高≦600mmの場合 ①固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。 ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。 ②試験方法-1 イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法-2 イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重1,900N (3,000N/1m²相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④零点校正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して"0"にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーベット 繊維素材: ナイロン100% パイル形態: ループパイル パイル長: 3.0mm~4.0mm パッキング素材: 塩化ゼニル樹脂 全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0kg/m²~6.0kg/m² 人体耐電圧: 2KV以下</p>	構造	○ 置数式	・ 支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6	パネル寸法 (mm)	○ 600×600		高さ (mm)	○ 29		表面仕上材	※ タイルカーベット ※ 帯電防止床タイル	※ タイルカーベット ※ 帯電防止床タイル	施工箇所	※ 図示	※ 図示	項目	性能	① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上	② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上	③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下	<p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 壁巻札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス レールの材質</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 横形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式 ・ 電動</td> <td>※ アルミニウム 合金製</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ 2本操作 ・ コード式 ・ 1本操作 ・ コード式 ・ 電動</td> <td>※ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>アルミニウム 合金製</td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上 クロススラットの材質 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製</td> <td>・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式</td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、 品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ シングル ・ ダブル</td> <td>○ 手引き ○ 引分け ・ 電動</td> <td>・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ シングル</td> <td>○ 手引き</td> <td></td> <td></td> <td>○ 図示 (縮幕)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>縮幕カーテンの開端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上</p> <p>材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 造らによる区分 ※ 10・90 仕上げ ※ アルマイト 形状 ※ 角形</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ アルミニウム製</td> <td>○ 450×450 ・ 600×600</td> <td>○ 一脱形 ○ 屋内用</td> <td>・ 屋内外用 ○ 屋内用</td> <td>○ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性 (繰り返し閉開試験) (1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。 (2) 閉開試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内蓋 (内枠) の繰り返し閉開試験 (1) 試験は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの種類2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回以内の内蓋の垂れ下がりを測定する。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス レールの材質	幅・高さ 取付箇所	○ 横形	※ 手動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式 ・ 電動	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示	・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作 ・ コード式 ・ 1本操作 ・ コード式 ・ 電動	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	※ 図示	材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	※ 図示		形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考	○ シングル ・ ダブル	○ 手引き ○ 引分け ・ 電動	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ		※ 図示		○ シングル	○ 手引き			○ 図示 (縮幕)		材質
適用測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																																																	
測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																	
測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																																																																																	
測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																	
測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	計1点																																																																																																																																																																																	
測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計1点																																																																																																																																																																																	
測定6	処理作業中	処理作業室外	計4点																																																																																																																																																																																	
測定7	処理作業中 (シート養生中)	処理作業室内	計2点																																																																																																																																																																																	
測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																	
測定9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																																																																																	
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																			
測定4・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																			
測定()																																																																																																																																																																																				
測定名称	メンブレンプルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																																	
測定4・測定5	25	5	30																																																																																																																																																																																	
測定()	47	10	120																																																																																																																																																																																	
測定()	47	10	240																																																																																																																																																																																	
測定()																																																																																																																																																																																				
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	25																																																																																																																																																																																			
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	2種 b A ※ 25 ※ 外壁 3種 b A ※ 25 ※ スラブ																																																																																																																																																																																			
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	25																																																																																																																																																																																			
・ フェノールフォーム断熱材	25																																																																																																																																																																																			
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																			
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリ試験) に適合していること。																																																																																																																																																																																			
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次のこと。 (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KJ/m ² を超えないこと。																																																																																																																																																																																			
構造	○ 置数式	・ 支柱調整式																																																																																																																																																																																		
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N																																																																																																																																																																																		
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6																																																																																																																																																																																		
パネル寸法 (mm)	○ 600×600																																																																																																																																																																																			
高さ (mm)	○ 29																																																																																																																																																																																			
表面仕上材	※ タイルカーベット ※ 帯電防止床タイル	※ タイルカーベット ※ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																																		
施工箇所	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																																		
項目	性能																																																																																																																																																																																			
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																			
② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																			
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																																																			
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス レールの材質	幅・高さ 取付箇所																																																																																																																																																																														
○ 横形	※ 手動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式 ・ 電動	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示																																																																																																																																																																														
・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作 ・ コード式 ・ 1本操作 ・ コード式 ・ 電動	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	※ 図示																																																																																																																																																																														
材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																															
・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																																
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																															
○ シングル ・ ダブル	○ 手引き ○ 引分け ・ 電動	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ		※ 図示																																																																																																																																																																																
○ シングル	○ 手引き			○ 図示 (縮幕)																																																																																																																																																																																
材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																
○ アルミニウム製	○ 450×450 ・ 600×600	○ 一脱形 ○ 屋内用	・ 屋内外用 ○ 屋内用	○ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ																																																																																																																																																																																
2 外断熱改修工事	断熱材 [9.2.1~4]	④ 断熱性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~5, 9]	10 その他	① フリーアクセスフロア (20.2.2)	② 表示 (20.2.11)	③ ブラインド (20.2.14)	④ ロールスクリーン (20.2.15)	⑤ カーテン (20.2.16)	⑥ カーテンレール (20.2.16)	⑦ ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.16)	⑧ 天井点検口 (20.2.16)																																																																																																																																																																									
	<p>断熱材の種類 ()、断熱材の厚さ (mm)</p> <p>施工箇所 ※ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存外壁の処置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存外壁仕上材の撤去</td> <td>・ あり ・ なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下面の清掃</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>欠損部がある場合の改修工法</td> <td>※ 4章外壁改修工事による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法 1章 適用区分による風圧力 (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ※ 図示 通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による</p>	種類										防火性能	備考	既存外壁の処置			既存外壁仕上材の撤去	・ あり ・ なし		下面の清掃	・ 行う ・ 行わない		欠損部がある場合の改修工法	※ 4章外壁改修工事による		<p>冠縁基礎及び材料 [9.4.2~4]</p> <p>屋上緑化システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示</p> <p>(品質・性能等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水、排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>透水層</td> <td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み土を流出させない構造であること。</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240L/m²・h以上</td> </tr> <tr> <td>排水層性能 (排水層の許容圧縮強度)</td> <td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10⁶N/m²以上の荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸力強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法) (1) 排水基礎の耐根性能 (イ) 3×10⁶N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起らないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/min以下とする。</p> <p>1章 適用区分による風圧力 (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年</p> <p>下記以外は、10章その他による</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p>	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上	排水層性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁶ N/m ² 以上の荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸力強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。	<p>縮尺: - A2版: 100% A3版: 70%</p> <p>査図: 部長: 課長: 主任: 担当:</p> <p>日付: R7年</p> <p>図番: A-007</p>																																																																																																																																									
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																		
既存外壁の処置																																																																																																																																																																																				
既存外壁仕上材の撤去	・ あり ・ なし																																																																																																																																																																																			
下面の清掃	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																			
欠損部がある場合の改修工法	※ 4章外壁改修工事による																																																																																																																																																																																			
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																			
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																			
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																																			
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																																			
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上																																																																																																																																																																																			
排水層性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁶ N/m ² 以上の荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																																			
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸力強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																			
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																																			



⑨	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ○ 600×600</td> <td>・ 一般形 ○ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用</td> <td>○ 隠付</td> </tr> <tr> <td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)</td> </tr> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td>受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>(表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製</td> <td>—</td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス</td> <td>JIS H 3250 のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底板材コーナーステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1</td> <td>JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>ビス底板補強材</td> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000 (A1100P H24)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td>—</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂積付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材</td> <td>黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出材・合金</td> <td>鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等</td> <td>ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> </tr> <tr> <td>取手</td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする</td> <td>鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等</td> <td>鋼製、ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする</td> <td>鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等</td> <td>鋼製、ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td>蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行なった後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ○ 600×600	・ 一般形 ○ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	○ 隠付	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)				部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	(表面処理) HL又は2B仕上げ程度		鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200			その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801			ステンレス	JIS H 3250 のC3602、C3604			ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1			ステンレス	JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1	JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	ビス底板補強材	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24)	—		鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂積付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの		アンカー材	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出材・合金	鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等	ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする	取手	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする	鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等	鋼製、ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする	鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする	鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等	鋼製、ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする	蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。				受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行なった後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。		
	材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																						
	・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ○ 600×600	・ 一般形 ○ 密閉形 ・ 屋内外用 ・ 屋内用	○ 隠付																																																																																						
	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)																																																																																									
	部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																						
	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																							
		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	(表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																																						
		鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																						
	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																							
		その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																							
目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801																																																																																								
	ステンレス	JIS H 3250 のC3602、C3604																																																																																								
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1																																																																																								
	ステンレス	JIS G 4308のSUS304																																																																																								
底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1	JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																							
ビス底板補強材	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24)	—																																																																																							
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂積付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																							
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																																																																																								
アンカー材	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出材・合金	鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等	ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																							
取手	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする	鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等	鋼製、ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																							
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする	鋼製、ステンレス鋼品、ステンレス製等	鋼製、ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																							
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。																																																																																									
	受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行なった後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																									
⑩	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材 ○ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ○ ビニル製ハンドル</td> <td>・ クリアラッカー ○ HL程度 ・ S O P ・ E P - G</td> <td>・ 35 ・ 45 ○ 34</td> <td>図示による</td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材 ○ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ○ ビニル製ハンドル	・ クリアラッカー ○ HL程度 ・ S O P ・ E P - G	・ 35 ・ 45 ○ 34	図示による																																																																																
	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																						
・ 集成材 ○ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ○ ビニル製ハンドル	・ クリアラッカー ○ HL程度 ・ S O P ・ E P - G	・ 35 ・ 45 ○ 34	図示による																																																																																							
⑪	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ・ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品																																																																																								
⑫	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	(11.2.2、19.2.2)																																																																																								
	屋内	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	屋外	・ コンクリート製			○ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・		・ コンクリート製																																																														
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																							
屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																																																																							
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																							
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																							
屋外	・ コンクリート製																																																																																									
	○ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																							
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																							
	・ コンクリート製																																																																																									
⑬	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)																																																																																								
	種類	呼び名	備考																																																																																							
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)																																																																																								
	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																							
⑮	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)																																																																																								
	鉄筋の継手の方法等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ○ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 ・ 図示による 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 縦合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 																																																																																								

⑯	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート			
	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スラブ (cm)	適用箇所		
⑰	セメント	種類	(6.3.1)		
	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種				
⑱	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m ² ・K・Ca以上			
	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)	種 類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スラブ (mm)	施 工 箇 所
⑳	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 1B	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による
	種類	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種			
㉑	床コンクリート 直均し仕上げ	仕上げの平たんさは、図示以外は下記による (8.1.4)(表8.1.5) 改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類	施工箇所		
	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア (重畳式) ()			
㉒	あと施工アンカー	6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (14.1.3)			
	トイレブース	表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 材質	
㉓	トイレブース	○ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	○ 幅木タイプ ・	○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	
	(品質・性能) (1) パネル	項目	品質・性能		
㉔	トイレブース	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。		
	裏打ち	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。			
㉕	トイレブース	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。		
	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。			
㉖	トイレブース	エッジ材	処理を施した材料とする。		
	小口	防水処理を施す。			
㉗	トイレブース	(2) 構造金物	項目	品質・性能	
	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木)			
㉘	トイレブース	(3) 付属金物	項目	品質・性能	
	ヒンジ	ラッチセット	戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	
㉙	トイレブース	(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5bによる。			
	(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひたつき性・閉鎖耐久性	項目	品質・性能		
㉚	トイレブース	耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひたつき性		
	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	—		
㉛	トイレブース	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		
	ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性試験において、試験片の表面に色が残ら ないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引ひたつき試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。		
㉜	トイレブース	ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		
	パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。			
㉝	トイレブース	(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上			



名称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理																																					
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.2.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 1.0mm以上	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 1.0mm以上	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm																																				
改修前																																													
改修後																																													
工程	<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>参考数量: 1棟 -- m² (10棟は1棟に含める。以降共通) 2棟 -- m² 11棟 835.0 m² 15棟 445.0 m²</p>	<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>参考数量: 1棟 825.0 m² 2棟 572.0 m² 11棟 -- m² 15棟 -- m²</p>	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量: 1棟 -- m² 2棟 -- m² 11棟 -- m² 15棟 12.8 m²</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②、④の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>																																								
名称		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理		C 錆鉄筋部処理		C 錆鉄筋部処理																																					
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-5 モルタル面躯体樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-5 モルタル面躯体樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	C-1 打放し面錆鉄筋部処理	C-1 打放し面錆鉄筋部処理	C-1 打放し面錆鉄筋部処理																																				
改修前																																													
改修後																																													
工程	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 1棟 137.0 m² 2棟 32.9 m² 11棟 228.0 m² 15棟 -- m²</p>	<p>①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 1棟 0.8 m² 2棟 -- m² 11棟 14.0 m² 15棟 -- m²</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>	<p>①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 1棟 2棟 11棟 15棟 99 箇所</p>																																								
名称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理																																					
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理	D-1 モルタル面はつり	D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]																																				
改修前																																													
改修後																																													
工程	<p>①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 1棟 7.4 m² 1 箇所 2棟 0.7 m² 11棟 -- m² 15棟 -- m²</p>	<p>①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 1棟 0.4 m² 2棟 0.1 m² 11棟 -- m² 15棟 -- m²</p>	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table>	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	<p>⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] 一般部 16 ヶ所 指定部 25 ヶ所</p> <p>⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※()内の数量はD-2'を示す</p> <table border="1"> <tr><td>1棟</td><td>2棟</td><td>11棟</td><td>15棟</td></tr> <tr><td>①一般部分: 0.1m² (0.1m²)</td><td>8.7m²</td><td>6.6m²</td><td>4.0m²</td></tr> <tr><td>②指定部分: --m² (--m²)</td><td>0.1m²</td><td>2.5m²</td><td>--m²</td></tr> <tr><td>③狭幅部: --m² (--m²)</td><td>--m²</td><td>--m²</td><td>--m²</td></tr> </table>	1棟	2棟	11棟	15棟	①一般部分: 0.1m ² (0.1m ²)	8.7m ²	6.6m ²	4.0m ²	②指定部分: --m ² (--m ²)	0.1m ²	2.5m ²	--m ²	③狭幅部: --m ² (--m ²)	--m ²	--m ²	--m ²	<p>①一般部分標準グリッド (250×250) ③狭幅部 (指定部以外の部分) (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>● アンカーピン固定部</p>
一般部	16	ヶ所																																											
指定部	25	ヶ所																																											
一般部	16	ヶ所																																											
指定部	25	ヶ所																																											
一般部	16	ヶ所																																											
指定部	25	ヶ所																																											
一般部	16	ヶ所																																											
指定部	25	ヶ所																																											
1棟	2棟	11棟	15棟																																										
①一般部分: 0.1m ² (0.1m ²)	8.7m ²	6.6m ²	4.0m ²																																										
②指定部分: --m ² (--m ²)	0.1m ²	2.5m ²	--m ²																																										
③狭幅部: --m ² (--m ²)	--m ²	--m ²	--m ²																																										

名称	D 浮き部処理																																									
記号・仕様	D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入法 [標仕4.3.12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入法 [標仕4.4.10]																																									
改修前																																										
改修後																																										
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	指定部 20ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所	③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 20ヶ所	<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アンカーピン固定部 ○ 注入口
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所		⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	指定部 20ヶ所																																							
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所																																							
③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所																																							
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所																																							
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 20ヶ所																																							

名称	D 浮き部処理																																									
記号・仕様	D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入法 [標仕4.3.13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入法 [標仕4.4.11]																																									
改修前																																										
改修後																																										
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	指定部 20ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所	③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 20ヶ所	<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アンカーピン固定部 ○ 注入口
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所		⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	指定部 20ヶ所																																							
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所																																							
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所																																							
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所			指定部 20ヶ所																																							
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																							
指定部 20ヶ所		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 20ヶ所																																							

名称	D 浮き部処理																																	
記号・仕様	D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入法 [標仕4.3.14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入法 [標仕4.4.12]																																	
改修前																																		
改修後																																		
工程	<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>	①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 16ヶ所	③ステンレスピン (注入口) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所			指定部 16ヶ所	④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所		一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所			指定部 16ヶ所	<p>①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 注入口付アンカーピン固定部
①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																															
指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所																															
指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 16ヶ所																															
③ステンレスピン (注入口) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	一般部 9ヶ所																															
指定部 16ヶ所			指定部 16ヶ所																															
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所		一般部 9ヶ所																															
指定部 16ヶ所			指定部 16ヶ所																															

名称	D 浮き部処理			
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13]			
改修前				
改修後				
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 ⑩サンダーケレン 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>			

名称	D 浮き部処理			
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ		D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.4.15]	
改修前				
改修後				
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 9ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</p> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>		<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>参考数量：</p>	

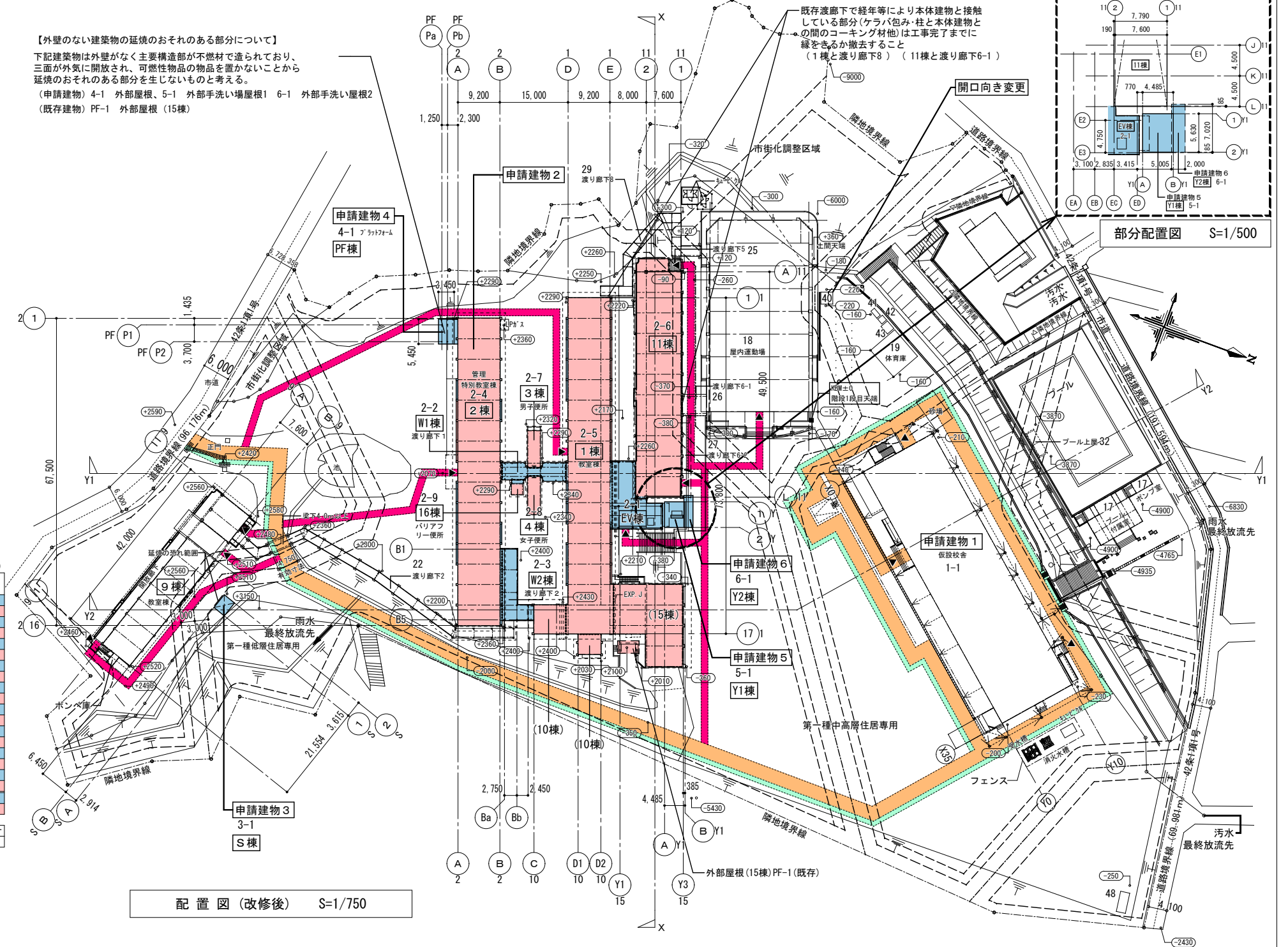
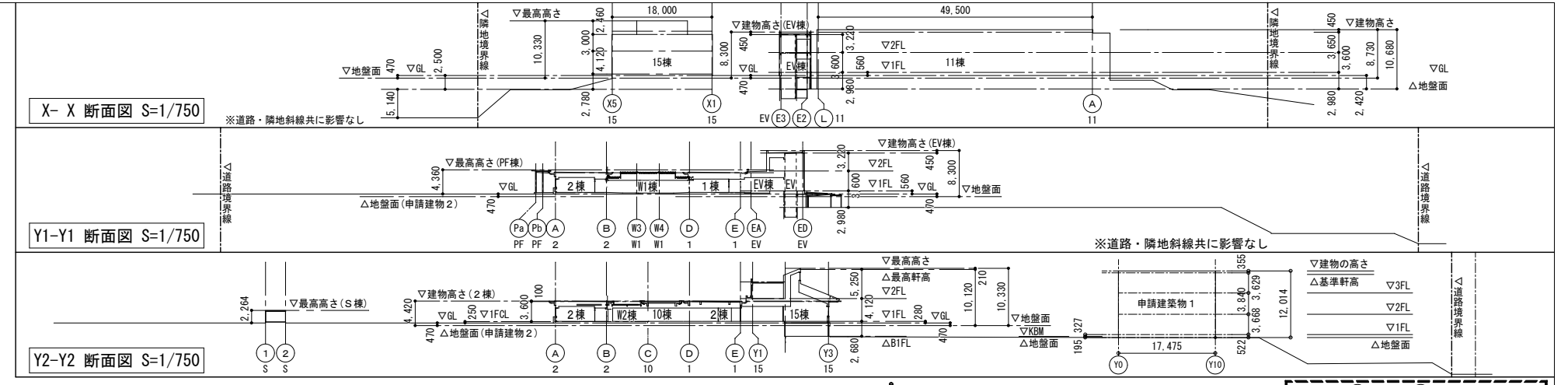
名称	E 欠損部処理			F 外壁複合改修工法						
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4.2.8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.2.3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.3.3]	F 外壁複合改修工法						
改修前										
改修後										
工程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：</p>	<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：</p>	<p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：1棟 0.1 m² 2棟 1.1 m² 11棟 0.7 m² 15棟 - - m²</p>	<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p>						
				<table border="1"> <tr> <td>参考数量</td> <td>ネット張り</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>m</td> </tr> </table>	参考数量	ネット張り	m ²		水切	m
参考数量	ネット張り	m ²								
	水切	m								

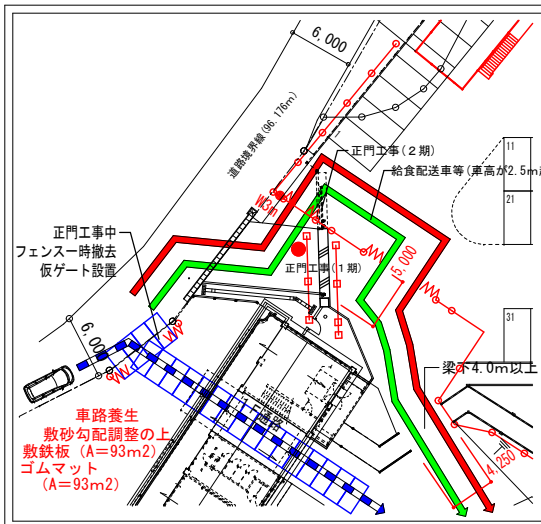
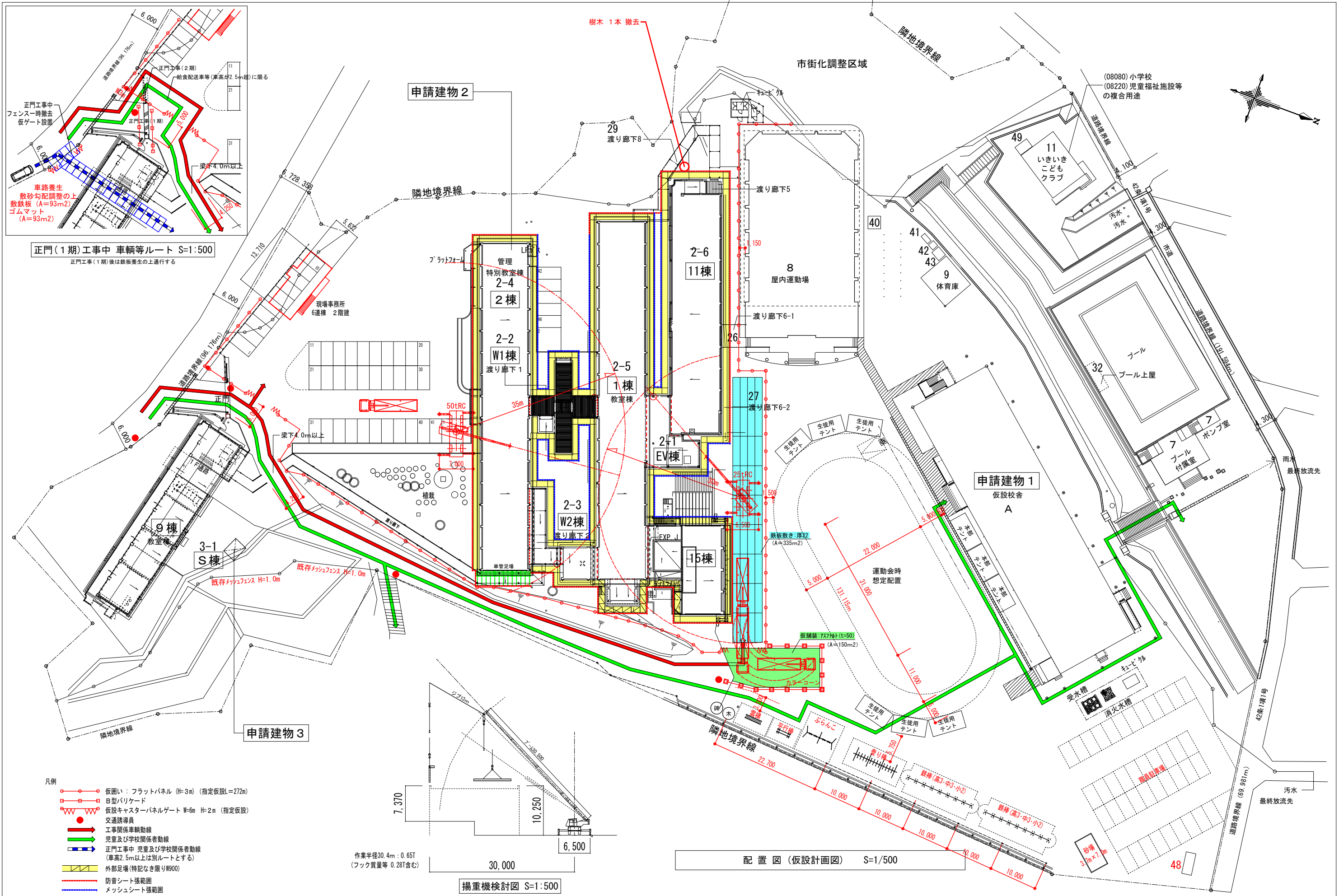
改修後	番号	建物名称	構造	階	建築面積 (m ²)	床面積 (m ²)	建物高さ (m)	耐火等	容積率不算入面積 (m ²)	確認済証検査済証	改修前建物番号	
申請建物	1	1-1 仮設校舎	S	3F	1,151.09	3,320.19	12.014	その他	新築	EV 38.47	第R07計認建築業広島市00002号 (R07/07/08)	A
	2	EV棟	S	2F	129.91	186.87	8.300	耐火	新築	EV 28.06		-
	2	W1棟	S	1F	50.26	50.26	4.435	耐火	新築			21
	2	W2棟	S	1F	74.94	50.83	4.420	耐火	新築			23
	2	2棟	RC	1F	8.45	34.78	4.420	耐火	既存	第4137号 (S44/07/18) 第935号 (S45/03/19)	2	
	2	1棟	RC	2F	5.04	16.41	10.330	耐火	既存	第H12認建築士000333号 (H12/09/26) 第H12認建築士000435号 (H13/03/27)	1-1 1-2 1-3 1-4	
	2	16棟	RC	1F	2.47	2.47	3.730	耐火	既存	H28年03月 建築 10m2以下のため申請なし	10	
	申請建物2 合計					271.07	341.62			EV 28.06		
	3	S棟	3-1 倉庫	S	1F	10.53	10.53	2.264	その他	新築		-
	4	PF棟	4-1 プラットフォーム	S	1F	18.80	18.80	4.360	その他	新築		-
	5	Y1棟	5-1 外部手洗い場屋根1	S	1F	25.25	25.25	2.735	その他	新築		-
	6	Y2棟	6-1 外部手洗い場屋根2	S	1F	12.31	0.00	2.270	その他	新築		-
	申請建物(1・2・3・4・5) 合計					1,489.05	3,716.39			EV 66.53		
	申請建物2 (既存部分)	2	2-4 教室	RC	1F	661.10	626.40	4.420	耐火	既存	第4137号 (S44/07/18) 第935号 (S45/03/19)	2
		2	2-5 管理特別教室棟	RC	2F	1,047.25	1,177.35	10.330	耐火	既存	第H12認建築士000333号 (H12/09/26) 第H12認建築士000435号 (H13/03/27)	1-1 1-2 1-3 1-4
		11	11棟	RC	2F	540.13	1,422.08	8.730	耐火	既存	第3044号 (S37/06/15) 第394号 (S57/10/28)	6
3		3棟	CB	1F	21.60	21.60	3.832	耐火	既存	第4137号 (S44/07/18) 第935号 (S45/03/19)	3	
4		4棟	CB	1F	22.41	22.41	3.832	耐火	既存	第4137号 (S44/07/18) 第935号 (S45/03/19)	4	
16		16棟	RC	1F	5.80	5.80	3.730	耐火	既存	H28年03月 建築 10m2以下のため申請なし	10	
2-4~2-9 合計					2,298.29	3,275.64						
9		9	教室棟	RC	2F	444.27	860.26	7.830	その他	既存	第3240号 (S33/11/01) 第1661号 (S54/03/31)	5
17		17	プール付居室 (ポンプ室含む)	RC	1F	85.50	83.75	3.450	その他	既存	第3078号 (H03/07/19) 第711号 (H03/11/23)	7
18		18	屋内運動場	RC	1F	1,316.13	920.05	13.650	準耐火	既存	第H05認建築士000492号 (H05/09/01) 第H05認建築士000335号 (H06/03/01)	8
19		19	体育庫	RC	1F	49.03	49.03	3.200	その他	既存	第H05認建築士000492号 (H05/09/01) 第H05認建築士000335号 (H06/03/01)	9
-		PF-1	外部屋根 (15棟)	S	1F	12.92	4.62	3.310	その他	既存		1-4
22		22	渡り廊下2	S	1F	162.97	0.00	4.300	その他	既存	第3240号 (S33/11/01) 第1661号 (S54/03/31)	22
25		25	渡り廊下5	S	1F	6.62	0.00	2.600	その他	既存	履歴不明 (元申請から柱位置変更) 10m2以下のため申請なし	25
26		26	渡り廊下6-1	S	1F	25.80	0.00	4.020	その他	既存	第H05認建築士000492号 (H05/09/01) 第H05認建築士000335号 (H06/03/01)	26
27		27	渡り廊下6-2	S	1F	21.60	0.00	2.900	準耐火	既存	(屋内運動場と一体) 第H05認建築士000492号 (H05/09/01) 第H05認建築士000335号 (H06/03/01)	27
29	29	渡り廊下8	S	1F	83.55	0.00	3.600	その他	既存	履歴不明 10m2以下のため申請なし	29	
32	32	プール上屋	S	1F	4.92	4.92	2.250	その他	既存	H03年03月 建築 10m2以下のため申請なし	32	
40	40	物置3 (既製品)	S	1F	6.92	6.92	2.150	その他	既存	履歴不明	40	
41	41	物置4 (既製品)	S	1F	2.00	2.00	2.200	その他	既存	履歴不明	41	
42	42	物置5 (既製品)	S	1F	1.87	1.87	2.150	その他	既存	履歴不明	42	
43	43	物置6 (既製品)	S	1F	4.10	4.10	2.200	その他	既存	履歴不明	43	
48	48	物置10 (ユニットバス)	S	1F	9.26	9.26	2.500	その他	既存	履歴不明	48	
敷地内 合計					6,024.80	8,938.81				容積率対象面積 : 8,872.28 m ²		

凡例	申請建物2 階別面積表・棟別建築面積表 (m ²)
---	延焼ラインを示す
---	EXP. Jを示す
▼	屋外への出口を示す (令第125条第1項)
1.500	道に通ずる幅員1.5m以上の通路を示す (令第128条)
4.000	道に通ずる幅員4.0m以上の通路を示す (令第126条の6 第二号)
3.000	建物相互間幅員3.0m以上の通路を示す (令第128条の2 第一号)

申請部分	建築面積	地下1階床面積	1階床面積	2階床面積	延床面積
2-1 : EV棟	129.91	23.04	121.40	42.43	186.87
2-2 : W1棟	50.26		50.26		50.26
2-3 : W2棟	74.94		50.83		50.83
2-4 : 2棟	8.45		34.78		34.78
2-5 : 1棟	1,047.25	144.90	995.53	36.92	1,177.35
2-6 : 11棟	540.13	399.27	512.25	510.56	1,422.08
2-7 : 3棟	21.60		21.60		21.60
2-8 : 4棟	22.41		22.41		22.41
2-9 : 16棟	2.47		2.47		2.47
階別合計	2,711.07	23.04	2,761.15	42.43	3,416.62
棟別合計					2,569.36
床面積合計					3,617.26

特記事項
○建物の耐火種別について
特記無き限り、その他建築物とする。
○倉庫40について
建物番号40
主要構造部は不燃材料(平12建告1400号八号)とする。
柱 : 溶融垂鉛めっき鋼板
壁 : 溶融垂鉛めっき鋼板
屋根 : 溶融垂鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板
屋内運動場に面している開口部を180度回転し、付属建築物として扱い、延焼のおそれのある部分は生じないものとする。





正門(1期)工事中 車輛等ルート S=1:500
正門工事(1期)後は鉄板養生の上通行する

申請建物3

揚重機検討図 S=1:500

配置図(仮設計画図) S=1/500

- 凡例
- 仮囲い：フラットパネル (H=3m) (指定仮設L=272m)
 - B型バリアード
 - W 仮設キャスターパネルゲート W=6m H=2m (指定仮設)
 - 交通誘導員
 - 工事関係車輛動線
 - 児童及び学校関係者動線
 - 正門工事中 児童及び学校関係者動線 (車高2.5m以上は別ルートとする)
 - ▭ 外部足場(特記なき限りW90)
 - 防音シールド張範囲
 - メッシュシート張範囲

作業半径30.4m : 0.65T
(フック質量等 0.28T含む)

外 部 仕 上 表						
符号	場所・部位	下地	改 修 前	改 修 後	備 考	
			仕 上	仕 上		
	[1、2棟]					
①	屋根 平場	C	コンクリート直押え アスファルト露出防水	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法)	[新設] 断熱材:硬質ウレタン系フォーム 厚50敷込	
②	立上り、側溝	C	防水モルタル塗 アスファルト露出防水	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法) 立上り	[新設]	
③	端部	-	アルミ製(100×60)	[撤去] 笠木:アルミ製(W=150)	[新設]	
④	軒裏	C	モルタル塗刷毛引き 複層塗材E吹付	[撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]	
⑤	柱型	C	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付	目地切 [撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]	
⑥	外壁、梁型	C	モルタル塗刷毛引き 複層塗材E吹付	目地切 [撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]	
⑦	根廻り	C	モルタル塗刷毛引き 複層塗材E吹付 (トップコートのみ)	[撤去] 複層塗材E吹付 (トップコートのみ) 又は浸透性 中性化対策	[新設]	
⑧	玄関庇 天端	C	防水モルタル塗金ごて押え 塗膜防水(X-2)塗	[撤去] 塗膜防水(X-2)塗	[新設]	
⑨	鼻尖、庇裏	C	モルタル塗刷毛引き 複層塗材E吹付	[撤去] 複層塗材E吹付	[新設]	
⑩	樋 ルーフドレン	-	鋳鉄製(φ100用)	[撤去] 鋳鉄製(φ100用)	[新設]	
⑪	ルーフドレン	-	鋳鉄製(φ75用)	[撤去] 鋳鉄製(φ75用)	[新設]	
⑫	縦樋	-	V Pカラー(φ100) 挿み金物:SUS製(φ1,200内外)	[撤去] V Pカラー(φ100) 挿み金物:SUS製(φ1,200内外)	[新設]	
⑬	縦樋	-	V Pカラー(φ75) 挿み金物:SUS製(φ1,200内外)	[撤去] V Pカラー(φ75) 挿み金物:SUS製(φ1,200内外)	[新設]	
⑭	窓台	-	モルタル塗刷毛引き 複層塗材E吹付 (トップコートのみ)	[撤去] 塗膜防水(X-2)塗	[新設]	
⑮	犬走り	-	モルタル塗金ごて押え	目地切 [既存のまま]	清掃	
⑯	ポーチ	C	クリンカータイル	[撤去] インターロッキング舗装	[新設]	
⑰	換気パイプ	-	塩ビ製(φ50)	SOP塗	[新設] 塗装面下地調整(ニ)	
⑱	[10棟]					
⑲	屋根2 平場	C	コンクリート直押え アスファルト露出防水	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法)	[新設]	
⑳	立上り、天端	C	防水モルタル塗 アスファルト露出防水	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法) 立上り	[新設]	
㉑	端部	-	アルミ製(100×60)	[撤去] アルミ製(100×60)	[新設]	
㉒	屋根3 平場	C	コンクリート直押え アスファルト露出防水	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法)	[新設]	
㉓	立上り	C	防水モルタル塗 アスファルト露出防水	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法) 立上り	[新設]	
㉔	笠木	C	防水モルタル塗 複層塗材E吹付	[撤去] 笠木:アルミ製(W=150)	[新設]	
㉕	軒裏	C	モルタル塗刷毛引き 複層塗材E吹付	[撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]	
㉖	柱型、外壁、梁型	C	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付	目地切 [撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]	
㉗	根廻り	C	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付 (トップコートのみ)	[撤去] 複層塗材E吹付 (トップコートのみ) 又は浸透性 中性化対策	[新設]	
㉘	換気パイプ	-	塩ビ製(φ50)	SOP塗	[新設] 塗装面下地調整(ニ)	
㉙	消火器ボックス	-	鋼製	[撤去] -		
㉚	EXP.J金物	-	アルミ製(W=850、屋根-屋根用)	[撤去] アルミ製(W=850、屋根-屋根用)	[新設]	
㉛	EXP.J金物	-	アルミ製(W=85、壁-壁コーナー用)	[撤去] アルミ製(W=85、壁-壁コーナー用)	[新設]	
㉜	水切金物	-	ガルバリウム塗装鋼板(t=0.6)曲げ加工	[撤去] ガルバリウム塗装鋼板(t=0.6)曲げ加工	[新設]	

特 記 事 項	・長寿命化対策:躯体改修工法(リフリート工法:RF仕様同等 樹脂コンスチック)	塗装面下地調整 (イ) 鋼製建具の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗 (ロ) モルタル面・ボード面の下地調整RB種 (ハ) 鉄面の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗 (ニ) VE(VP)管の下地調整 汚れ付着除去程度 (ホ) アルミ面は、脱脂・エッチング・スマット除去溶剤・クロメート系化成被膜処理材	凡 例 SOP 合成樹脂調合ペイント SUS ステンレス C コンクリート EP-G つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り ≡ シーリング M モルタル EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り RD ルーフドレン S 鋼製 VE 塩化ビニル樹脂エナメル FD フロアドレン DP 耐候性塗料 G、P 配管用炭素鋼鋼管
	・防水改修に伴い屋根勾配の確保すること。		

外部仕上表					
符号	場所・部位	下地	改修前	改修後	備考
			仕上	仕上	
①	屋根 平場	C	コンクリート直均し アスファルト防水(D-2)	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法)	[新設] 断熱材:硬質ウレタン系フォーム 厚50敷込
②	立上り、側溝	C	モルタル塗 アスファルト防水(D-2)	[撤去] 改質アスファルトシート防水(常温粘着(ASI-JI)工法) 立上り	[新設]
③	笠木	C	防水モルタル塗 塗膜防水(X-2)	[撤去] アルミ製(W=250)	[新設]
④	軒裏	C	コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付	[撤去] 外装薄塗材E吹付 中性化対策	[新設]
⑤	外壁、柱型、梁型、ポーチ	C	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付	[撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]
⑥	根廻り	C	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付	[撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]
⑦	玄関庇 天端	C	防水モルタル塗金ごて押え	[撤去] 防水モルタル塗金ごて押え 塗膜防水(X-2)塗	[新設]
⑧	庇裏	C	コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付	[撤去] 外装薄塗材E吹付 中性化対策	[新設]
⑨	樋 ルーフドレン1	-	鋳鉄製(φ100用)	[撤去] 鋳鉄製(φ100用)	[新設]
⑩	ルーフドレン2	-	鋳鉄製(φ100用、横型)	[撤去] -	
⑪	ルーフドレン3	-	鋳鉄製(φ60用、横型)	[撤去] 鋳鉄製(φ60用)	[新設]
⑫	縦樋1	-	S G P (φ100) 掘み金物: SUS製(@1,200内外)	[撤去] V P カラー(φ100) 掘み金物: SUS製(@1,200内外)	[新設]
⑬	縦樋2	-	V P (φ60) 掘み金物: SUS製(@1,200内外)	[撤去] V P カラー(φ60) 掘み金物: SUS製(@1,200内外)	[新設]
⑭	窓台、梁天端	C	防水モルタル塗 複層塗材E吹付 (トップコートのみ)	[撤去] コンクリート打放し補修	[土間共新設]
⑮	ポーチ、犬走り	C	モルタル塗金ごて押え	目地切 [土間共撤去] 防水モルタル塗金ごて押え 塗膜防水(X-2)塗	[新設]
⑯	足洗	C	コインタイル 立上り: 小口タイル	[撤去] -	
⑰	水呑 内壁	C	小口タイル	[撤去] -	内部仕上表による
⑱	天端	C	モルタル塗金ごて押え 複層塗材E吹付	[撤去] -	内部仕上表による
⑲	流し	-	ステンレス製 腰: テラゾーブロック	[撤去] -	内部仕上表による
⑳	下足・笠置場	C	防水モルタル塗 複層塗材E吹付 水切: アルミ製(L-40×40)	[撤去] 防水モルタル塗 複層塗材E吹付	[新設]
㉑	換気パイプ	-	塩ビ製(φ50) V P 塗	S O P 塗	[新設] 塗装面下地調整(ニ)
㉒	屋上点検口	C	鋼製(φ600) V P 塗	[撤去] ステンレス製(φ600)	[新設]
㉓	設備基礎	-	防水モルタル塗 塗膜防水(X-2)	[撤去] 防水モルタル塗金ごて押え 塗膜防水(X-2)塗	[新設]
㉔	掲揚ポール	-	ステンレス製(L=4,000)	[撤去] -	
㉕	防鳥ネット	-	ポリエチレン製(25mm目)	[撤去] -	
㉖	定礎石	-	御影石(300×400)	[取外し] 御影石(300×400)	[移設]
㉗	倉庫3 床	C	コンクリート直均し	[既存のまま]	清掃
㉘	壁、柱型、梁型	C	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修	
㉙	天井	C	スタイロフォーム(t=25)打込	[撤去] スタイロフォーム(t=25)	[新設]
㉚					
㉛					
㉜					

特記事項	・長寿命化対策: 躯体改修工法(リフリート工法: R F 仕様同等 糊コンスチック)	塗装面下地調整	(イ) 鋼製建具の下地調整R B種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	凡例	S O P	合成樹脂調合ペイント	S U S	ステンレス	C	コンクリート
	・防水改修に伴い屋根勾配の確保すること。		(ロ) モルタル面・ボード面の下地調整R B種		E P - G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	≡	シーリング	M	モルタル
		(ハ) 鉄面の下地調整R B種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	(ニ) V E (V P) 管の下地調整 汚れ付着除去程度	E P	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	R D	ルーフドレン	S	鋼製	
		(ホ) アルミ面は、脱脂・エッチング・スマット除去溶剤・クロメート系化成被膜処理材	(ホ) アルミ面は、脱脂・エッチング・スマット除去溶剤・クロメート系化成被膜処理材	V E	塩化ビニル樹脂エナメル	F D	フロアドレン			
				D P	耐候性塗料	G. P	配管用炭素鋼鋼管			

外部仕上表					
符号	場所・部位	下地	改修前	改修後	備考
			仕上	仕上	
33	屋外階段 蹴上、踏面、巾木	C	モルタル塗金ごて押え 段鼻：磁器ノンスリップタイル	[撤去] モルタル塗金ごて押え 段鼻：磁器ノンスリップタイル	[新設]
34	手すり壁	C	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付	[撤去] 複層塗材E吹付 中性化対策	[新設]
35	天井、段裏	C	コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付	[撤去] 外装薄塗材E吹付 中性化対策	[新設]
36	開放廊下 床	C	モルタル塗金ごて押え 防滑性ビニル床シート 排水溝：防水モルタル塗金ごて押え	[一部撤去] -	内部仕上表による
37	巾木	C	モルタル塗金ごて押え	[一部撤去] -	内部仕上表による
38	手すり壁	C	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付	[一部躯体共撤去] -	内部仕上表による
39	竝木	C	防水モルタル塗 複層塗材E吹付 手すり：ステンレス製(φ42.7×3.2)	[一部撤去] -	内部仕上表による
40	天井	C	コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付	[撤去] -	内部仕上表による
41	庇 屋根	S	折板葺(山高85、塩ビ被覆鋼板(t=0.6)) 水切、鼻隠し：屋根同材	[撤去] 折板葺(山高85、塩ビ被覆鋼板(t=0.6)) 水切、鼻隠し：屋根同材	[新設]
42	鉄部	S	FE塗	DP(I)塗	[塗替え]
43	軒樋	-	塩ビ製(150×100)	[撤去] 塩ビ製(150×100)	[新設]
44	縦樋	-	VP(φ75) VP塗 揺み金物：SUS製(φ1.300内外)	[撤去] VPカラー(φ75) 揺み金物：SUS製(φ1.300内外)	[新設]
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					

特記事項 ・長寿命化対策：躯体改修工法（リフリート工法：RF仕様同等 鋼コンステック）	塗装面下地調整	凡例					
	(イ) 鋼製建具の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	SOP	合成樹脂調合ペイント	SUS	ステンレス	C	コンクリート
	(ロ) モルタル面・ボード面の下地調整RB種	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗リ	≡	シーリング	M	モルタル
	(ハ) 鉄面の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗リ	RD	ルーフトレン	S	鋼製
	(ニ) VE(VP)管の下地調整 汚れ付着除去程度	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	FD	フロアドレン		
(ホ) アルミ面は、脱脂・エッチング・スマット除去剤・クロメート系化成被膜処理材	DP	耐候性塗料	G.P	配管用炭素鋼管			

外部仕上表			改修前	改修後	備考
符号	場所・部位	下地	仕上	仕上	
	15棟				
33	屋根 大屋根(越屋根共)	C	モルタル塗(t=20) [残置]、断熱材：ポリエチレンフォーム(t=25)、合成高分子系ルーフィングシート防水(S-3、t=2.0、横引き)	改質アスファルトシート防水(常温粘着工法(ASI-J1 一部変更仕様)) 断熱材：硬質ウレタンフォーム保温板 t=50(3種1号)	[新設]
34	掘金物、ケラバ、唐草	-	アルミ製	水切金物：アルミ製	[新設]
35	軒先	C	コンクリート打放し補修 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]
36	軒裏	LGS	0.8FK(t=5.0) VP塗	0.8FK(t=6.0) NAD塗	[下地共新設]
37	機械室屋根、小屋根1、2 平場	C	モルタル塗(t=20 [残置])、断熱材：ポリエチレンフォーム(t=25)、合成高分子系ルーフィングシート防水(S-3、t=2.0)	改質アスファルトシート防水(常温粘着工法(ASI-J1)) 断熱材：硬質ウレタンフォーム保温板 t=50(3種1号)	[新設]
38	立上り	C	合成高分子系ルーフィングシート防水(t=2.0) コーナー及び端部付属品金物取付	改質アスファルトシート防水(常温粘着工法(ASI-J1)) 断熱材：硬質ウレタンフォーム保温板 t=50(3種1号)	[新設]
39	笠木	C	コンクリート直均し 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]
40	屋上 平場	C	モルタル下地アスファルト断熱防水(AI-2)、押えコンクリート直均し、伸縮目地入り	既存[目地処理]の上、改質アスファルトシート防水(常温粘着工法(ASI-J1)) 断熱材：硬質ウレタンフォーム保温板 t=50(3種1号)	[新設] 仕上の上に保護パネル：アスファルト成形板 t=6 [新設]
41	立上り	C	アスファルト防水、ボードカバー取付	改質アスファルトシート防水(常温粘着工法(ASI-J1)) 断熱材：硬質ウレタンフォーム保温板 t=50(3種1号)	[新設]
42	笠木	C	コンクリート直均し 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設] 手すり基礎：既存コンクリートの上、塗膜防水(X-2)
43	庇 平場	C	モルタル塗(t=20) [残置]、合成高分子系ルーフィングシート防水(S-3、t=2.0)	塗膜防水(X-2)	[新設]
44	立上り	C	合成高分子系ルーフィングシート防水(t=2.0) コーナー及び端部付属品金物取付	塗膜防水(X-2)	[新設]
45	天端、支持斜材	C	コンクリート打放し補修 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]
46	庇裏	C	コンクリート打放し補修 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]
47	外壁 (柱型、梁型含む)	C	コンクリート打放し補修 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]
48	根廻り	C	コンクリート打放し補修 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]
49	梁天端	C	モルタル塗金ゴテ押え		
50	樋 大屋根軒樋(越屋根共)	C	モルタル下地(勾配取付) [残置] 合成高分子系ルーフィングシート防水(S-3、t=2.0)	既存モルタル下地の上、改質アスファルトシート防水(常温粘着工法(ASI-J1)) 断熱材：硬質ウレタンフォーム保温板 t=50(3種1号)	[新設]
51	ルーフトレン1 大屋根	-	鋳鉄製(φ100、堅型、外断熱、シート防水用) ※1~6共通：コールタール焼付、ねじ込み式	鋳鉄製(φ100、堅型)	[新設]
52	ルーフトレン2 越屋根	-	鋳鉄製(φ75、横型、外断熱、シート防水用)	鋳鉄製(φ75、横型)	[新設]
53	ルーフトレン3 機械室屋根	-	鋳鉄製(φ100、横型、外断熱、シート防水用)	鋳鉄製(φ100、横型)	[新設]
54	ルーフトレン4 屋上	-	鋳鉄製(φ100、横型、外断熱、アスファルト防水用)	鋳鉄製(φ100、横型)	[新設]
55	ルーフトレン5 小屋根1、2	-	鋳鉄製(φ100、横型、外断熱、シート防水用)	鋳鉄製(φ100、横型)	[新設]
56	ルーフトレン6 庇	-	鋳鉄製(φ75、堅型、シート防水用)	鋳鉄製(φ75、堅型)	[新設]
57	縦樋1	-	VP(φ100) VP塗 掘み金物：SUS製(φ1,200内外)	VPカラー(φ100) 掘み金物：SUS製(φ1,200内外)	[新設]
58	縦樋2	-	VP(φ75) VP塗 掘み金物：SUS製(φ1,200内外)	VPカラー(φ75) 掘み金物：SUS製(φ1,200内外)	[新設]
59	養生管	-	SGP(φ125) SOP塗 掘み金物：SUS製(φ1,200内外)	SGP(φ125) DP(I)塗 掘み金物：SUS製(φ1,200内外)	[新設]
60	外部階段 路上、踏面	C	防水モルタル塗 段鼻：磁器ノンスリップ	防水モルタル塗 段鼻：磁器ノンスリップ	[新設] 最上段(屋上踏段共)塗膜防水(X-2)
61	巾木、ボーダー	C	防水モルタル塗(H=100)	防水モルタル塗(H=100)	[新設]
62	手すり壁	C	コンクリート打放し補修 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]
63	手すり壁(建屋側)	-	鉄部：亜鉛メッキ仕上げ	[既存のまま]	清掃
64	段裏	C	コンクリート打放し補修 撥水材吹付	撥水材吹付 中性化対策(打ち放し)	[新設]

特記事項	塗装面下地調整	凡例
・長寿命化対策：躯体改修工法(リフリース工法：RF仕様同等 鋼コンステック)	(イ) 鋼製建具の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	SOP 合成樹脂調合ペイント
・防水改修の下地モルタル・コンクリート下地処理(ケレン清掃)及び下地調整(樹脂モルタル薄塗)を行うこと。	(ロ) モルタル面・ボード面の下地調整RB種	SUS ステンレス
・防水改修のASI-J1一部変更仕様とはASI-J1・工程3を改質アスファルトシート(非露出複層防水同上種 1.5mm以上)とする。	(ハ) 鉄面の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	C コンクリート
	(ニ) VE(VP)管の下地調整 汚れ付着除去程度	EP-G つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り
	(ホ) アルミ面は、脱脂・エッチング・スマット除去溶剤・クロメート系化成被膜処理材	RD ルーフドレン
		S モルタル
		VE 塩化ビニル樹脂エナメル
		FD フロアドレン
		DP 耐候性塗料
		G.P 配管用炭素鋼管

外部仕上表					
符号	場所・部位	下地	改修前	改修後	備考
			仕上	仕上	
65	犬走り	C	モルタル塗金ごて押え 段鼻：磁器ノンスリップ 目地切	[既存のまま]	清掃
66	タラップ	-	溶融亜鉛メッキ仕上(丸鋼φ19、W400φ300)	DP	[新設]
67	塔屋タラップ	-	溶融亜鉛メッキ仕上(丸鋼φ22加工)	DP	[新設]
68	換気ガラリ	-	アルミ製(φ100、丸型フード付、ステンレス製防虫網付)	[撤去] アルミ製(φ100、丸型フード付、ステンレス製防虫網付)	[新設]
69	換気ガラリ	-	アルミ製(φ150、丸型フード付、ステンレス製防虫網付)	[撤去] アルミ製(φ150、丸型フード付、ステンレス製防虫網付)	[新設]
70	株名札	-	ステンレス箱文字(90×90×20、HL仕上) 「給食棟」(3文字)	[撤去] -	
71	庇(既製品)	-	アルミ製(2,000×1,500)	[撤去] -	
72	防球ネット	-	マス目40mm	[取外し]	[再取付]
73	EXP.J金物	-	アルミ製(W=150、壁-壁用)	[撤去] アルミ製(W=150、壁-壁用)	[新設]
74	水切金物	-	ガルバリウム塗装鋼板(t=0.6)曲げ加工	[撤去] ガルバリウム塗装鋼板(t=0.6)曲げ加工	[新設]
75	プラットフォーム 屋根	S	折板葺き(山高150、ガルバリウム塗装鋼板(t=0.8)) 役物、壁当り水切り、面戸：屋根同材	[撤去] 折板葺き(山高150、ガルバリウム塗装鋼板(t=0.8)) 役物、壁当り水切り、面戸：屋根同材	[新設]
76	鉄部	S	亜鉛めっき	[既存のまま]	
77	軒樋	-	塩ビカラー(120角型)	[撤去] 塩ビカラー(120角型)	[新設]
78	壁樋	-	V Pカラー(φ75) 掴み金物：SUS製(φ1,200内外)	[撤去] V Pカラー(φ75) 掴み金物：SUS製(φ1,200内外)	[新設]
79	床	C	コンクリート直均し仕上げ	[既存のまま]	
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					

特記事項 ・長寿命化対策：躯体改修工法(リフリート工法：RF仕様 鋼コンステック)	塗装面下地調整	凡例					
	(イ) 鋼製建具の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	SOP	合成樹脂調合ペイント	SUS	ステンレス	C	コンクリート
	(ロ) モルタル面・ボード面の下地調整RB種	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	≡	シーリング	M	モルタル
	(ハ) 鉄面の下地調整RB種の上、変性エポキシ樹脂プライマー2回塗	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	RD	ルーフトレン	S	鋼製
	(ニ) VE(VP)管の下地調整 汚れ付着除去程度	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	FD	フロアドレン		
	(ホ) アルミ面は、脱脂・エッチング・スマット除去溶剤・クロメート系化成被膜処理材	DP	耐候性塗料	G、P	配管用炭素鋼鋼管		

内 部 仕 上 表 (1)

階	室 名	床		巾 木		腰 壁		壁		天 井		梁 型		廻 縁	天 井 高	カーボックス カーブ取付板	環境 測定 (特記1-14)	備 考		
		下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上							
1		[一部躯体共撤去]						パルセメント板(t=6.0、アスベスト含有) 底目地 EP塗						[下地共撤去]						
	男子便所	改修後	M	防滑性ビニル床シート(t=2.0)	[躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0)	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-		
			M	汚垂石	[躯体共新設]						LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5)+0.8FK-D(t=6.0)	[下地共新設]							
	女子便所	改修後	M	防滑性ビニル床シート(t=2.0)	[躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0)	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-		
											LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5)+0.8FK-D(t=6.0)	[下地共新設]							
	掃除流し	改修後	M	防滑性ビニル床シート(t=2.0)	[躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0)	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-		
											LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5)+0.8FK-D(t=6.0)	[下地共新設]							
	特支教室1、2	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-	C.BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	O (2)
	保健室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)(M-0524)	[下地共新設]	-	-	C.BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	-
			M	防滑性ビニル床シート(t=2.0)	[下地共新設]							(NM-1908) (NM-8615)								
					[一部躯体共新設]															
	末客玄関	改修後	M	外装床タイル(I類、150×150、平)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-		
			M	ビニル床シート(t=2.0)	[下地共新設]															
		改修後																		
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
		改修後	M	ビニル床シート(t=2.0)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-		
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
					[下地共撤去]															
	職員室 印刷室、消耗品倉庫	改修後	C	O Aフロア(H=30) ビニル床タイル(t=4.5)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-	C.BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	O (2)
	放送室	改修後	C	O Aフロア(H=30) ビニル床タイル(t=4.5)	[下地共新設]	W	木製巾木(H=100) OS塗	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) 木下地	[下地共新設]	LGS	GB-R(t=9.5)+DR(t=9.0)	[下地共新設]	-	-		
					[下地共新設]							有孔合板(t=5.0) OS塗								
	湯沸室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-		
	校長室	改修後	C	O Aフロア(H=30) タイルカーペット(t=6.5)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) ビニルクロス	[下地共新設]	LGS	GB-R(t=9.5)+DR(t=9.0)	[下地共新設]	-	-		
	収納	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0)	[下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100)	[新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗	[下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5)	[下地共新設]	-	-		

略号凡例	防火材料認定番号	特記事項
下 地	石こうボード (9.5)	準不燃 QM-9828
C コンクリート	石こうボード (12.5)	不燃 NM-8619
CB コンクリートブロック	化粧石こうボード (9.5)	準不燃 QM-9824
M モルタル金ゴテ押え	ロックウォール化粧吸音板 (12)	不燃 NM-8599
M' モルタル剛毛引き	耐火構造認定番号	
W 木造	1時間耐火間仕切	FP060NP-0448(1)
LGS 軽量鉄骨下地	その他	
ECP 押出セメント板	シーリング(種別は特記仕様による)	
	グラスウール	

内部仕上表(2)

階	室名	改修後	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーボン ファイバー 取付板	環境 測定 (特記1-14)	備考
			下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
1	職員便所(男性用)	改修後	M	防滑製ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設] [一部躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=60) [新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	-	-	
			M	防滑製ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設] [一部躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=60) [新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	-	-	
	掃除流し	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=60) [新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	-	-	
			M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=60) [新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	-	-	
	備品室	改修前	M	ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去] [一部躯体共撤去]	GB	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5) ビニルクロス [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2,670	-	-	
			M	ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	GB	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5) ビニルクロス [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2,340	-	-	
	廊下	改修前	M	合成樹脂塗床(薄膜型) [下地共撤去]	M	EP塗(H=100) [撤去]	-	-	M	EP塗 [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2,400 ~ 2,670	-	-	
			M	ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	GB	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5) ビニルクロス [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2,400 ~ 2,670	-	-	
	更衣室(女性用)	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設] [一部躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,700	C.BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	-	
	更衣室(男性用)	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設] [一部躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,700	C.BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	-	
	教材備品庫兼倉庫	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	C.BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	-	
	相談室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	C.BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	○	(1)
廊下	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	-	-		
	改修前																		
	改修後																		
	改修前																		
	改修後																		

特記事項

内部仕上表(1)

階	室名	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーペット カーペット取付板	環境測定 (特記1-14)	備考
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
1	音楽室	改修前	M ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W 有孔吸音板(t=9.0) EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
		W ビニル床シート(t=2.5・7x^'t含有) [下地共撤去]	C B 木製(H=100) OP塗 [撤去]	—	—	—	—	—	—	W 合板(t=4.0) クロス [下地共撤去]	W 合板(t=4.0) クロス [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—
	楽器庫	改修前	M ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W GB-R(t=9.0)底目地 EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	通路	改修前	M ビニル床シート(t=2.5・7x^'t含有) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W 吸音板 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	配膳室	改修後	M 防滑性ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB ビニル巾木(H=100) [新設]	—	—	—	—	LGS GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS GB-D(t=9.5) [下地共新設]	—	—	—	—	—	—	—	—
	ゴミ置場	改修後	M 防滑性ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB ビニル巾木(H=100) [新設]	—	—	—	—	LGS GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS GB-D(t=9.5) [下地共新設]	—	—	—	—	—	—	—	—
LGS GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]																		
	掃除道具倉庫	改修後	M ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB ビニル巾木(H=100) [新設]	—	—	—	—	LGS GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS GB-D(t=9.5) [下地共新設]	—	—	—	—	—	—	—	—
	廊下	改修後	M ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB ビニル巾木(H=100) [新設]	—	—	—	—	LGS GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS GB-D(t=9.5) [下地共新設]	—	—	—	—	—	—	—	—
	休憩 緑	改修前	W タタミ敷 [下地共撤去]	—	W タタミ寄せ [撤去]	—	—	—	M 内装薄塗材E吹付 [下地共撤去]	W 合板(t=5.0、杉柁)底目地 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
W 単層フローリング(アビトン) [下地共撤去]			—	雑巾摺 [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W GB-R(t=9.0)底目地 EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロッカー	改修前	M ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W GB-R(t=9.0)底目地 EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	放送	改修前	M ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W 吸音板(t=9.0) EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	印刷	改修前	M ビニル床シート(t=2.5・7x^'t含有) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W GB-R(t=9.0)底目地 EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	書庫	改修前	M ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W GB-R(t=9.0)底目地 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	湯沸室	改修前	M ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	C B 内装壁タイル(75角) [撤去]	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W フレキシブルボード(t=6.0、アスベストみなし)底目地 EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—	—
	職員室	改修前	M ビニル床シート(t=2.5・7x^'t含有) [下地共撤去]	M EP塗(H=100) [撤去]	—	—	—	—	M EP塗 [下地共撤去]	W 吸音板(t=9.0) EP塗 [下地共撤去]	M EP塗 [下地共撤去]	—	—	—	—	—	—	—
	普通教室1、2	改修後	M ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB ビニル巾木(H=100) [新設]	—	—	—	—	LGS GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS GB-D(t=9.5) [下地共新設]	—	—	—	—	—	—	—	—

略号凡例										防火材料認定番号		特記事項	
下地	塗装			防火材料認定番号			特記事項						
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード(9.5)	準不燃 QM-9828	※特記なき限り、C下地の劣化改修はひび割れ部の補修(B-2工法)を行うこと。			
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	石こうボード(12.5)	不燃 NM-8619	※特記なき限り、M下地の劣化改修はひび割れ部の補修(B-6工法)及び浮き部の補修(D-2工法)を行うこと。			
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シーリング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	OS	オイルステイン	化粧石こうボード(9.5)	準不燃 QM-9824	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、			
M'	モルタル刷毛引き	DR	ロックウール化粧吸音板	DP	耐候性塗料	WP	木材保護塗料	ロックウール化粧吸音板(12)	不燃 NM-8599	スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、新規仕上の施工に支障のないよう、適切な下地処理及び補修を行うこと			
W	木造	FK	けい酸カルシウム板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	その他		耐火構造認定番号	1時間耐火間仕切	FP060NP-0448(1)	※下地 モルタル塗金ゴテ押えの厚さは床:30mm、壁:20mm [撤去]・[新設]とする。		
LGS	軽量鉄骨下地	SP	石綿サンドイッチ板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	シーリング(種別は特記仕様による)					※表中の【一部〇〇】の範囲は、図示による		
ECP	押出セメント板	SP'	けい酸カルシウム積層板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール				※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用すること		

内部仕上表(2)

階	室名	改修前	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーボン カーブ取付板	環境 測定 (特記1-14)	備考
			下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
1	玄関 ホール	改修前	C	外装床タイル(磁器、150角) [撤去]	M	ビニル巾木(H=100) [下地共撤去]	-	-	M	VP塗 [下地共撤去]	W	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製	3,000	-	-	
		M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]														
	職員玄関	改修後	C	外装床タイル(I類、150角、平) [新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	W	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	-	-	
		M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]																
	校長室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5・75°) [下地共撤去]	M	EP塗(H=100) [下地共撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	M	ビニルクロス [下地共撤去]	W	GB-R(t=9.0) ビニルクロス(アスベストみなし) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2,740	C BOX 木製 (150×150) OP塗 [撤去]	-	
	図書室	改修前	M	ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去]	M	EP塗(H=100) [下地共撤去]	-	-	M	EP塗 [下地共撤去]	W	有孔吸音板(t=9.0) EP塗 [下地共撤去]	M	EP塗 [下地共撤去]	塩ビ製 [撤去]	3,000	C BOX 木製 (150×150) OP塗 [撤去]	-	
	理科準備室	改修前	M	ビニル床タイル(t=2.0) [下地共撤去] [一部躯体共撤去]	M	EP塗(H=100) [下地共撤去]	-	-	M	EP塗 [下地共撤去]	W	GB-R(t=9.0) 底目地 EP塗 [下地共撤去]	M	EP塗 [下地共撤去]	塩ビ製 [撤去]	3,000	C BOX 木製 (150×150) OP塗 [撤去]	-	
	普通教室3、4	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,700	C BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	O (2)	
	理科準備室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0、耐薬品性) [下地共新設] [一部躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,700	C BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	-	
	改修後																		
	理科室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5・75°) [下地共撤去] [一部躯体共撤去]	M	EP塗(H=100) [下地共撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	M	EP塗 [下地共撤去]	W	バルセメント板(t=6.0、アスベスト含有) 底目地 EP塗 [下地共撤去]	M	EP塗 [下地共撤去]	塩ビ製 [撤去]	3,000	C BOX 木製 (150×150) OP塗 [撤去]	-	
	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0、耐薬品性) [下地共新設] [一部躯体共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,700	C BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	-		
	廊下	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5・75°) [下地共撤去]	M	EP塗(H=100) [下地共撤去]	-	-	M	EP塗 [下地共撤去]	W	吸音板(t=9.0) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2,400	-	-	
	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,400	-	-		
	改修前																		
	改修後																		
	改修前																		
	改修後																		

特記事項

内部仕上表(1)

階	室名	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーボックス カーテイク付板	環境 測定 (特記1-14)	備考	
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上						
B1	玄関	改修前	C	外装床タイル(100角) [撤去]	C	テラゾーブロック(H=150) [撤去]	M	複層塗材E吹付(H=1,940) [撤去]	M	EP塗 [撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2,450	-	-	
		改修後	C	外装床タイル(I類、100角) [新設]	C	外装床タイル(I類) [新設]	-	-	C	下地調整材塗 EP塗 [新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,450	-	-	
	玄関倉庫	改修前	C	モルタル塗金ごて押え [撤去]	C	モルタル塗金ごて押え(H=100) [撤去]	-	-	C	コンクリート打放し補修	C	コンクリート打放し補修	-	-	-	-	-	-	
		改修後	C	モルタル塗金ごて押え [新設]	C	モルタル塗金ごて押え(H=100) [新設]	-	-		[既存のまま]		[既存のまま]	-	-	-	-	-	-	
	男便所	改修前	C	コインタイル [撤去]	-	-	-	-	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	LGS	GB-R(t=9.0) ビニルクロス [下地共撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	塩ビ製 [撤去]	2,400	-	-	
	女便所	改修前	C	コインタイル [撤去]	-	-	-	-	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	LGS	GB-R(t=9.0) ビニルクロス [下地共撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	塩ビ製 [撤去]	2,400	-	-	
	洗面所	改修前	C	コインタイル [躯体共撤去]	-	-	-	-	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	LGS	GB-R(t=9.0) ビニルクロス [下地共撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	塩ビ製 [撤去]	2,300	-	-	
	男便所	改修後	C	外装床タイル(I類、100角) [一部躯体共新設]	-	-	-	-	C	内装壁タイル(皿類、100角) [撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,000	-	-	
	女便所	改修後	C	外装床タイル(I類、100角) [一部躯体共新設]	-	-	-	-	C	内装壁タイル(皿類、100角) [撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,000	-	-	
		改修後																	
	倉庫1、4	改修前	C	コンクリート直均し仕上げ	C	モルタル塗金ごて押え [撤去]	-	-	C	コンクリート打放し補修	C	コンクリート打放し補修	C	コンクリート打放し補修	-	-	-	-	
		改修後		[既存のまま]	C	モルタル塗金ごて押え [新設]	-	-	S	窯業系サイディング(t=15) [新設]		[既存のまま]		[既存のまま]	-	-	-	-	
倉庫2	改修前	C	コンクリート直均し仕上げ	C	モルタル塗金ごて押え [撤去]	-	-	C	コンクリート打放し補修	C	スタイロフォーム(t=25) 打込 [撤去]	C	コンクリート打放し補修	-	-	-	-		
	改修後		[既存のまま]	C	モルタル塗金ごて押え [新設]	-	-	S	窯業系サイディング(t=15) [新設]		スタイロフォーム(t=25) 張 [新設]		[既存のまま]	-	-	-	-		
1	普通教室 特支教室	改修前	M	防塵塗料塗 [下地共撤去]	C	木製(H=100) OP塗 [撤去]	-	-	M	EP塗 [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	M	EP塗 [下地共撤去]	塩ビ製 [撤去]	3,050	C BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
	普通教室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設] (NM-1908) (NM-8615)	LGS	GB-D(t=9.5) (QM-0524) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2,700	C BOX 木製 (150×120) OS塗 [新設]	-	

略号凡例										防火材料認定番号		特記事項	
下地	塗装			その他			防火材料認定番号	準不燃	特記事項				
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード(9.5)	準不燃 QM-9828	※特記なき限り、C下地の劣化改修はひび割れ部の補修(B-2工法)を行うこと。			
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	石こうボード(12.5)	不燃 NM-8619	※特記なき限り、M下地の劣化改修はひび割れ部の補修(B-6工法)及び浮き部の補修(D-2工法)を行うこと。			
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シーリング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	OS	オイルステイン	化粧石こうボード(9.5)	準不燃 QM-9824	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びビニルスクランダー等を用い、新規仕上の施工に支障のないよう、適切な下地処理及び補修を行うこと			
M'	モルタル刷毛引き	DR	ロックウール化粧吸音板	DP	耐熱性塗料	WP	木材保護塗料	ロックウール化粧吸音板(12)	不燃 NM-8599	※下地 モルタル塗金ゴテ押えの厚さは床:30mm、壁:20mm [撤去]・[新設]とする。			
W	木造	FK	けい酸カルシウム板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	その他		耐火構造認定番号	FP060NP-0448(1)	※表中の【一部〇〇】の範囲は、図示による			
LGS	軽量鉄骨下地	SP	石綿サンドイッチ板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	≡	シーリング(種別は特記仕様による)	1時間耐火間仕切		※図中(〇〇)は下地を示す			
ECP	押出セメント板	SP'	けい酸カルシウム積層板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール			※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと			

内部仕上表(2)

階	室名	改修前	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーボン ファイバー 取付板	環境 測定 (特記1-14)	備考
			下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
1	多目的ルーム	改修前	M	防塵塗料塗 [下地共撤去]	C	木製(H=100) OP塗	-	-	M	EP塗 [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	M	EP塗	塩ビ製 [撤去]	3.050	C. BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
		改修後																	
	シャワー室	改修前	M	モザイクタイル [下地共撤去]	-	-	-	-	LGS	内装壁タイル(100角) [下地共撤去]	LGS	0.8FK(t=6.0)目透し [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	3.050	-	-	
		改修後																	
	普通教室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設] (NM-1908) (NM-8615)	LGS	GB-D(t=9.5) (QM-0524) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.700	C. BOX 木製 (150×120) OS塗 [新設]	O (2)	
		改修後																	
	保健室	改修前	M	防塵塗料塗 [下地共撤去]	C	木製(H=100) OP塗 [撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	M	EP塗 [撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	M	EP塗	塩ビ製 [撤去]	3.050	C. BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
	ことばときこえ	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設] (NM-1908) (NM-8615)	LGS	GB-D(t=9.5) (QM-0524) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.400	C. BOX 木製 (150×120) OS塗 [新設]	-	
	女子便所	改修後	M	防滑性ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=60) [新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.400	-	-	
		改修後	M	汚垂石 [下地共新設]					LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]									
男子便所	改修後	M	防滑性ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=60) [新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.400	-	-		
	改修後	M	汚垂石 [下地共新設]					LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]										
掃除流し	改修後	M	防滑性ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=60) [新設]	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK-D(t=6.0) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.400	-	-		
	改修後																		
2	家庭科室	改修前	M	防塵塗料塗 [下地共撤去]	C	木製(H=100) OP塗 [撤去]	C	内装壁タイル(75角) [撤去]	M	EP塗 [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	M	EP塗 [下地共撤去]	塩ビ製 [撤去]	3.050	C. BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
	音楽室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	W	木製(H=100) OS塗 [新設]	-	-	W	吸音用穴あき石膏ボード(t=12.5) EP-G [下地共新設] (QM-9827)	LGS	GB-R(t=9.5)+DR(t=9.0) [下地共新設] (QM-9828) (NM-8599)	-	-	塩ビ製 [新設]	2.700	C. BOX 木製 (150×120) OS塗 [新設]	-	
	家庭科準備室	改修後	M	防塵塗料塗 [下地共撤去]	C	木製(H=100) OP塗 [撤去]	-	-	M	EP塗 [下地共撤去] [一部躯体共撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2.700	C. BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
	図工準備室	改修後	W	パーティクルボード(t=20)捨張 [下地共撤去] 複合フローリング(t=15、ブナ)	C	木製(H=100) OP塗 [撤去]	-	-	M	EP塗 [一部躯体共撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2.700	C. BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
	準備室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設] (NM-1908) (NM-8615)	LGS	GB-D(t=9.5) (QM-0524) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.700	C. BOX 木製 (150×120) OS塗 [新設]	-	
		改修後	C	樹脂床 パーティクルボード(t=20) [下地共新設] 普通合板(t=12.0+5.5) ビニル床シート(t=2.0)															
	図工室	改修前	W	パーティクルボード(t=20)捨張 [下地共撤去] 複合フローリング(t=15、ブナ)	C	木製(H=100) OP塗 [撤去]	-	-	M	EP塗 [撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) [撤去]	M	EP塗 [撤去]	塩ビ製 [撤去]	3.050	C. BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
		改修後	C	樹脂床 パーティクルボード(t=20) [下地共新設] 普通合板(t=12.0+5.5) ビニル床シート(t=2.0)	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設] (NM-1908) (NM-8615)	LGS	GB-D(t=9.5) (QM-0524) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.700	C. BOX 木製 (150×120) OS塗 [新設]	-	

特記事項

内部仕上表(3)

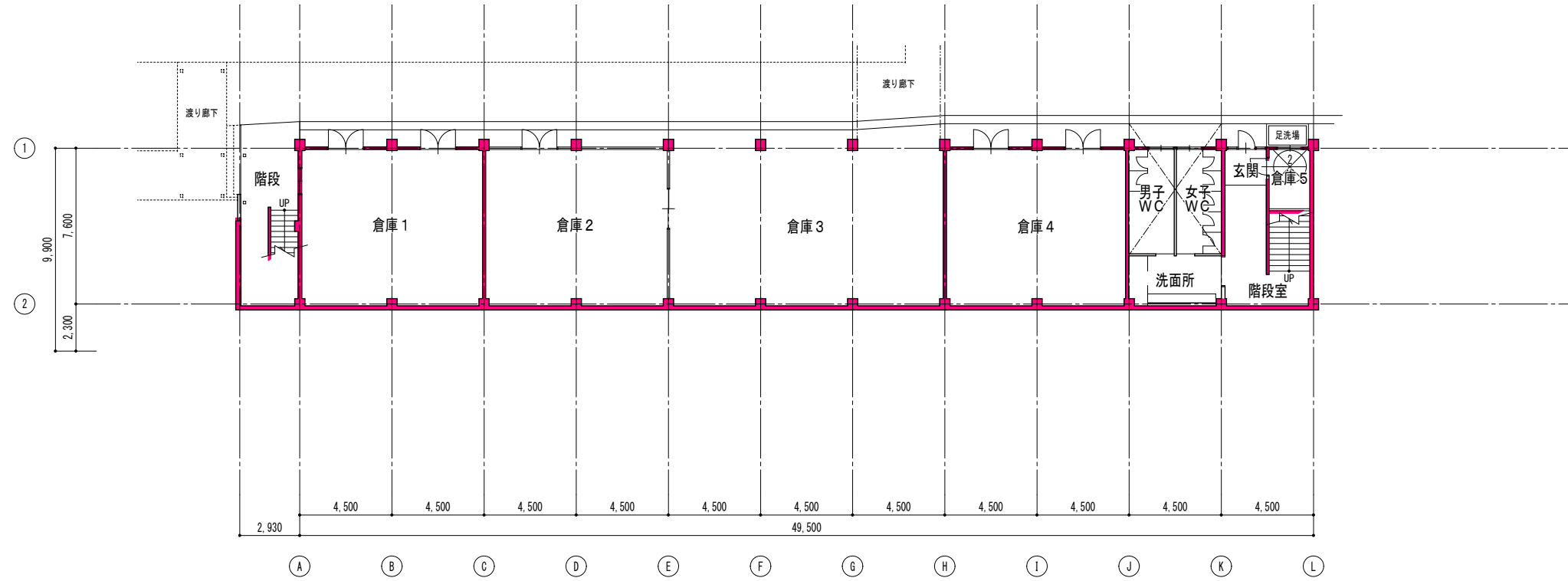
階	室名	改修前	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーペット カーブ取付板	環境 測定 (特記1-14)	備考
			下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
2	スタディールーム	改修前	M	OAフロア(H=) タイルカーペット(t=6.5) [下地共撤去]	C	木製(H=100) OP塗 [撤去]	-	-	M	EP塗 [撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) ビニルクロス [下地共撤去]	M	EP塗	塩ビ製	3.050	C BOX 木製 (150×120) OP塗 [撤去]	-	
	家庭科室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 (NM-1908) (NM-8615) [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) (OM-0524) [下地共新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.700	C BOX 木製 (150×120) OS塗 [新設]	O (2)	
共通	階段室	改修前	M	防塵塗料塗 [下地共撤去]	M	防塵塗料塗(H=100) [下地共撤去]	M	複層塗材E吹付(H=1.940)	M	EP塗	C	外装薄塗材E吹付 [撤去]	-	-	塩ビ製	2.750	-	-	
		改修後	M	防塵塗料(防滑)塗 [下地共撤去]	M	防塵塗料(防滑)塗 [下地共撤去]	M	防塵塗料(防滑)塗 [下地共撤去]	M	防塵塗料(防滑)塗 [下地共撤去]	LGS	GB-D(t=9.0) ※最上階のみ [下地共撤去]	-	-	塩ビ製 [撤去]	2.750	-	-	
廊下		改修前	M	防塵ビニル床シート(t=2.5) [下地共撤去]	C	下地調整材塗 ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	C	下地調整材塗 EP塗 [新設]	C	下地調整材塗 EP塗 [新設]	-	-	塩ビ製 [新設]	2.750	-	-	
		改修後	M	防塵ビニル床シート(t=2.5) [下地共撤去]	C	複層塗材E吹付 [撤去]	-	-	C	複層塗材E吹付 [撤去]	C	複層塗材E吹付 [撤去]	C	複層塗材E吹付 [撤去]	-	-	-	-	-
		改修前	C	樹脂床 パーティクルボード(t=20) 普通合板(t=12.0+5.5) ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	C	下地調整材塗 ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	C	下地調整材塗 EP塗 [新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	C	下地調整材塗 EP塗 [新設]	塩ビ製 [新設]	2.400	-	-	
		改修後																	
		改修前																	
		改修後																	
		改修前																	
		改修後																	
		改修前																	
		改修後																	
		改修前																	
		改修後																	
		改修前																	
		改修後																	
特記事項																			

内部仕上表(1)

階	室名	床			巾木			腰壁			壁			天井			梁型			廻縁	天井高	カーボックス カーテイク付板	環境 測定 (特記1-14)	備考
		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上						
1	配膳室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5) [撤去]	FK	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK(t=6.0) EP塗 [撤去]	LGS	ウレタンボード(t=15.0)+0.8FK(t=5.0) EP塗 [撤去]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
	牛乳受入庫	改修後	M	ビニル床シート(t=2.5) [撤去]	FK	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK(t=6.0) EP塗 [撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [撤去]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
	会議室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	C BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	-	
		改修後																						
	特支教室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5) [撤去]	FK	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	-	LGS	GB-R(t=12.5) ビニルクロス [撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
	更衣室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5) [撤去]	FK	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	-	LGS	GB-R(t=12.5) ビニルクロス [撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
	会議室	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5) [撤去]	FK	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	-	LGS	GB-R(t=12.5)+0.8FK(t=5.0) ビニルクロス [撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
	廊下	改修前	M	ビニル床シート(t=2.5) [撤去]	GB、FK	ビニル巾木(H=100) [撤去]	-	-	-	LGS	GB-R(t=12.5) EP塗 [撤去]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共撤去]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
	図書室	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	3,200 ~ *、***	C BOX 木製 (150×150) OS塗 [新設]	O (2)	
	書庫	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
	廊下	改修後	M	ビニル床シート(t=2.0) [下地共新設]	GB	ビニル巾木(H=100) [新設]	-	-	-	LGS	GB-F(t=12.5)+GB-R-H(t=9.5) EP-G塗 [下地共新設]	LGS	GB-D(t=9.5) [下地共新設]	-	-	-	-	-	-	塩ビ製	2,700	-	-	
		改修前																						
		改修後																						
		改修後																						
		改修後																						

略号凡例										防火材料認定番号		特記事項	
下地	塗装			防火材料認定番号			特記事項						
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード(9.5)	準不燃 QM-9828	※特記なき限り、C下地の劣化改修はひび割れ部の補修(B-2工法)を行うこと。			
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	石こうボード(12.5)	不燃 NM-8619	※特記なき限り、M下地の劣化改修はひび割れ部の補修(B-6工法)及び浮き部の補修(D-2工法)を行うこと。			
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シージング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	OS	オイルステイン	化粧石こうボード(9.5)	準不燃 QM-9824	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、新規仕上の施工に支障のないよう、適切な下地処理及び補修を行うこと			
M'	モルタル刷毛引き	DR	ロックウール化粧吸音板	DP	耐候性塗料	WP	木材保護塗料	ロックウール化粧吸音板(12)	不燃 NM-8599	※下地 モルタル塗金ゴテ押えの厚さは床:30mm、壁:20mm [撤去]・[新設]とする。			
W	木造	FK	けい酸カルシウム板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	その他		耐火構造認定番号	FPO60NP-0448(1)	※表中の【一部〇〇】の範囲は、図示による			
LGS	軽量鉄骨下地	SP	石綿サンドイッチ板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	シーリング	(種別は特記仕様による)	1時間耐火間仕切		※図中(〇〇)は下地を示す			
ECP	押出セメント板	SP'	けい酸カルシウム積層板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール			※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと			

改修前

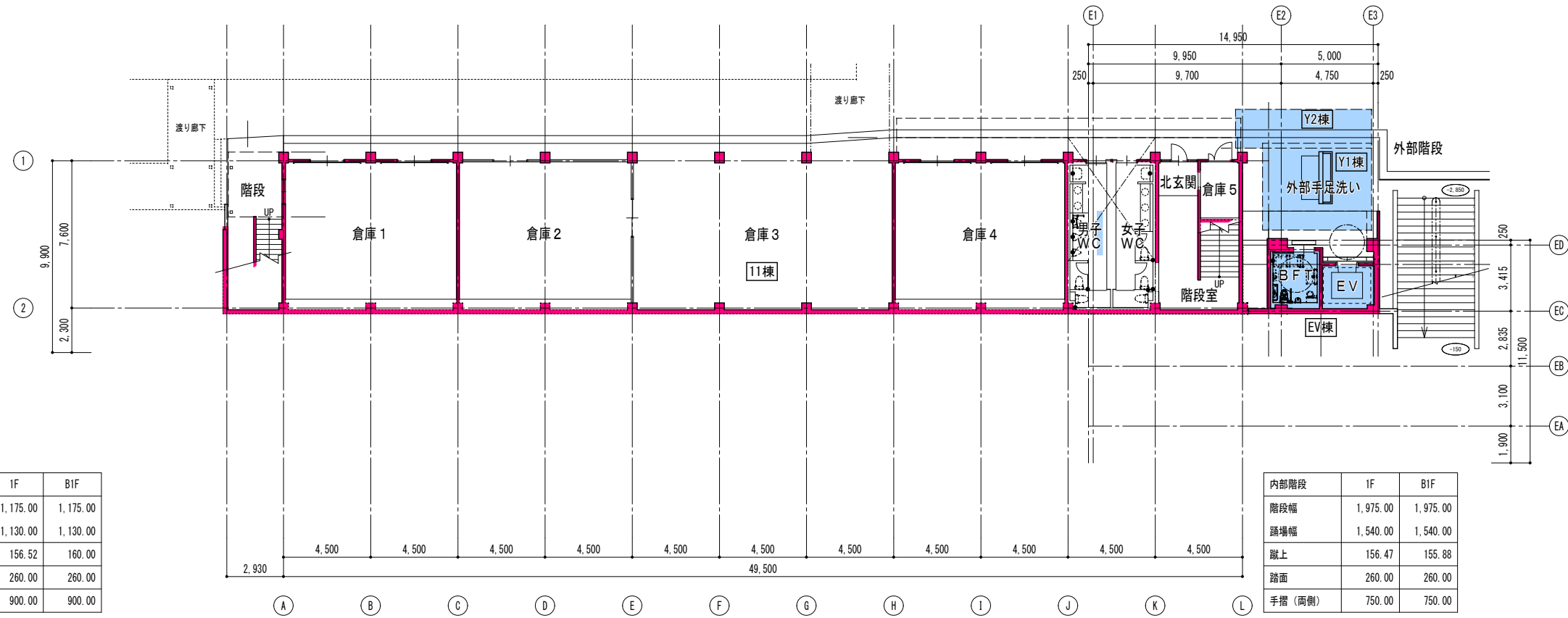


- 凡例
- : 建具記号を示す
 - : 建具記号【撤去】を示す

B 1 階平面図 (改修前) S=1/200

- 凡例
- : 室名札 (平付) 【撤去】を示す
 - : 室名札 (持出) 【撤去】を示す

改修後



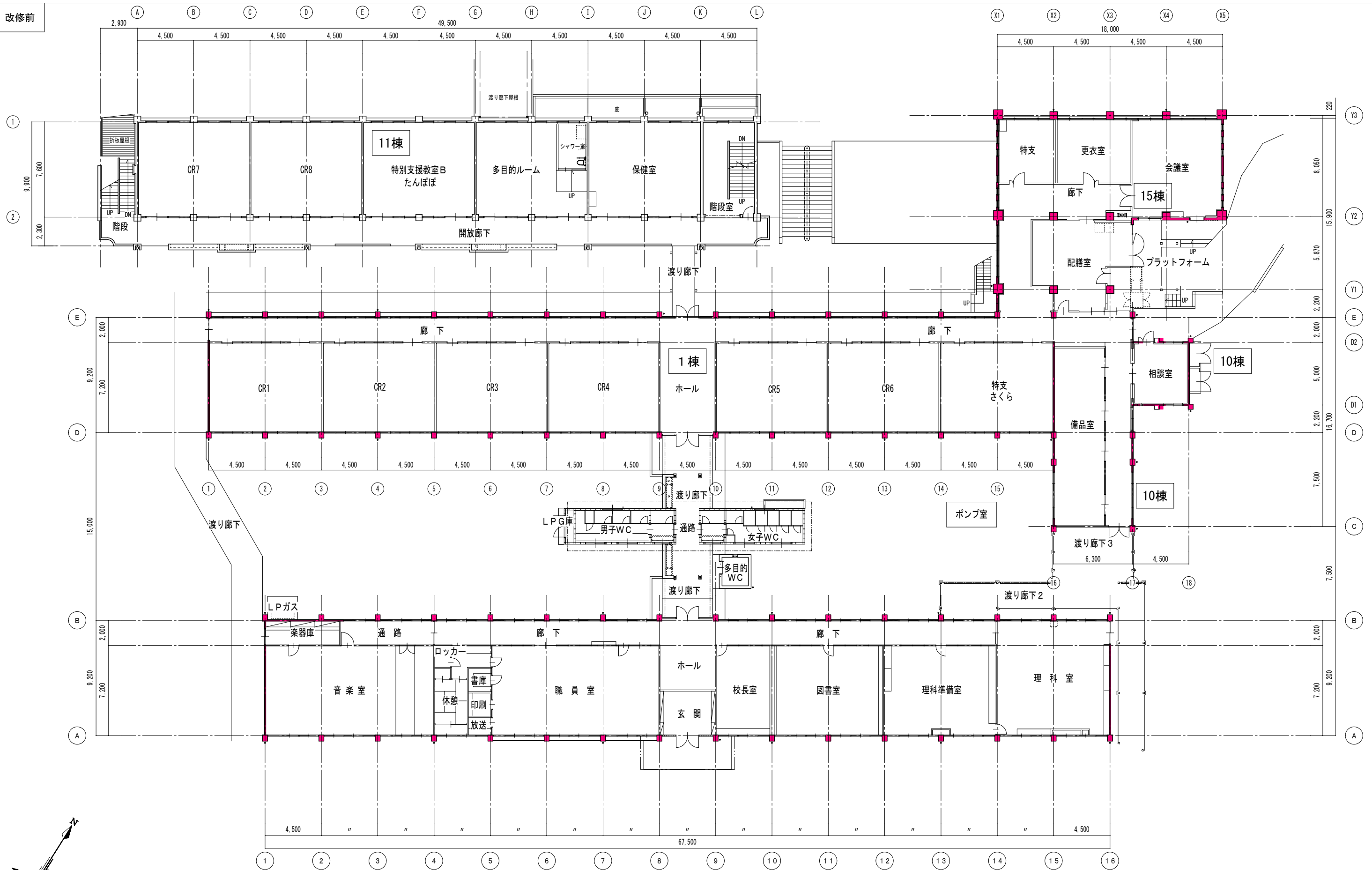
屋外階段	1F	B1F
階段幅	1,175.00	1,175.00
踊場幅	1,130.00	1,130.00
蹴上	156.52	160.00
踏面	260.00	260.00
手摺 (両側)	900.00	900.00

内部階段	1F	B1F
階段幅	1,975.00	1,975.00
踊場幅	1,540.00	1,540.00
蹴上	156.47	155.88
踏面	260.00	260.00
手摺 (両側)	750.00	750.00

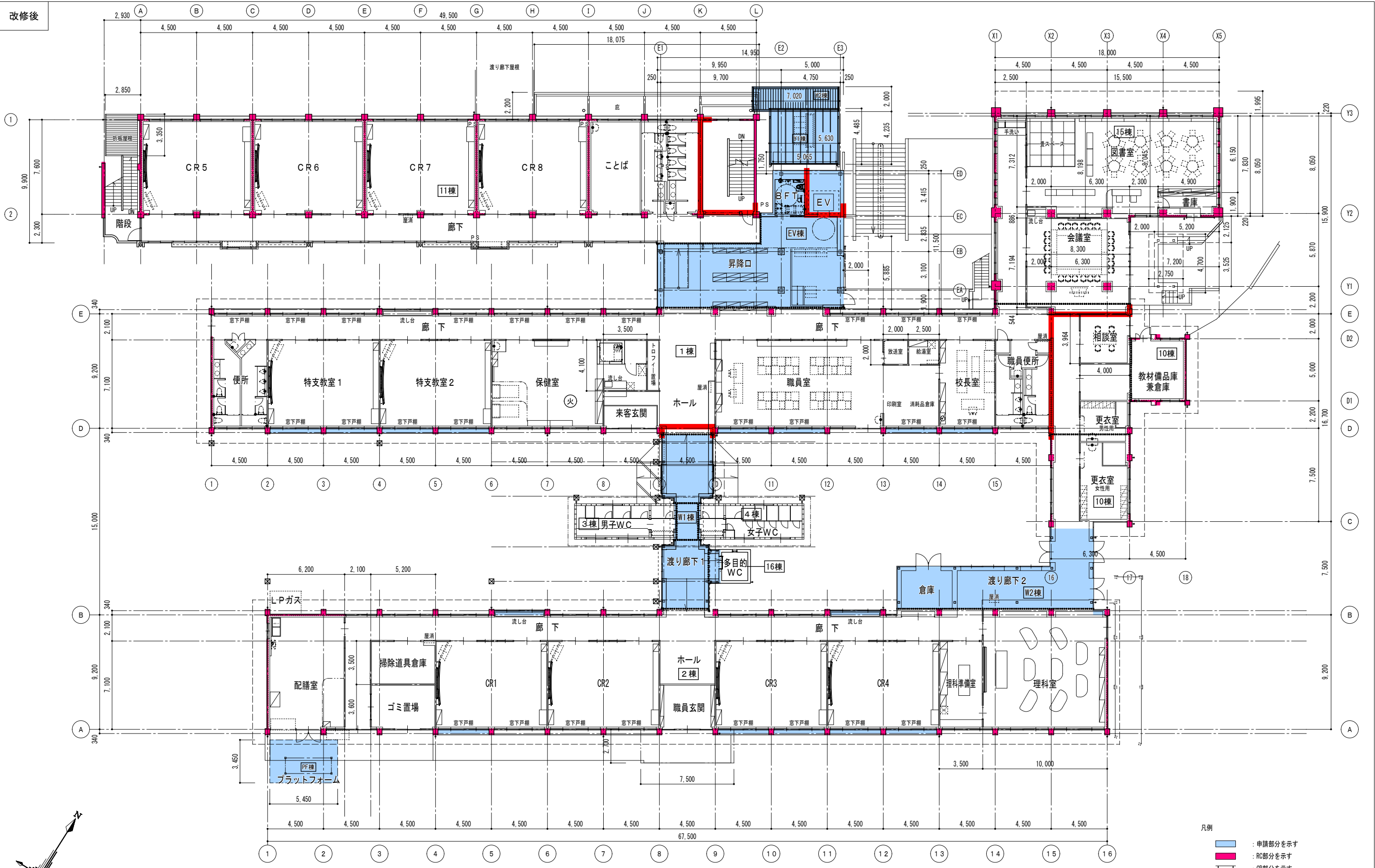
- 凡例
- : 申請部分を示す
 - : RC部分を示す
 - : CB部分を示す

B 1 階平面図 (改修後) S=1/200

改修前

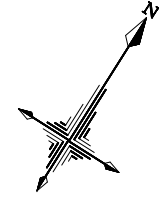


1階平面図(改修前) S=1/200

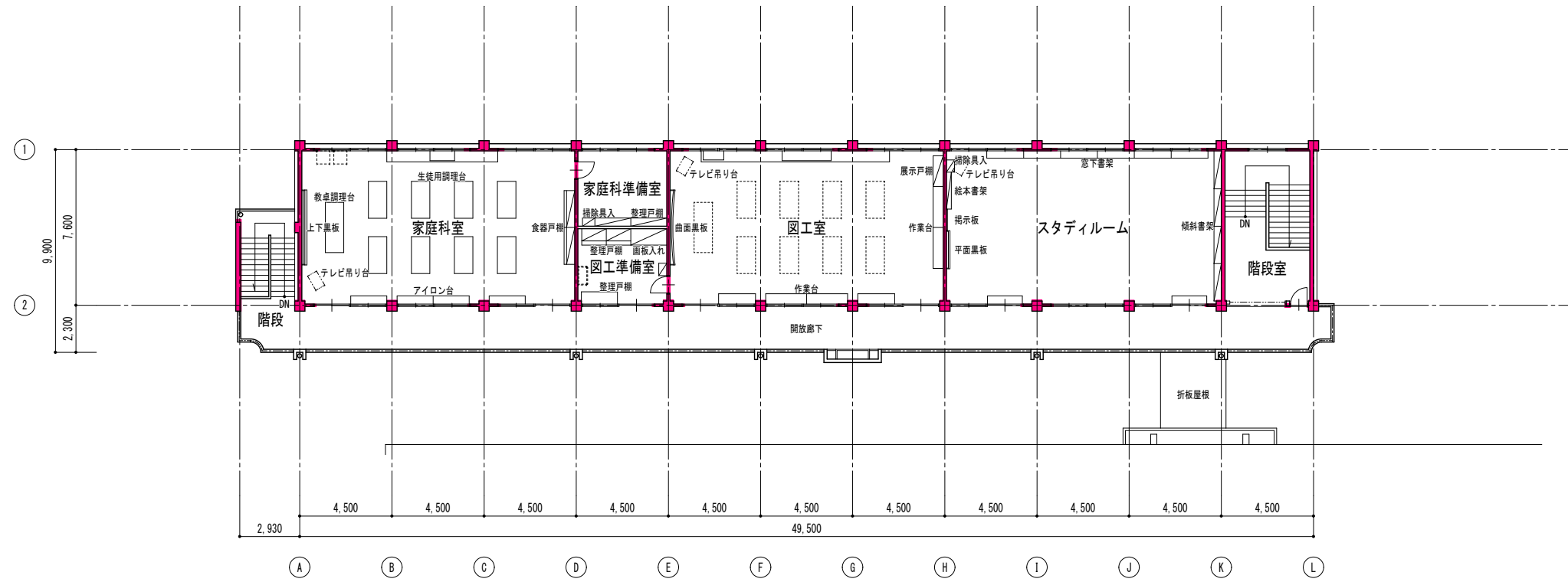


1階平面図(改修後) S=1/200

- 凡例
- : 申請部分を示す
 - : RC部分を示す
 - : CB部分を示す
 - (火) : 火気使用室を示す
 - : 防火区画を示す
 - : EXP. J位置を示す

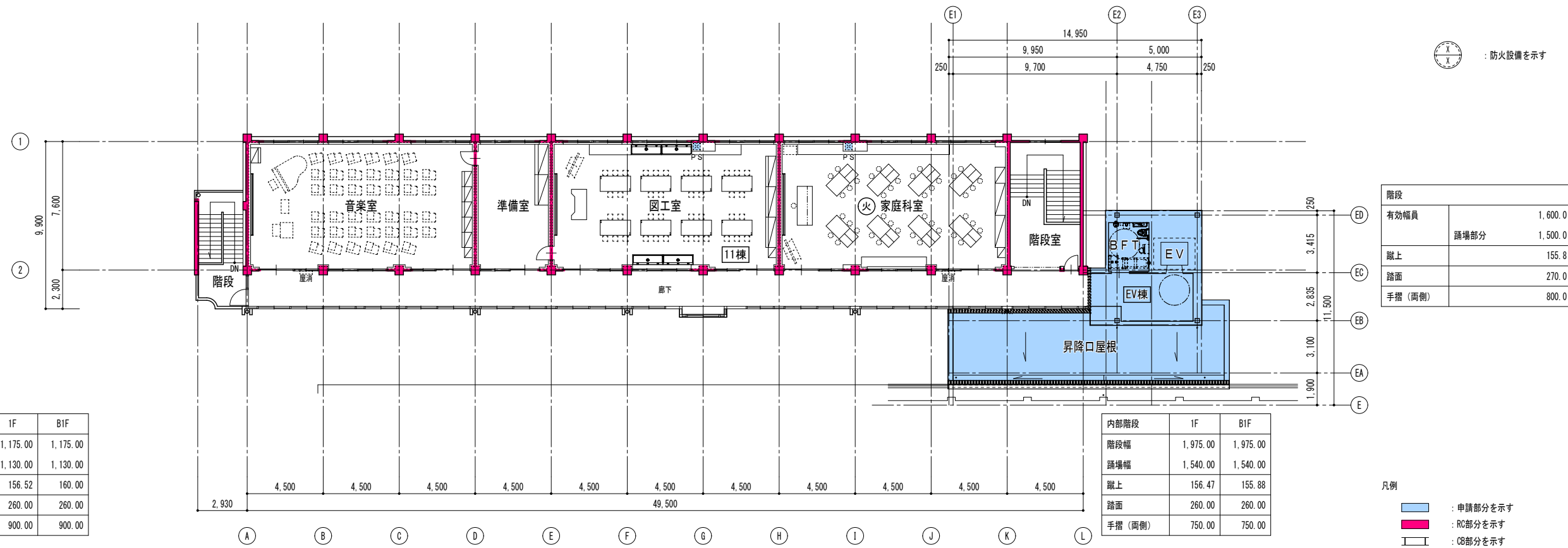


改修前



2階平面図 (改修前) S=1/200

改修後



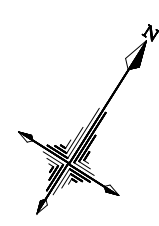
2階平面図 (改修後) S=1/200

屋外階段	1F	B1F
階段幅	1,175.00	1,175.00
踊場幅	1,130.00	1,130.00
蹴上	156.52	160.00
踏面	260.00	260.00
手摺 (両側)	900.00	900.00

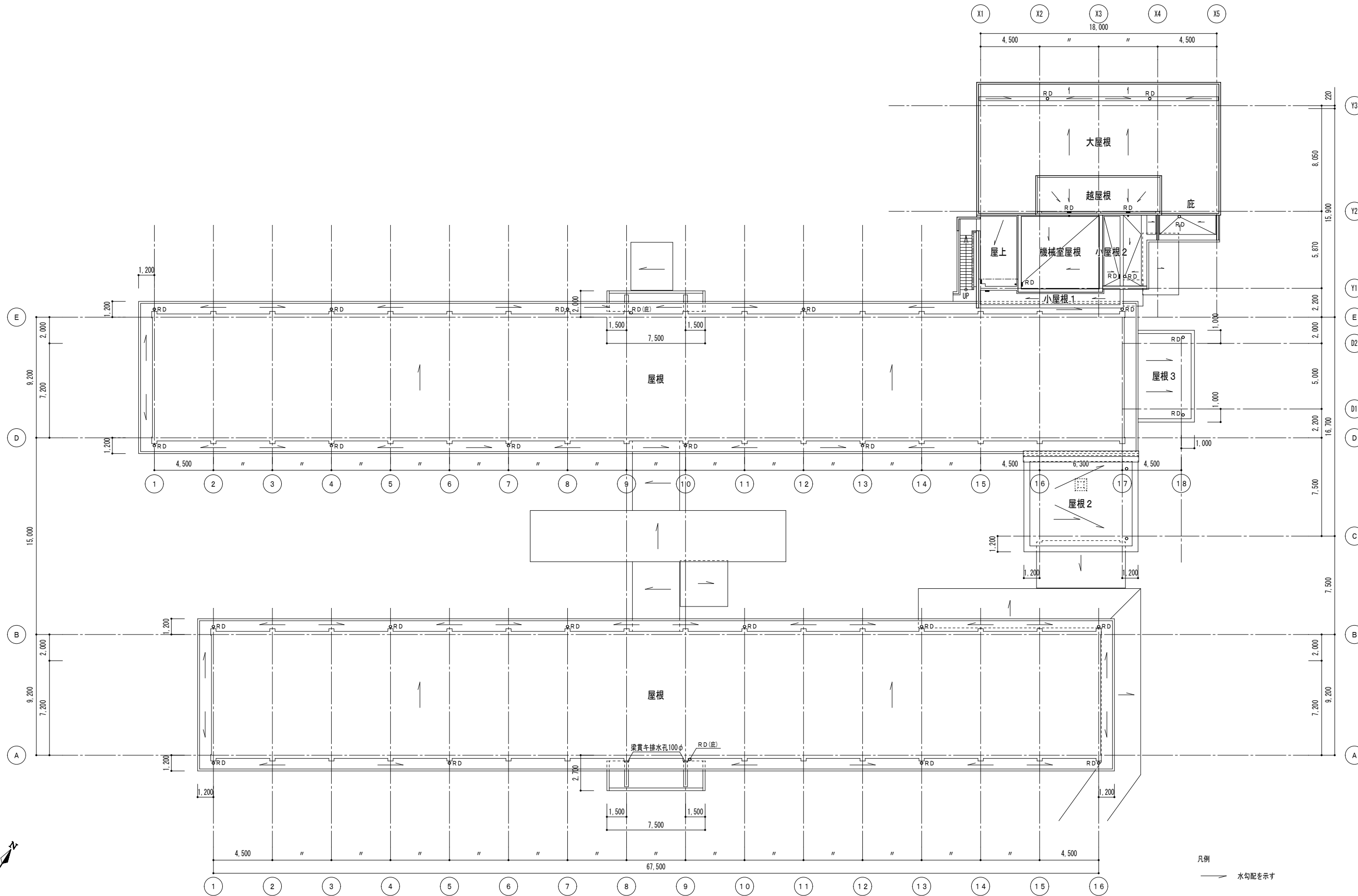
内部階段	1F	B1F
階段幅	1,975.00	1,975.00
踊場幅	1,540.00	1,540.00
蹴上	156.47	155.88
踏面	260.00	260.00
手摺 (両側)	750.00	750.00

階段	
有効幅員	1,600.0
踊場部分	1,500.0
蹴上	155.8
踏面	270.0
手摺 (両側)	800.0

- 凡例
- : 申請部分を示す
 - : RC部分を示す
 - : CB部分を示す
 - : 防火設備を示す
 - : 火気使用室を示す
 - : EXP. J位置を示す

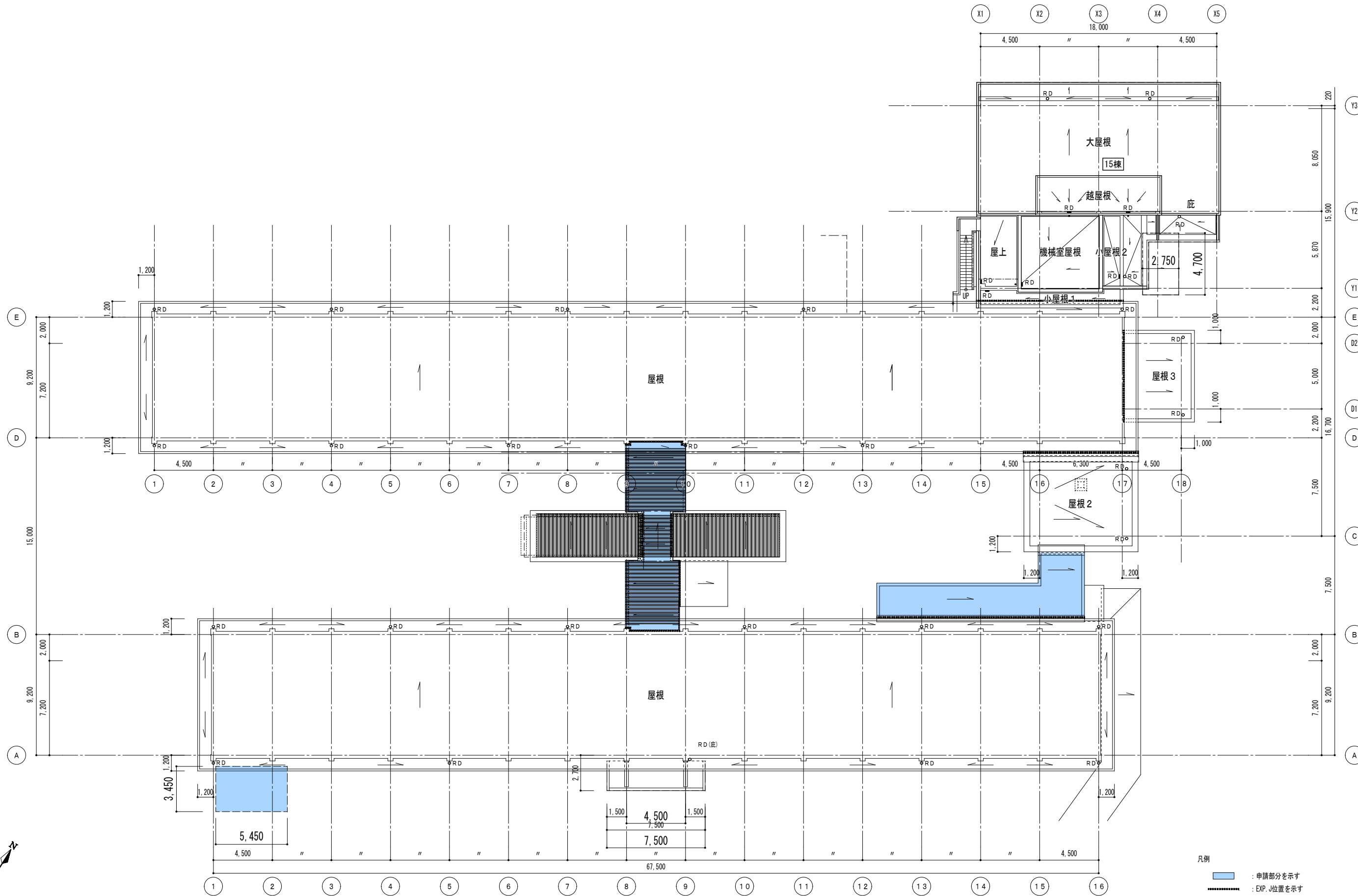


改修前



屋根伏図 (改修前) S=1/200

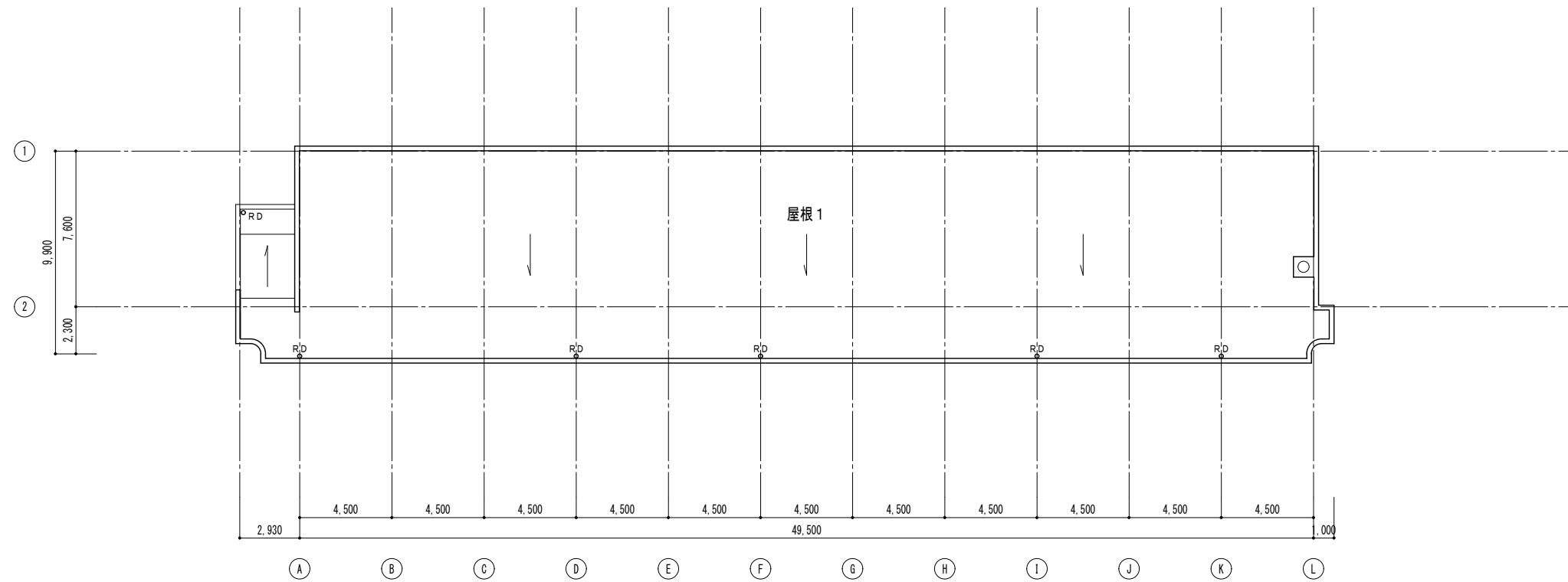
改修後



- 凡例
- : 申請部分を示す
 - : EXP. J位置を示す
 - : モルタルにて水勾配を確保すること

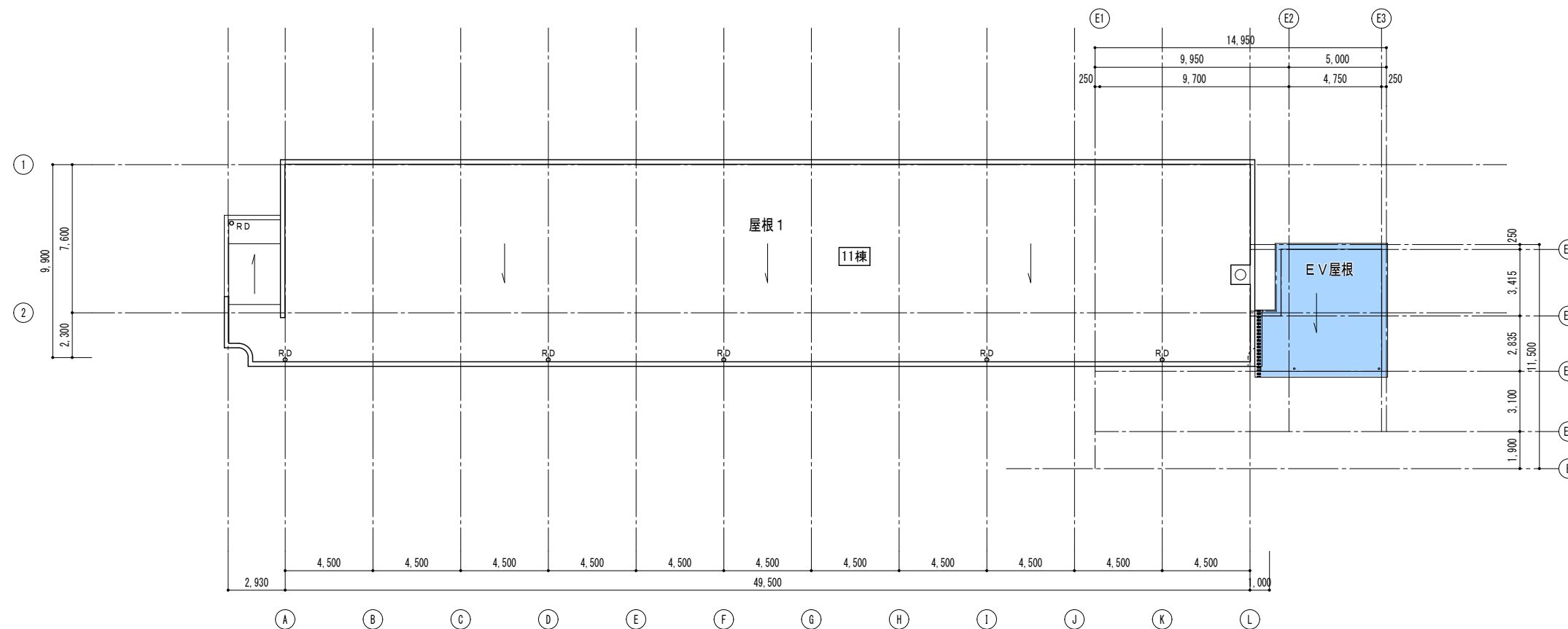
屋根伏図 (改修後) S=1/200

改修前



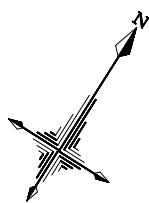
屋根伏図 (改修前) S=1/200

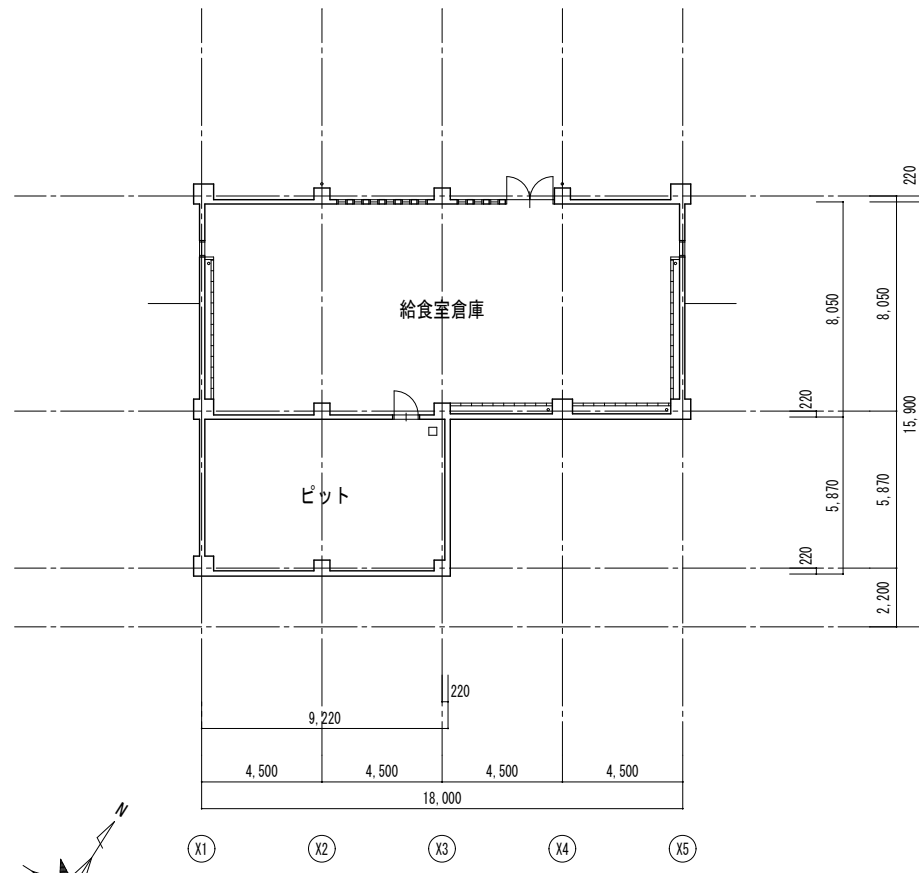
改修後



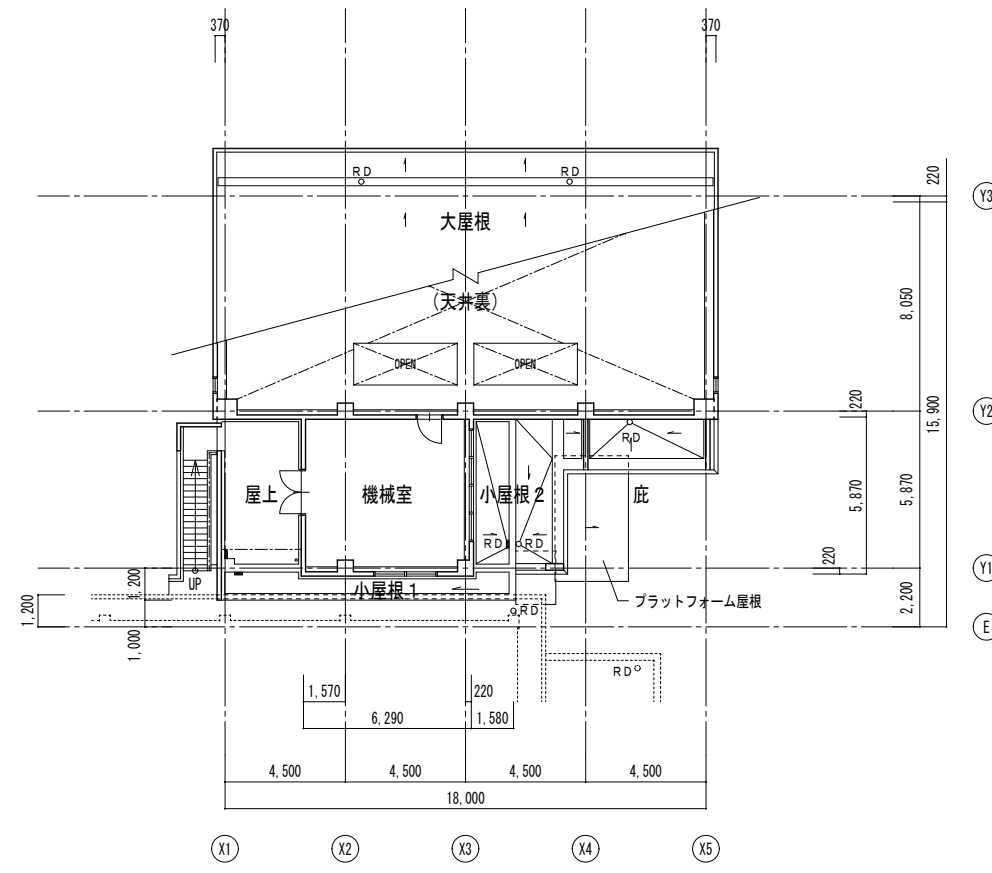
屋根伏図 (改修後) S=1/200

凡例
 : 申請部分を示す
 : EXP. J位置を示す

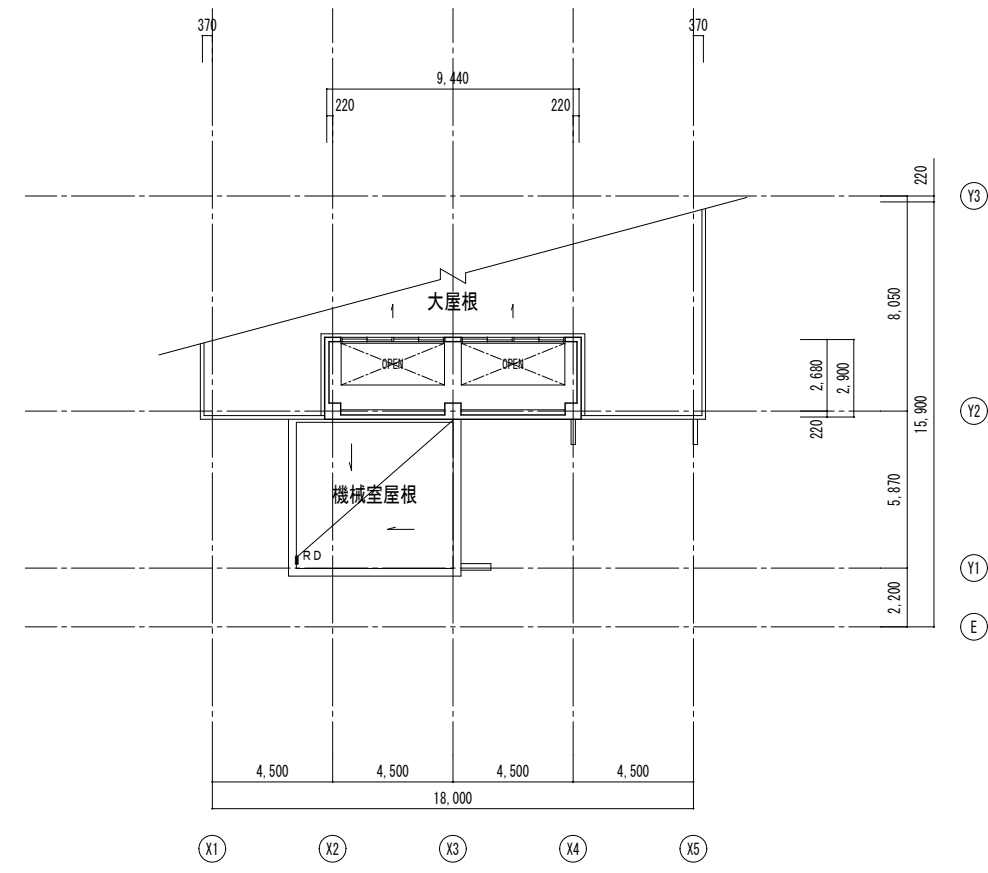




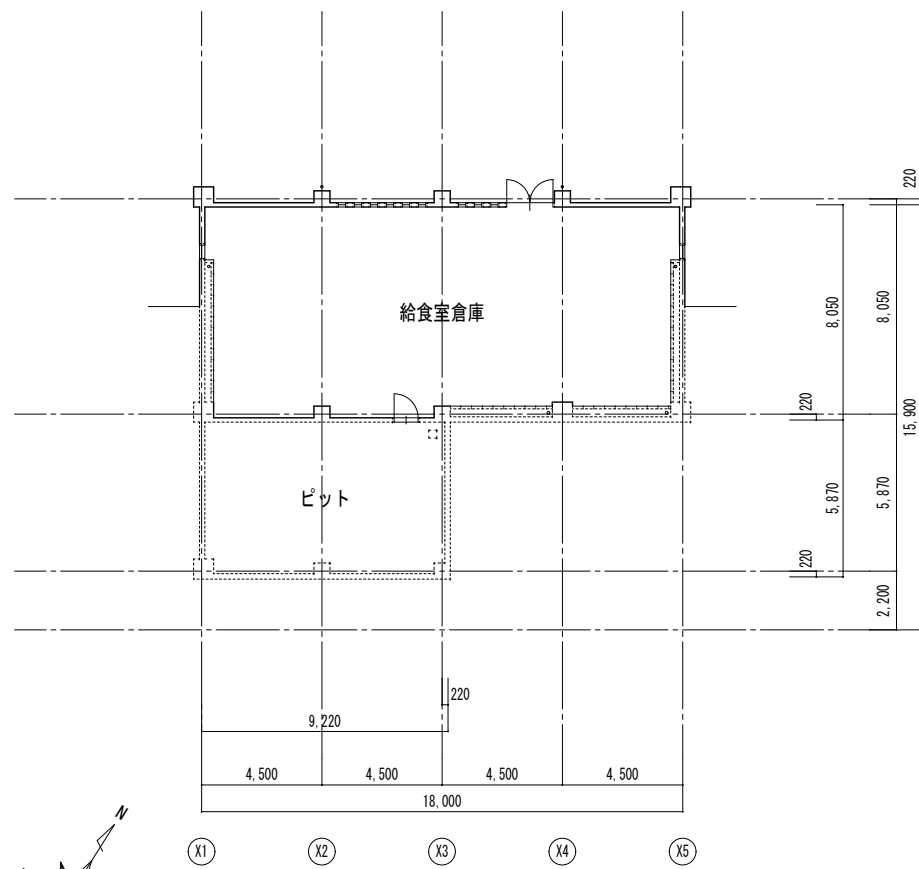
B 1階平面図 (改修前) S=1/200



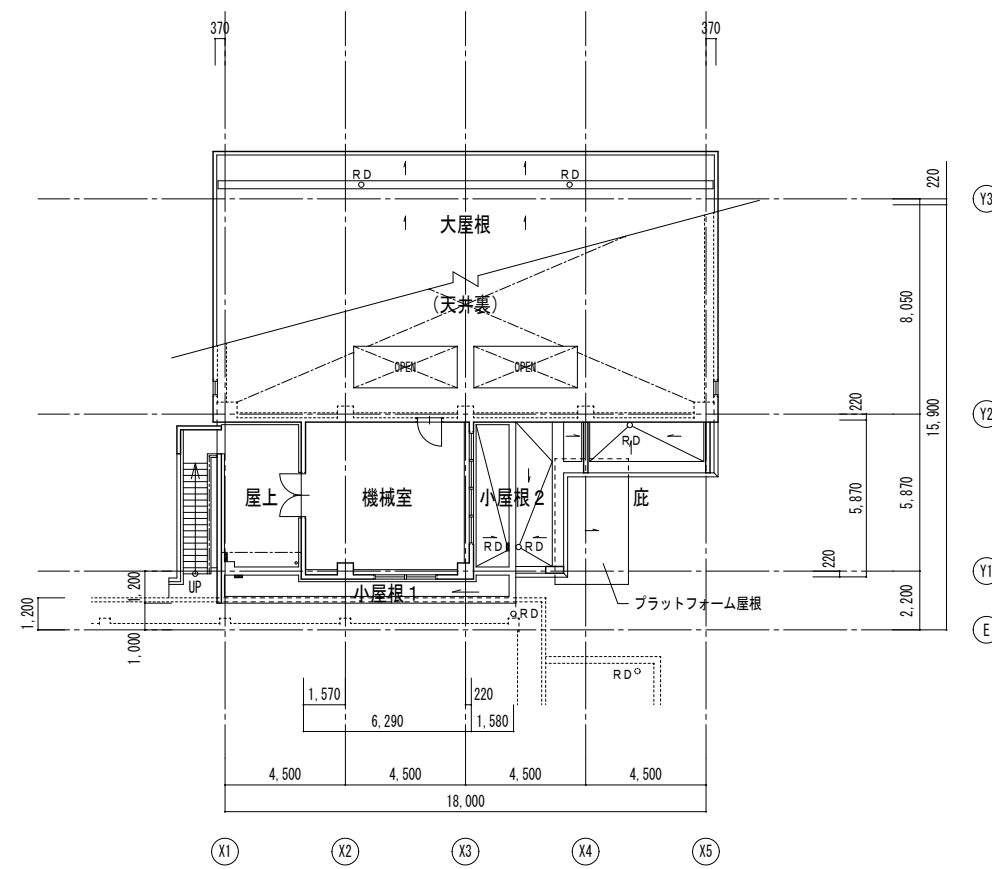
2階平面図 (改修前) S=1/200



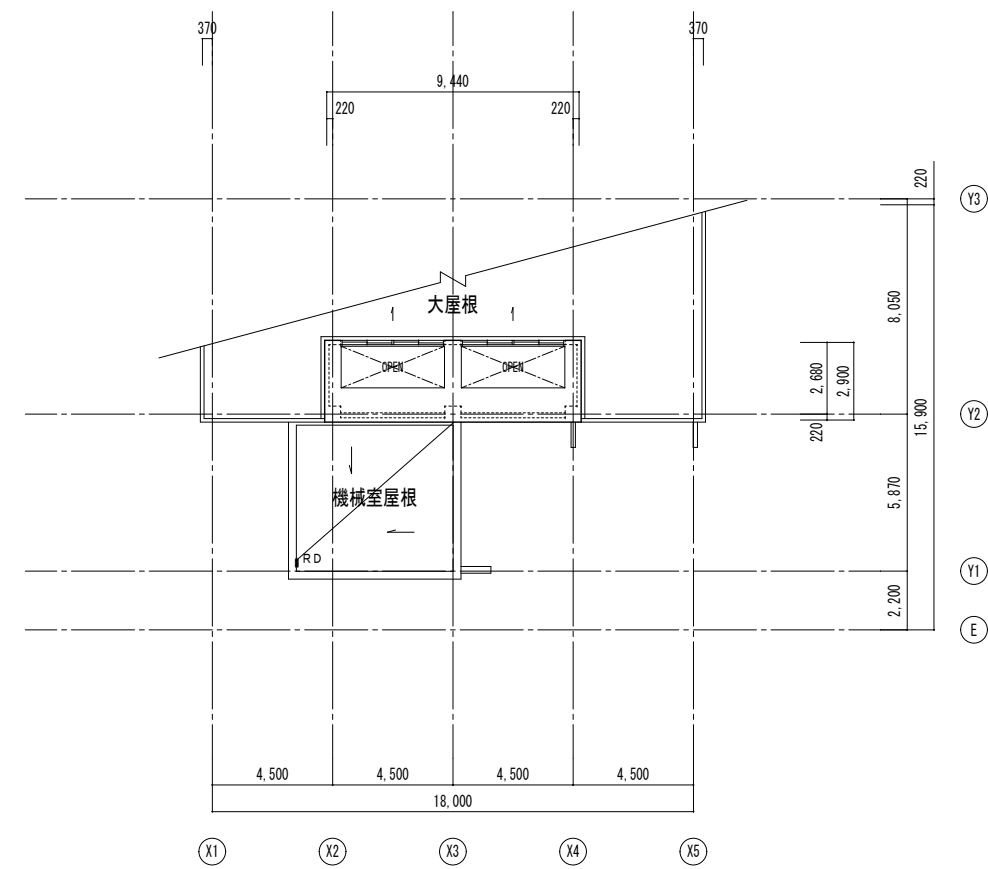
屋根伏図 (改修前) S=1/200



B 1階平面図 (改修後) S=1/200

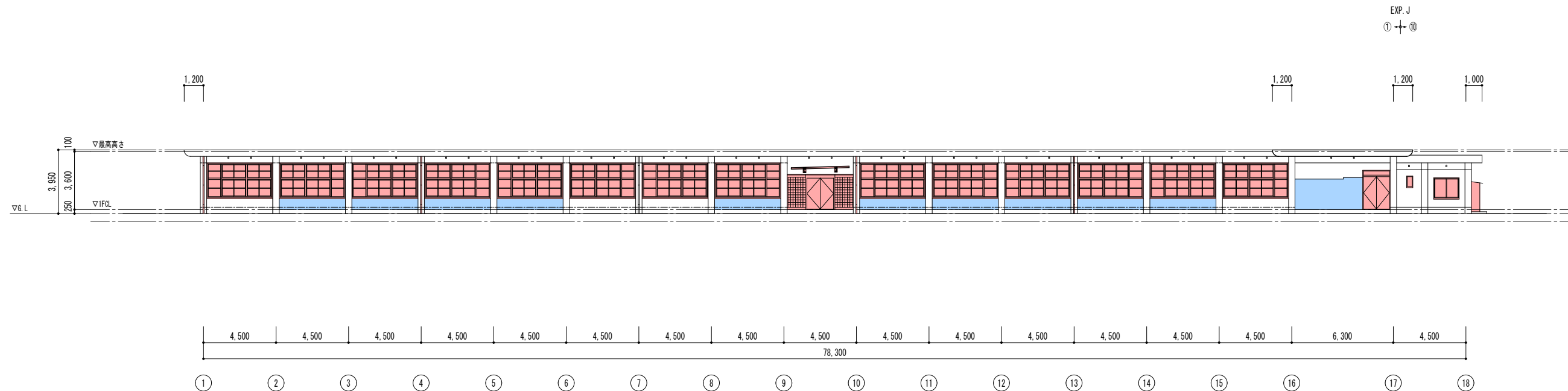


2階平面図 (改修後) S=1/200



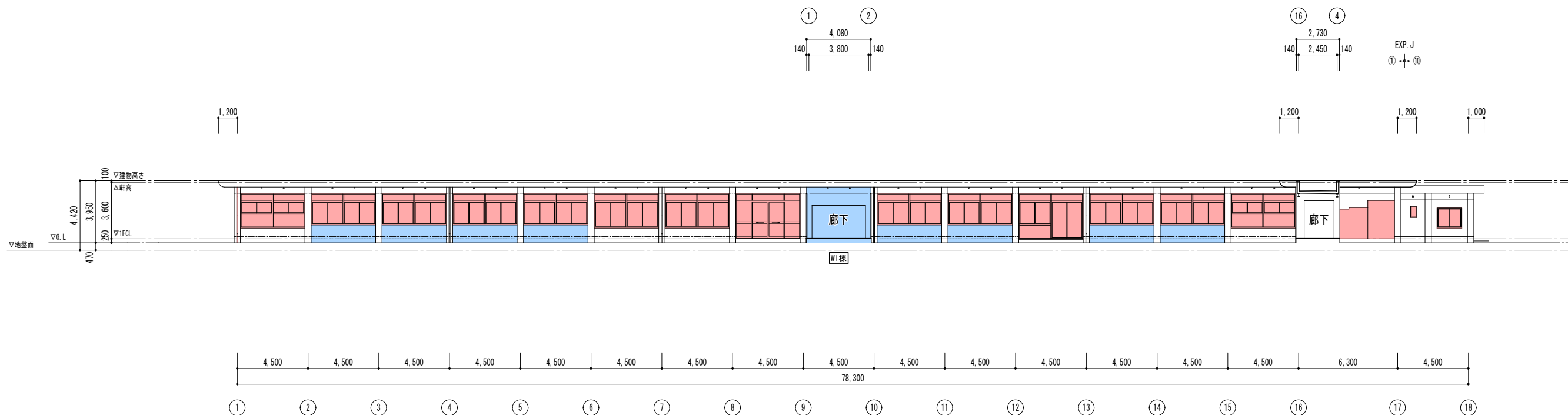
屋根伏図 (改修後) S=1/200

- 凡例 (改修前)
- [撤去] を示す
 - [下地共撤去] を示す
 - [躯体共撤去] を示す
 - : カッター切を示す



南側立面図 (改修前) S=1/200

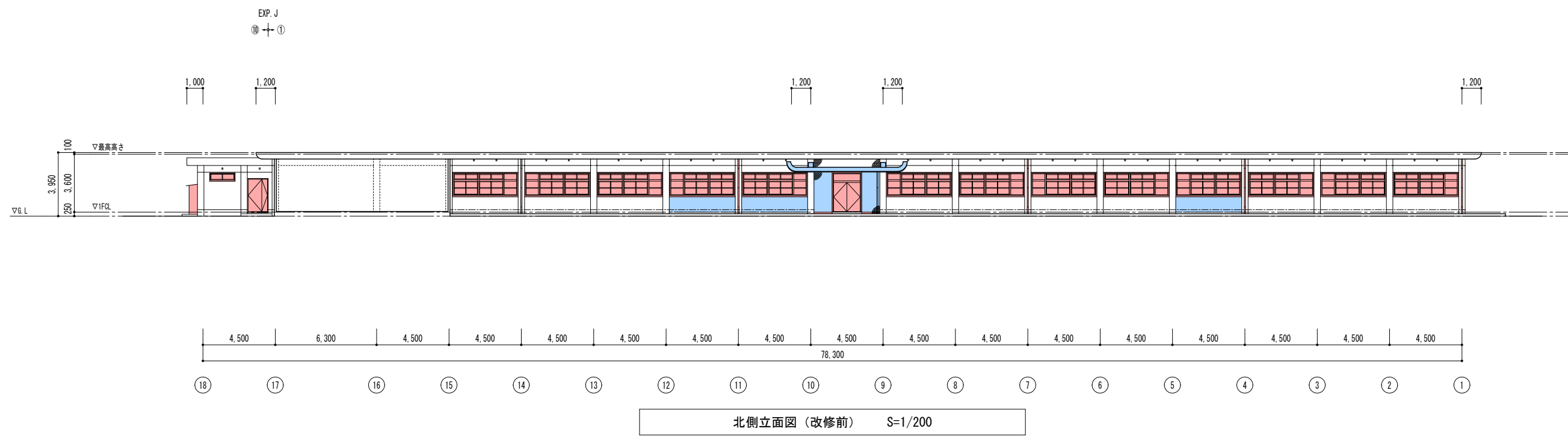
- 凡例 (改修後)
- [新設] を示す
 - [下地共新設] を示す
 - [躯体共新設] を示す



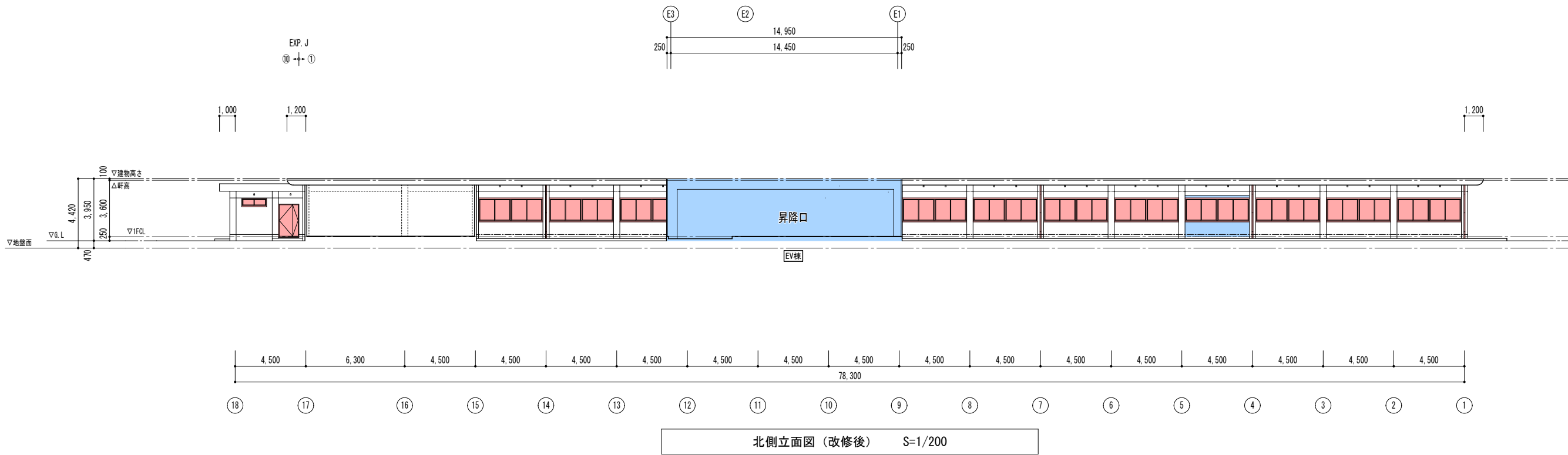
南側立面図 (改修後) S=1/200

凡例
申請部分を示す

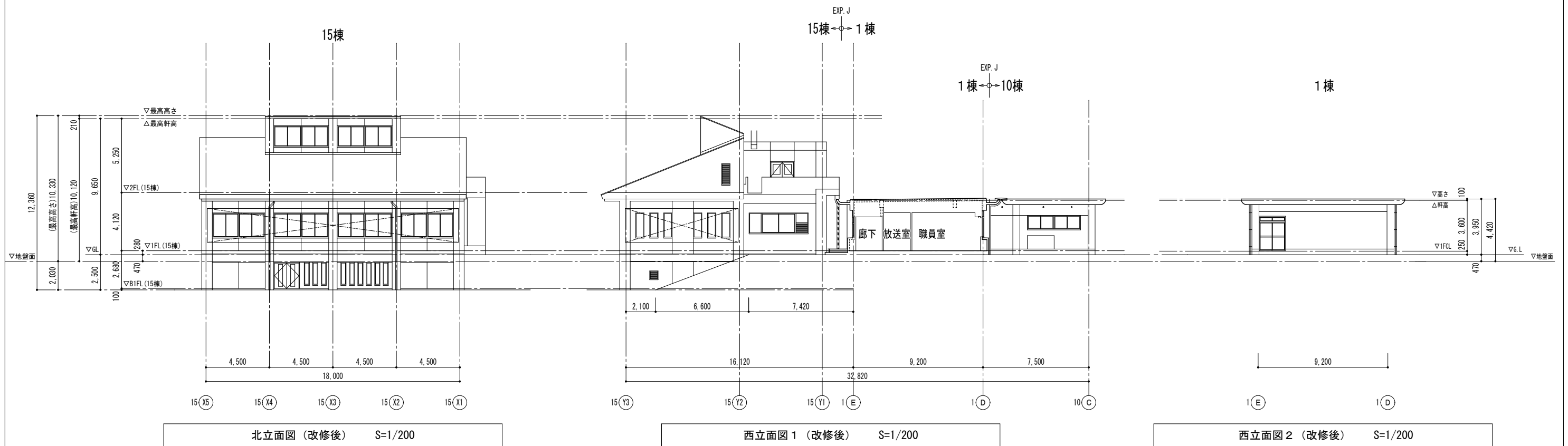
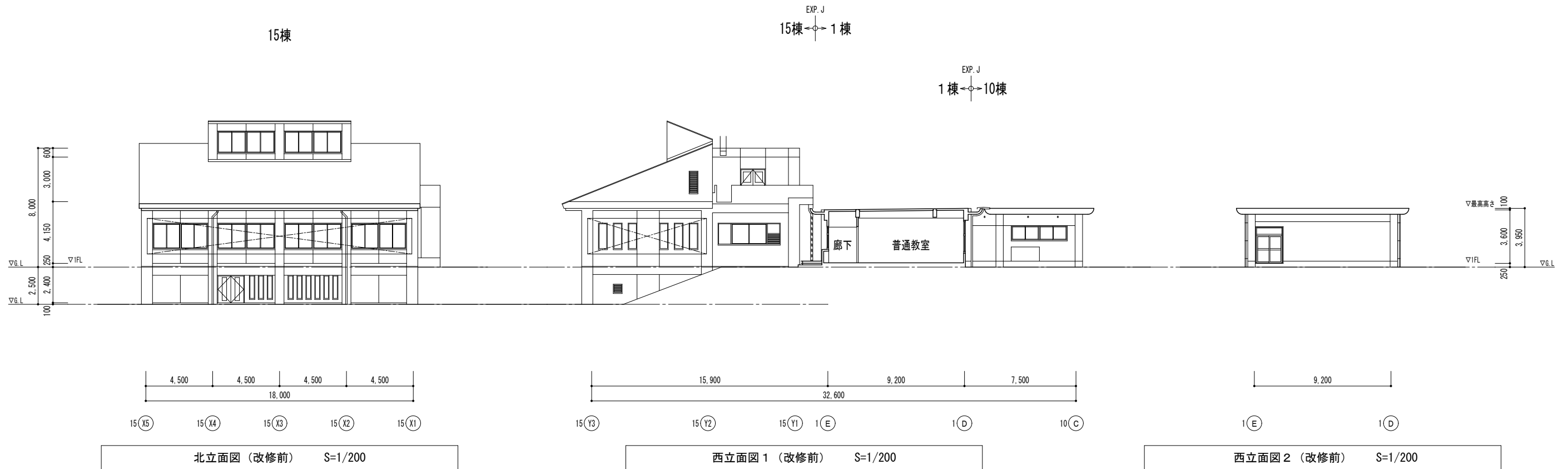
- 凡例 (改修前)
- : [撤去] を示す
 - : [下地共撤去] を示す
 - : [躯体共撤去] を示す
 - : カッター切を示す

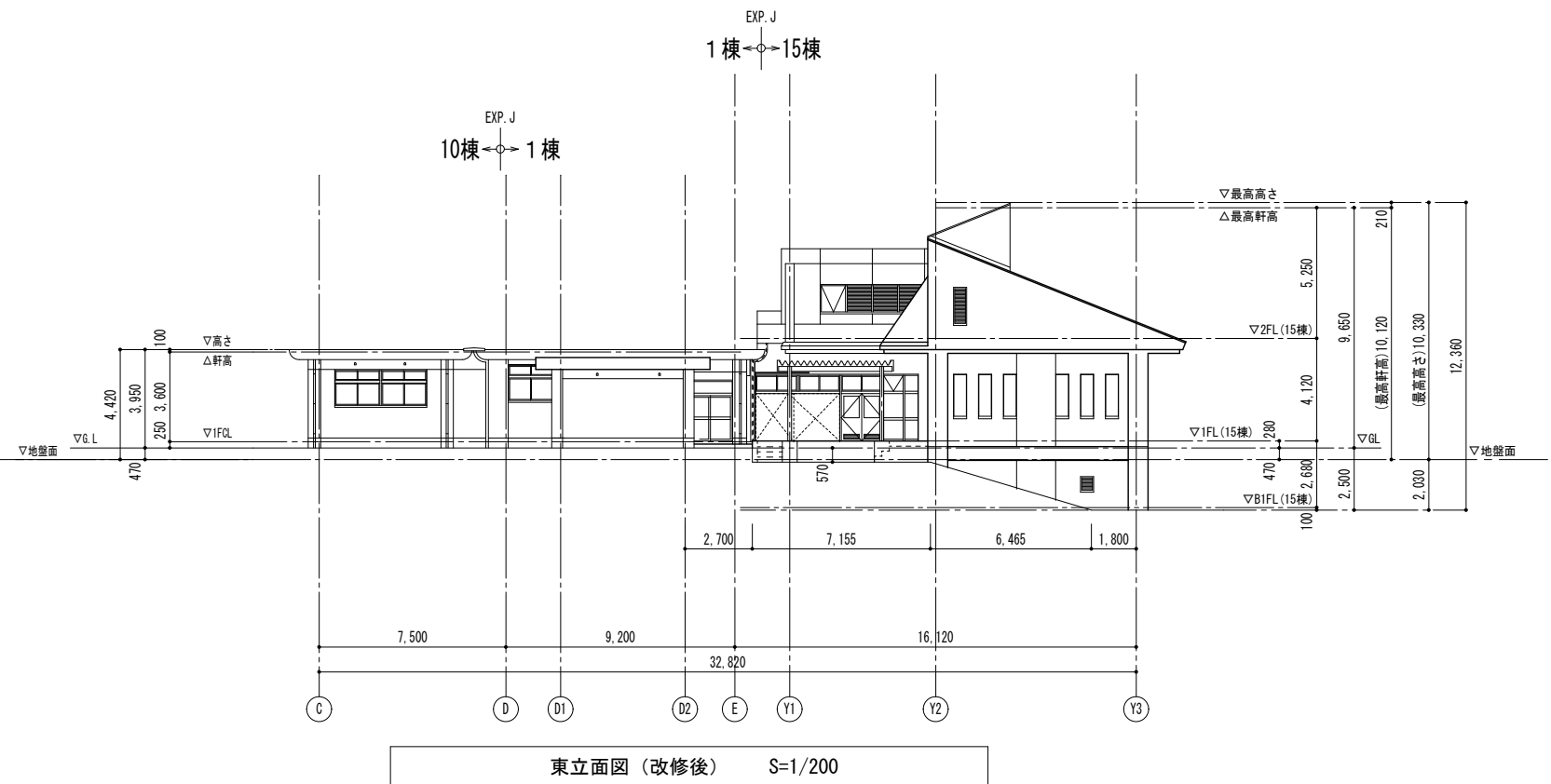
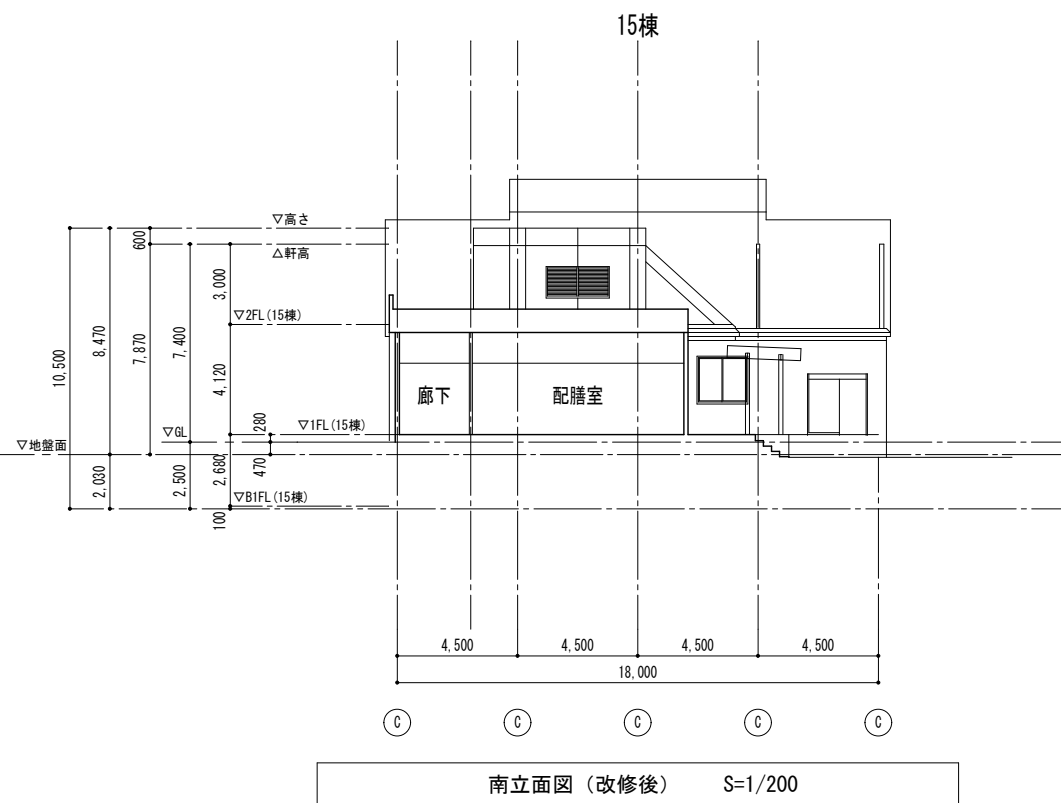
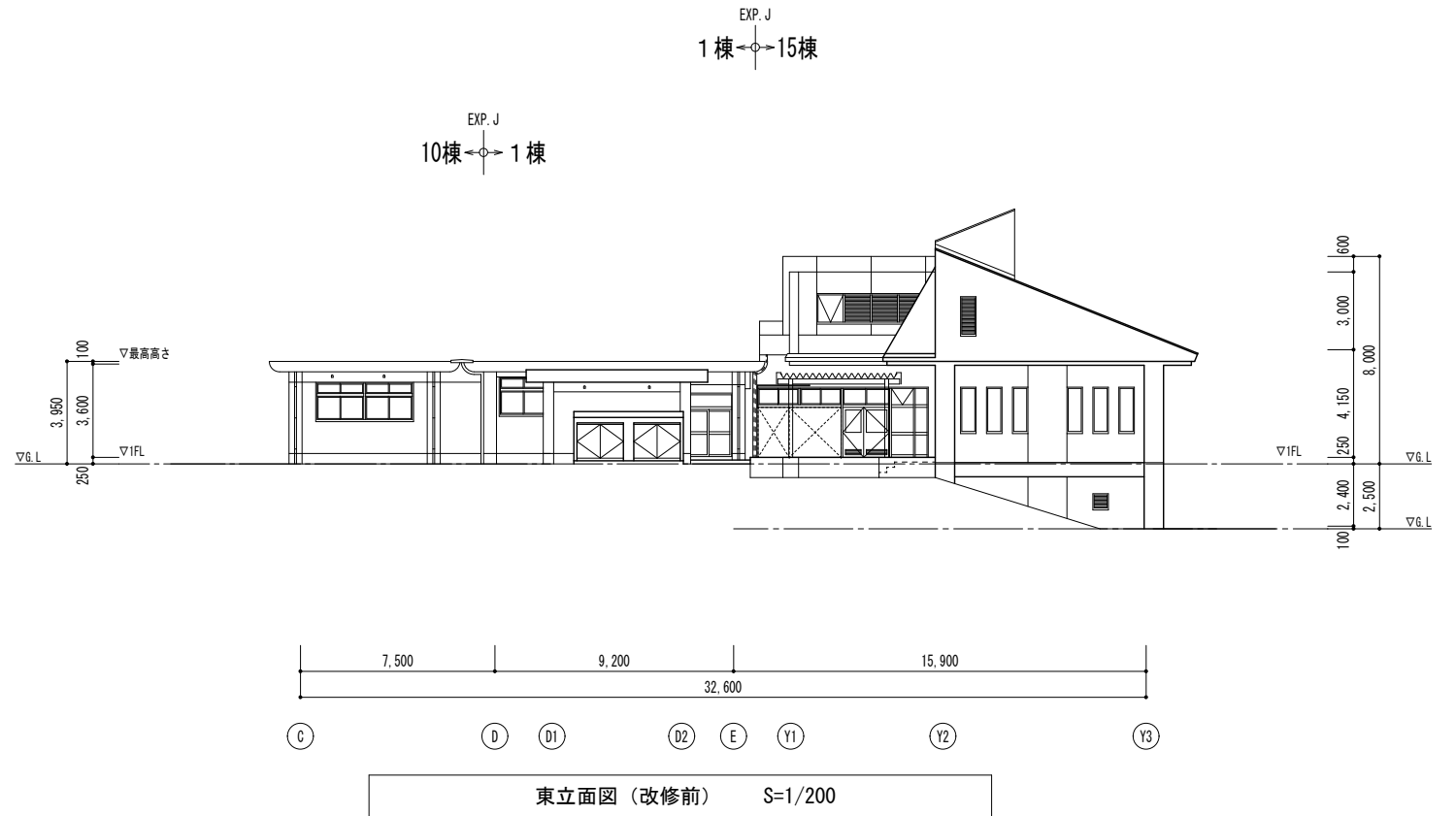
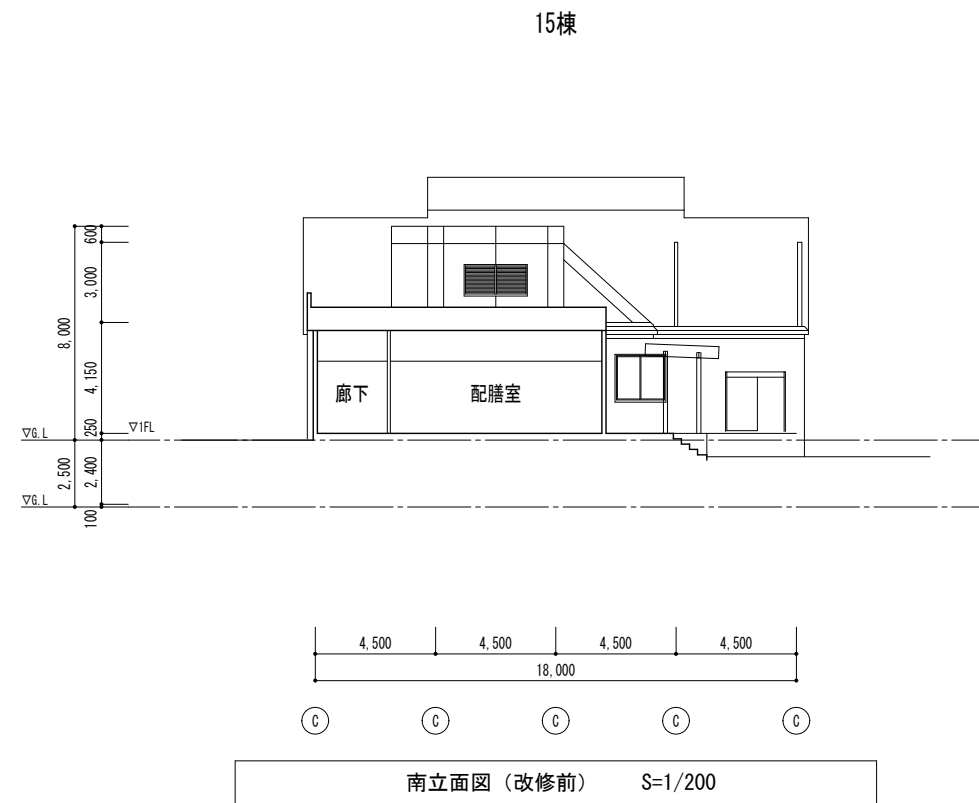


- 凡例 (改修後)
- : [新設] を示す
 - : [下地共新設] を示す
 - : [躯体共新設] を示す

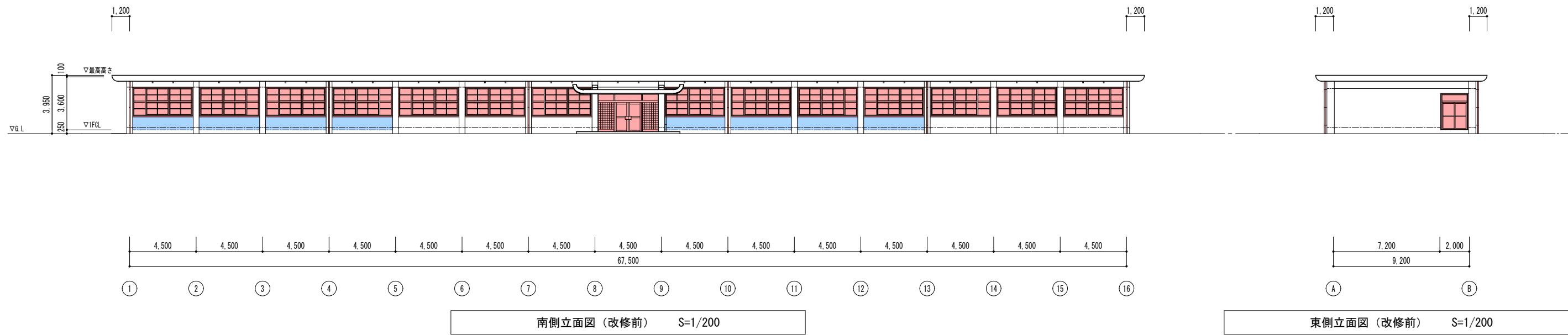


凡例
 : 申請部分を示す

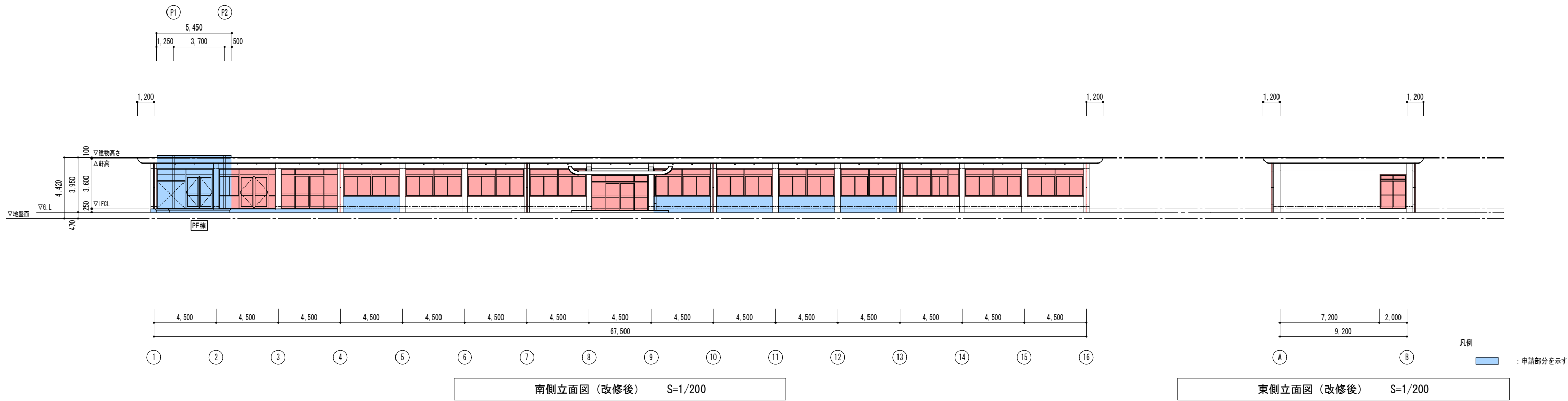




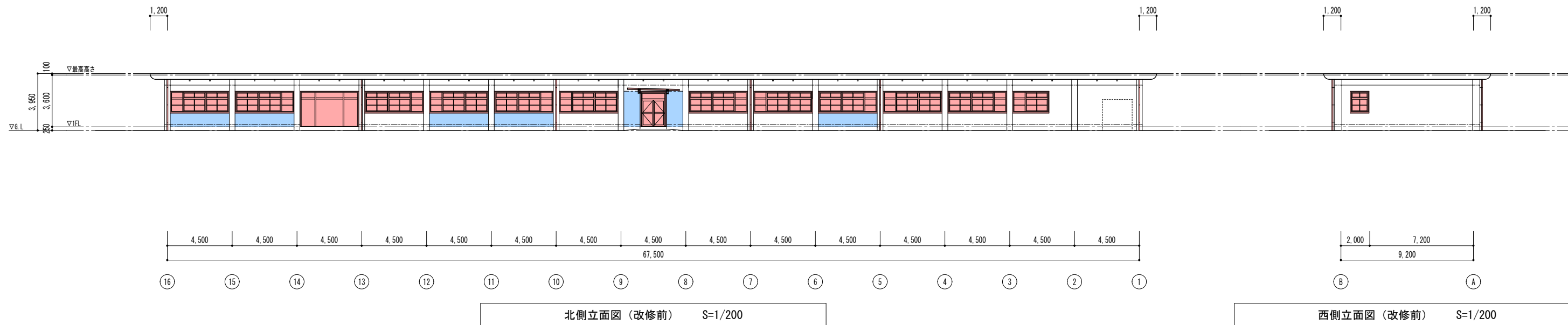
- 凡例 (改修前)
- [撤去] を示す
 - [下地共撤去] を示す
 - [躯体共撤去] を示す
 - カッター切を示す



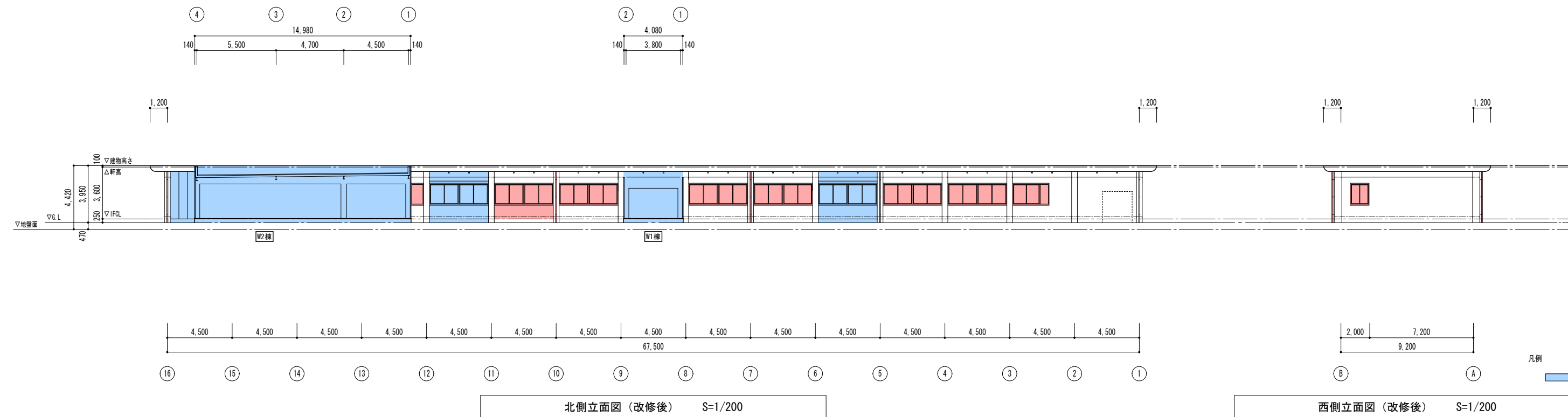
- 凡例 (改修後)
- [新設] を示す
 - [下地共新設] を示す
 - [躯体共新設] を示す

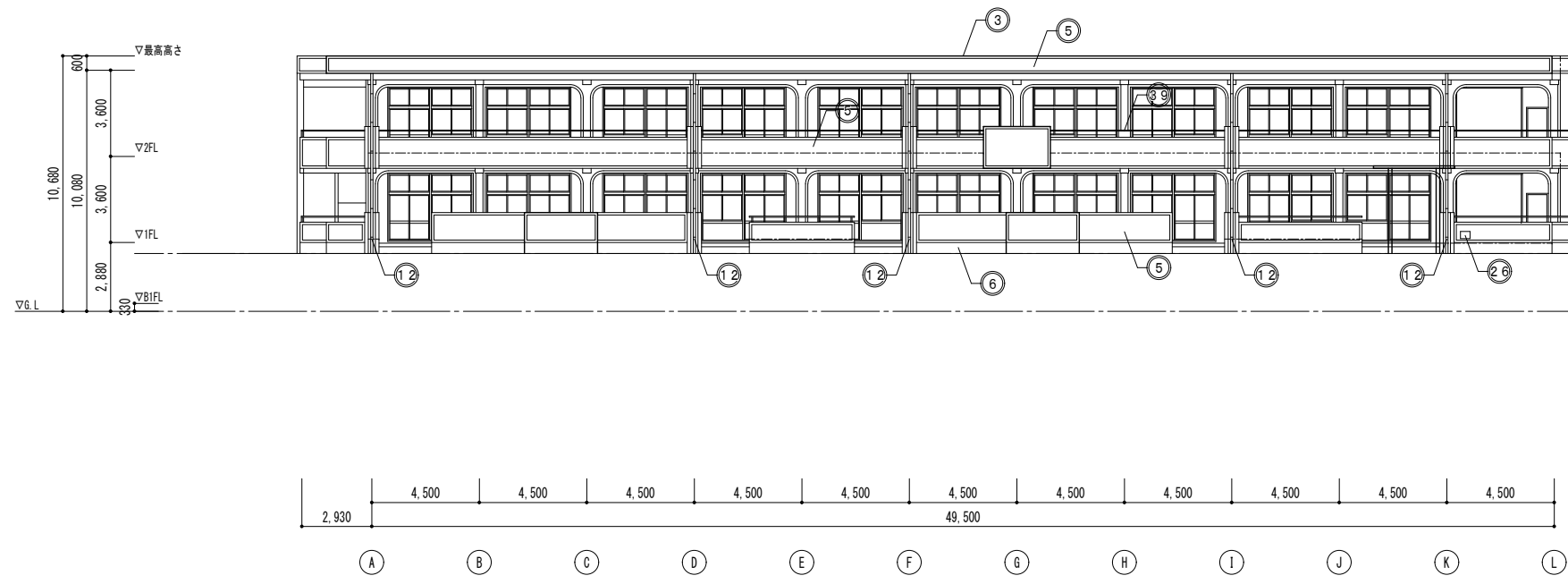


- 凡例 (改修前)
- : [撤去] を示す
 - : [下地共撤去] を示す
 - : [躯体共撤去] を示す
 - : カッター切を示す

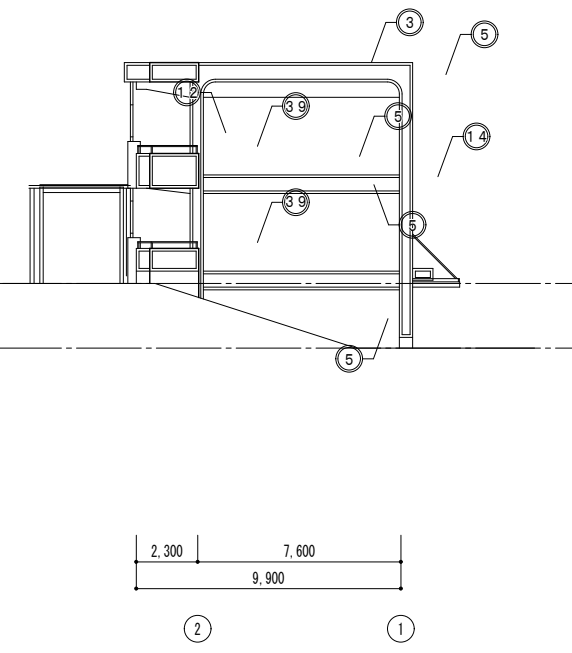


- 凡例 (改修後)
- : [新設] を示す
 - : [下地共新設] を示す
 - : [躯体共新設] を示す

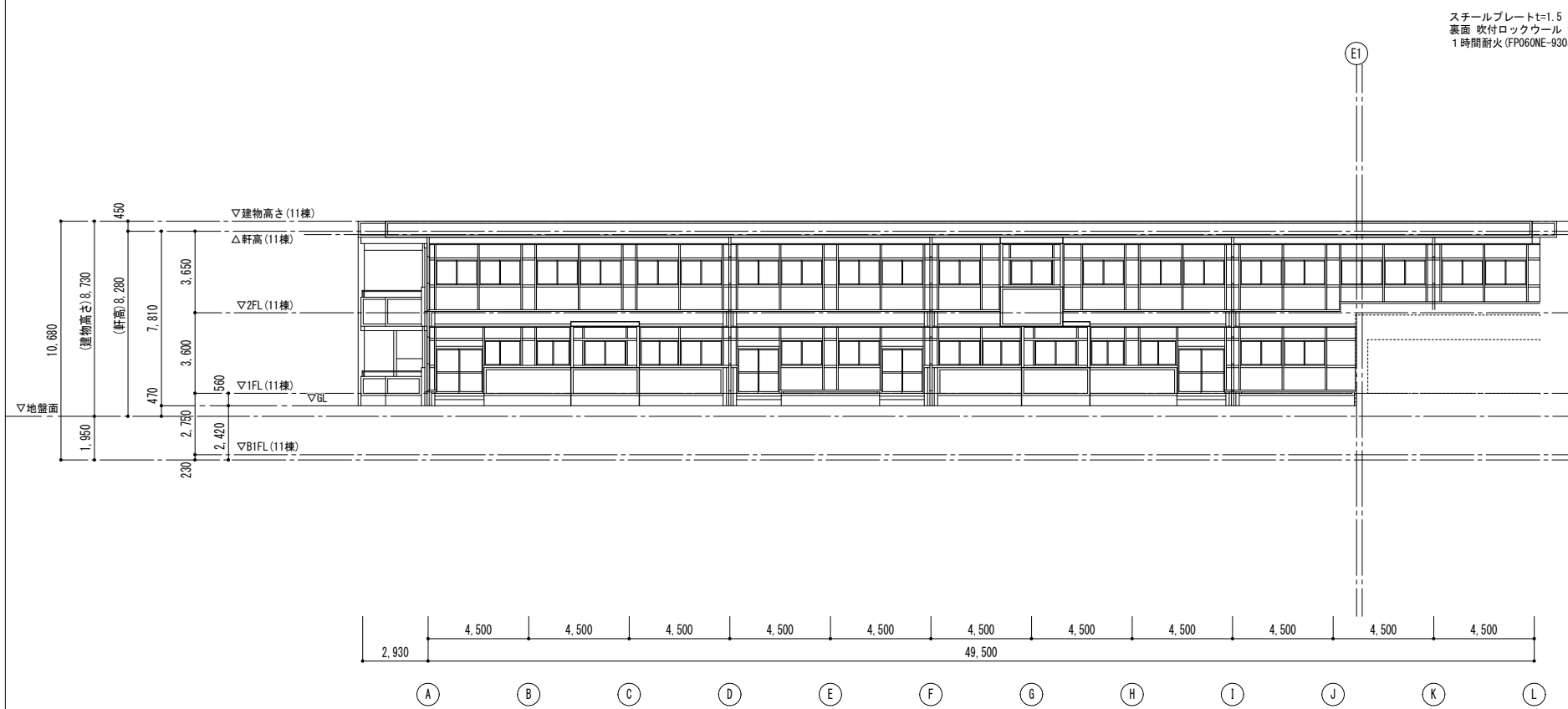




南側立面図 (改修前) S=1/200

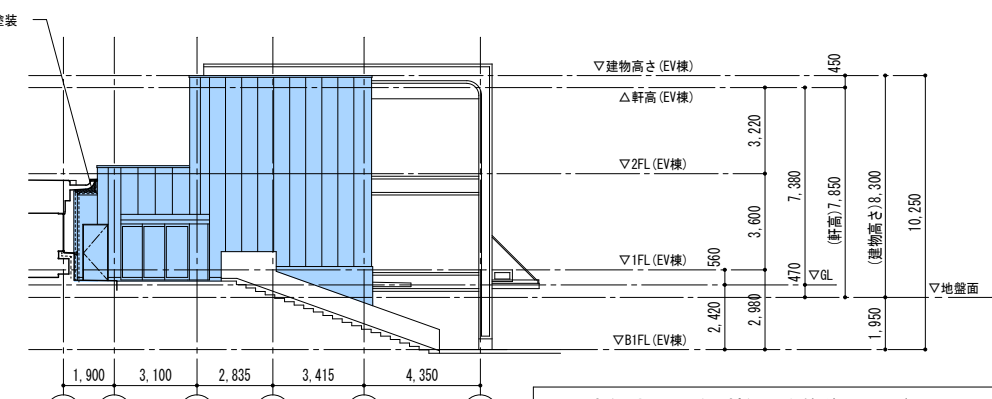


東側立面図 (改修前) S=1/200

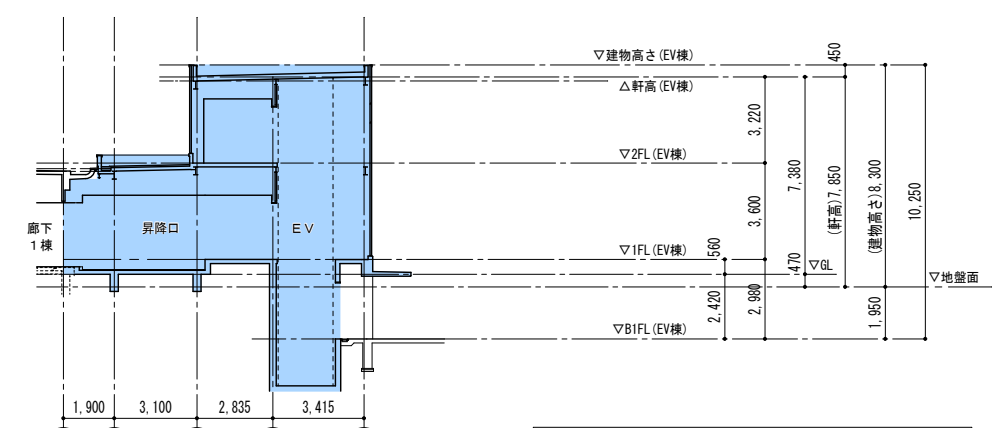


南側立面図 (11棟) (改修後) S=1/200

スチールプレート t=1.5 曲加工 DP塗装
表面 吹付ロックウール t=30
1時間耐火 (FP060NE-9305)

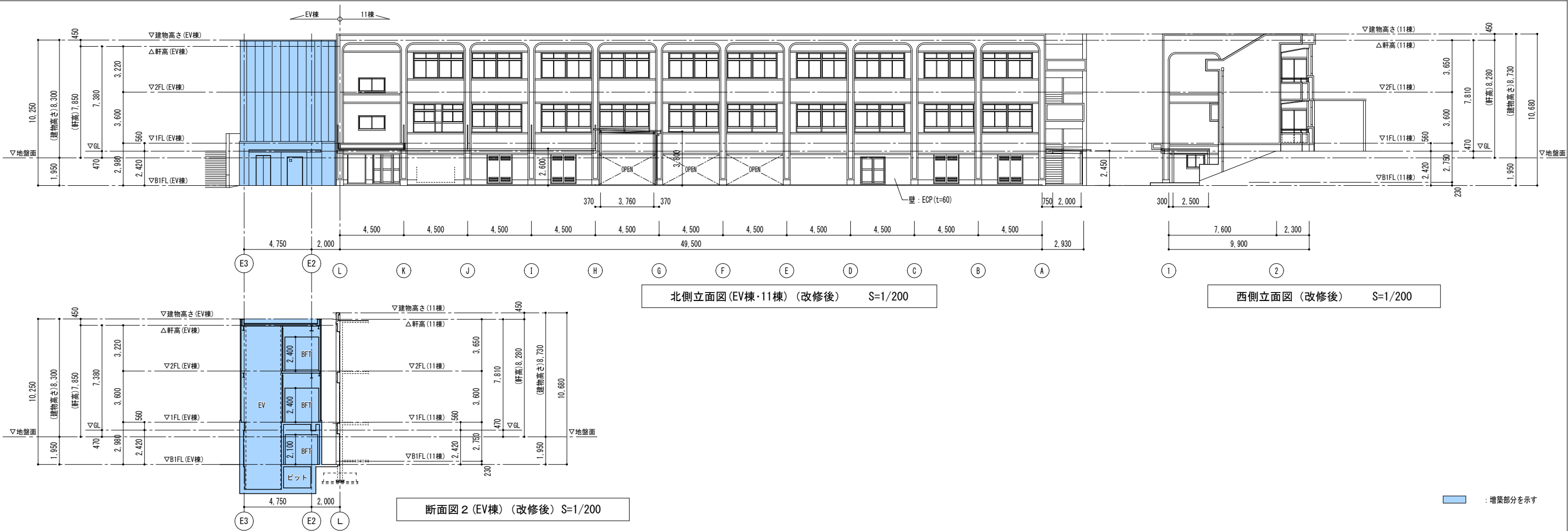
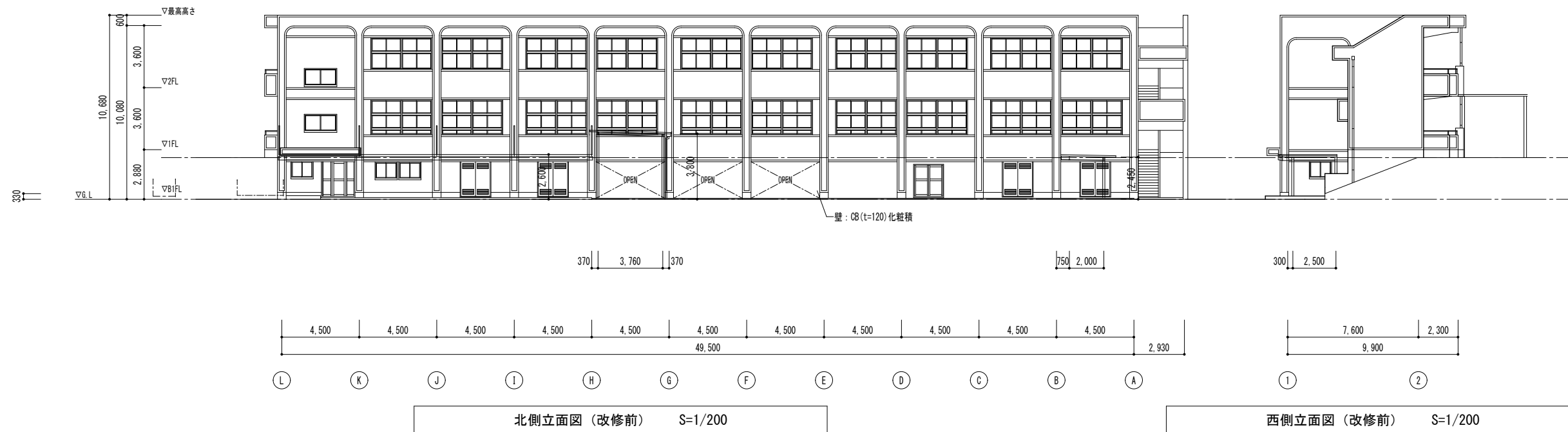


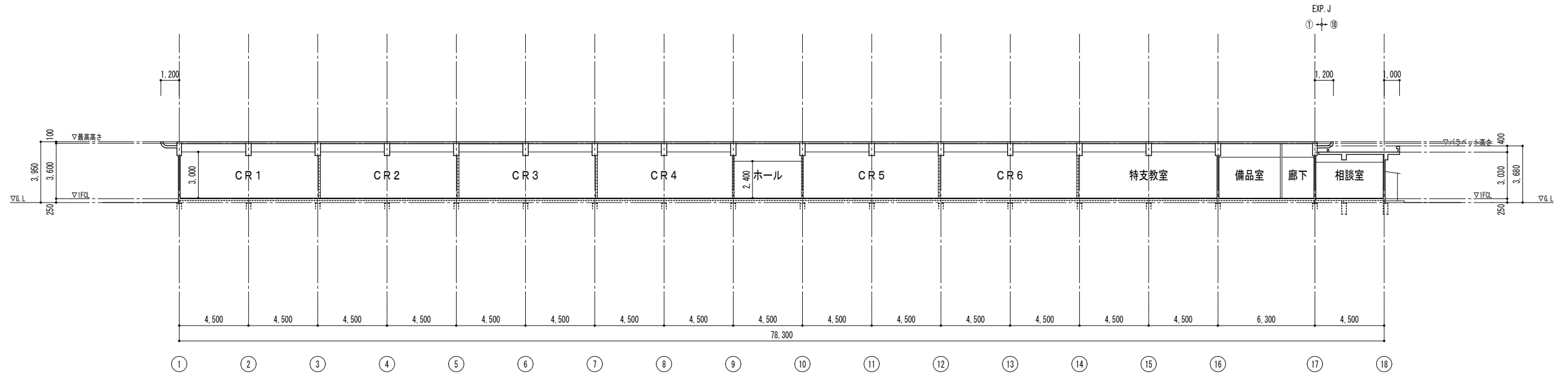
東側立面図 (EV棟) (改修後) S=1/200



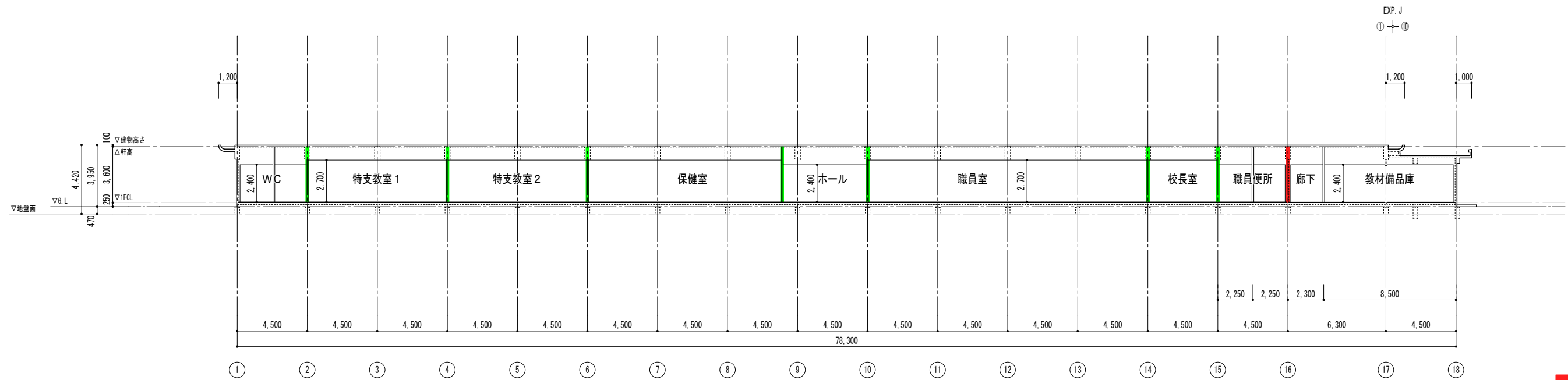
断面図 1 (EV棟) (改修後) S=1/200

増築部分を示す



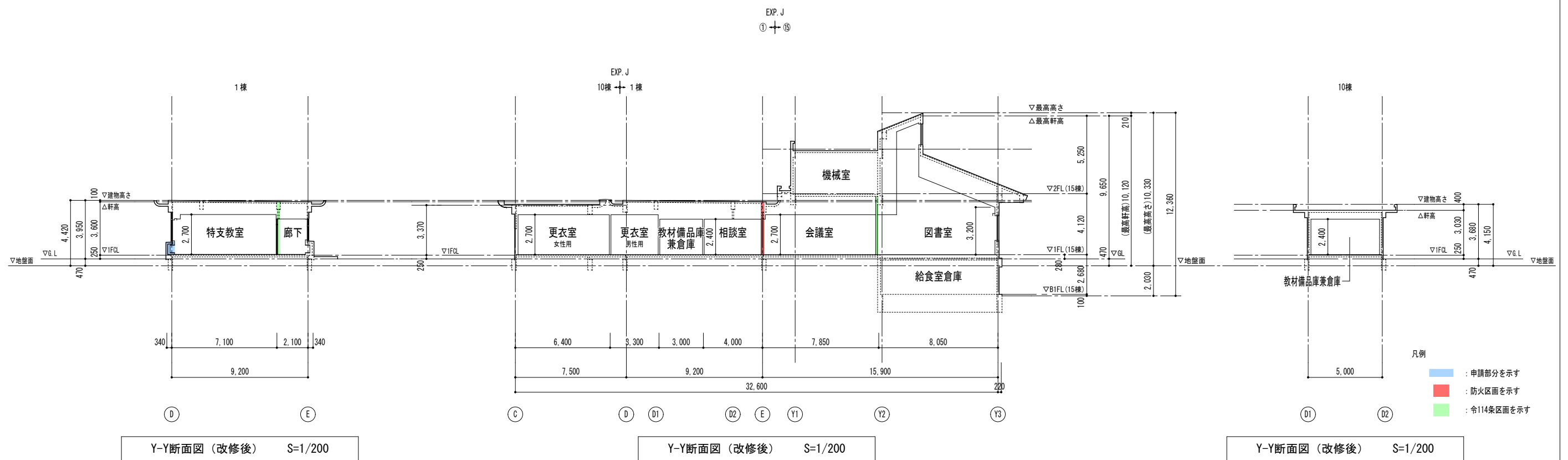
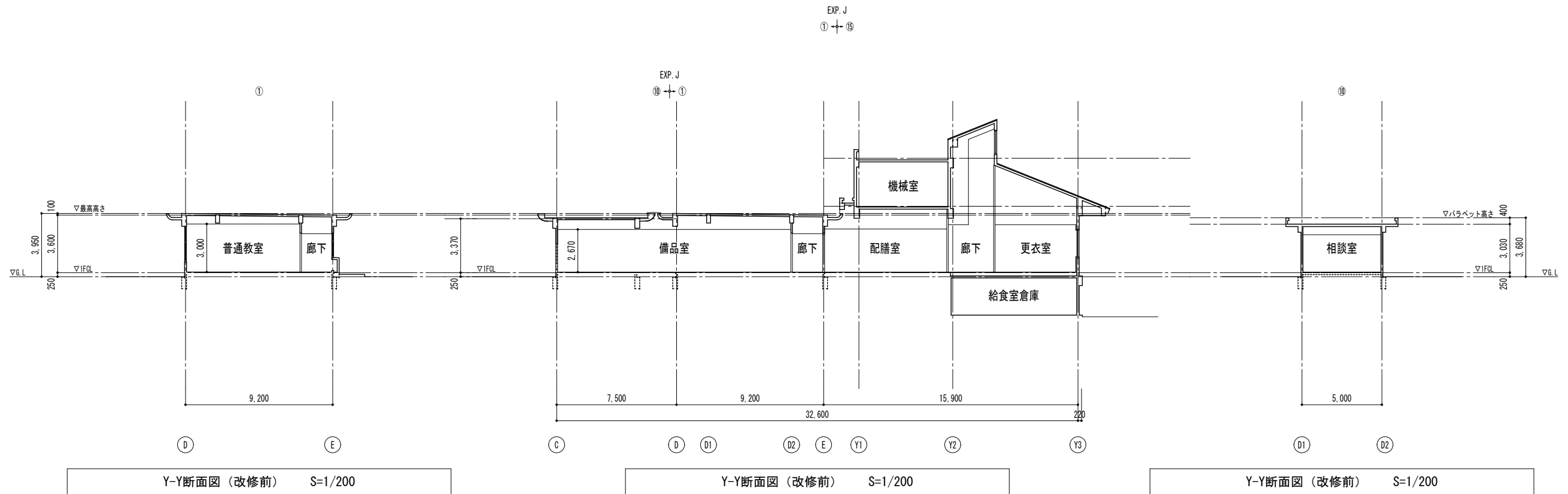


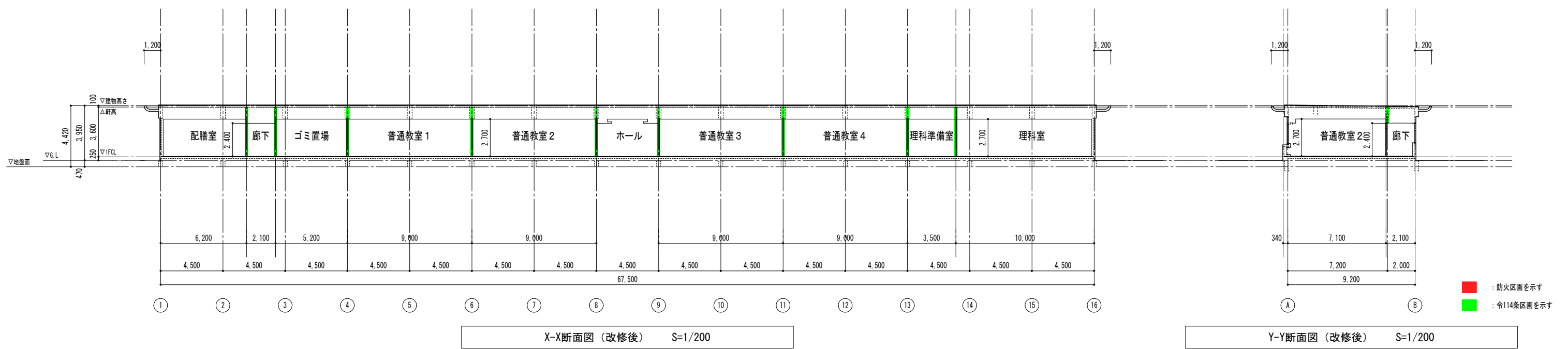
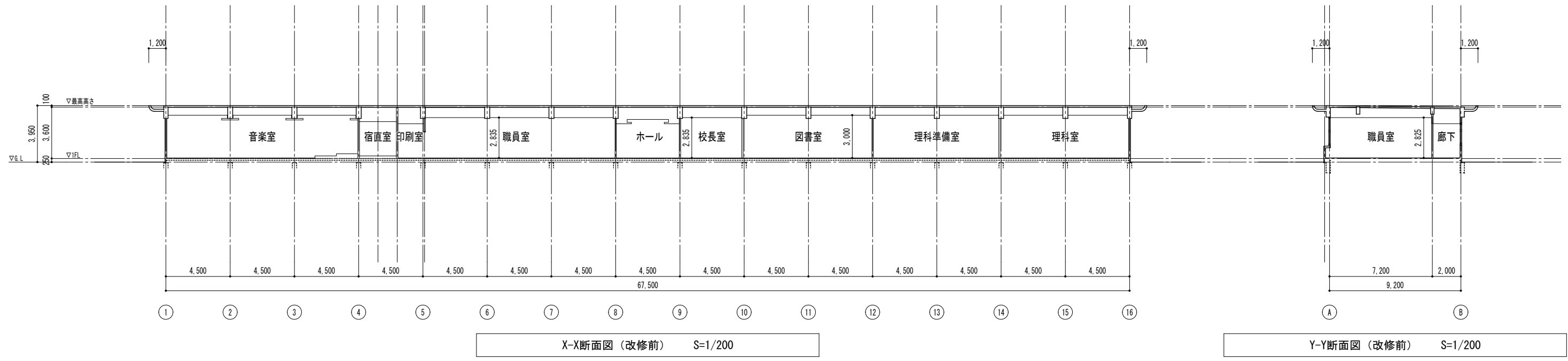
X-X断面図 (改修前) S=1/200

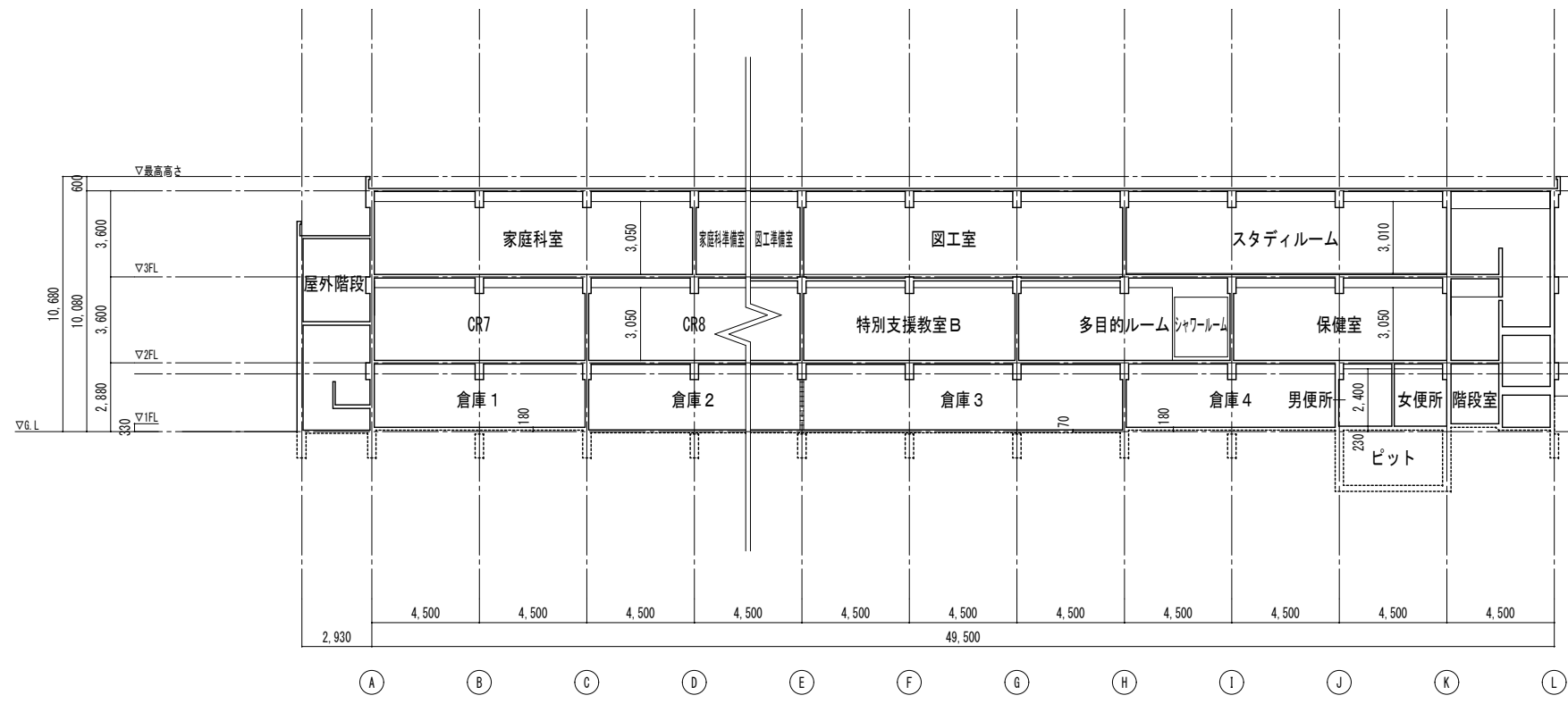


X-X断面図 (改修後) S=1/200

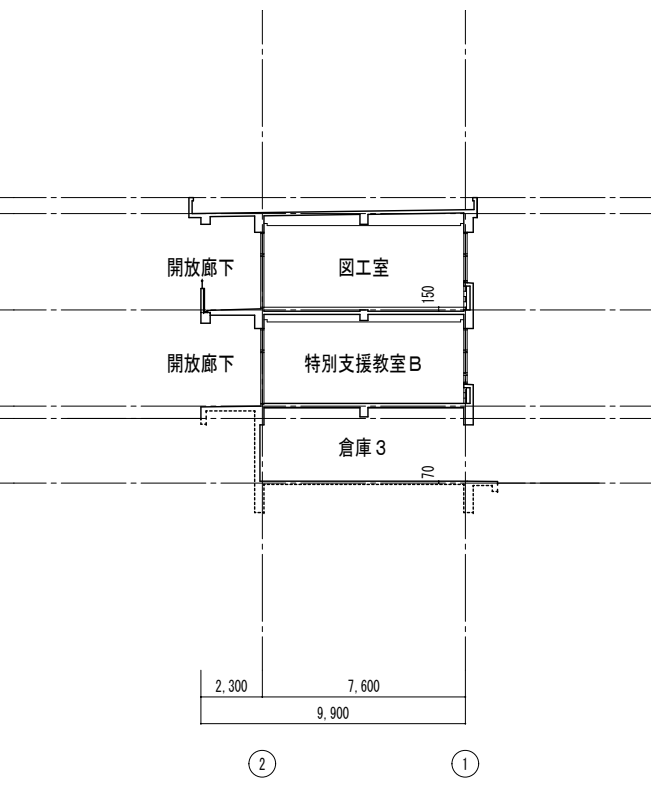
■ : 防火区画を示す
■ : 令114条区画を示す



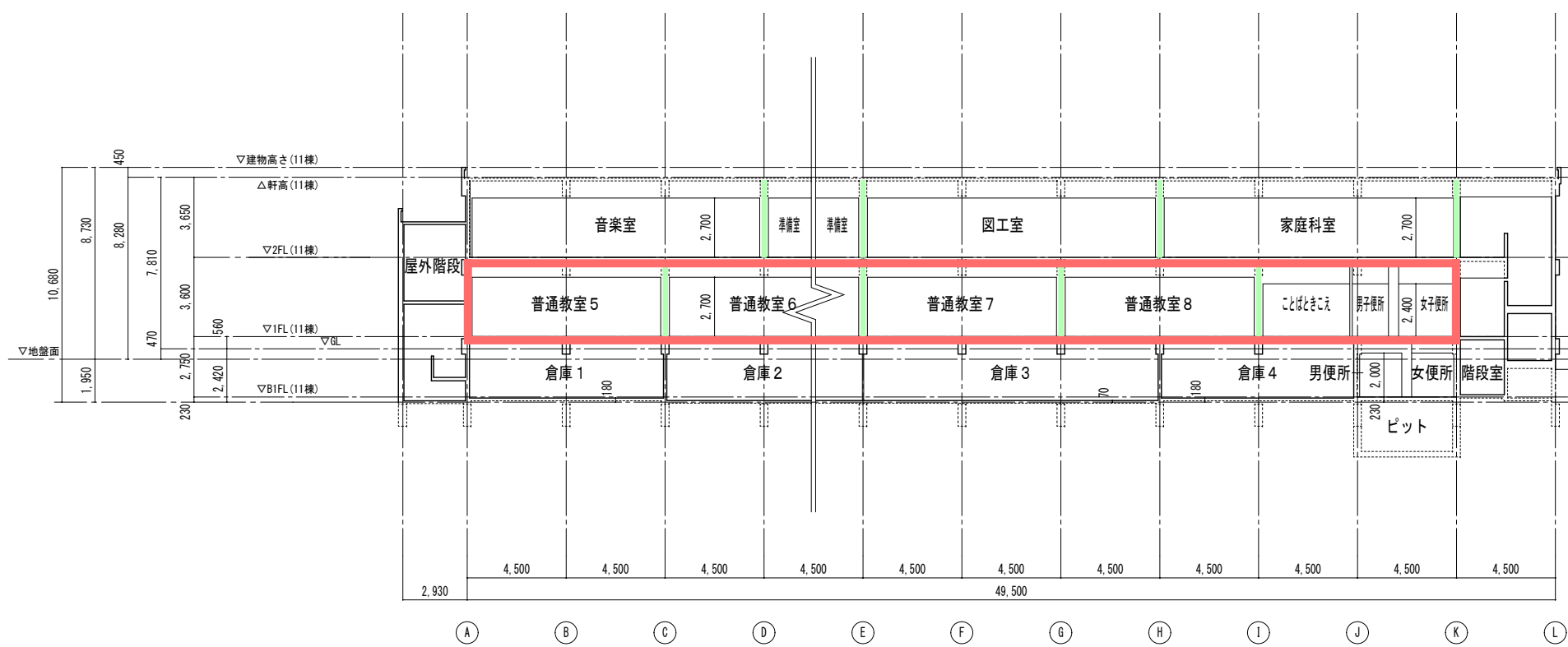




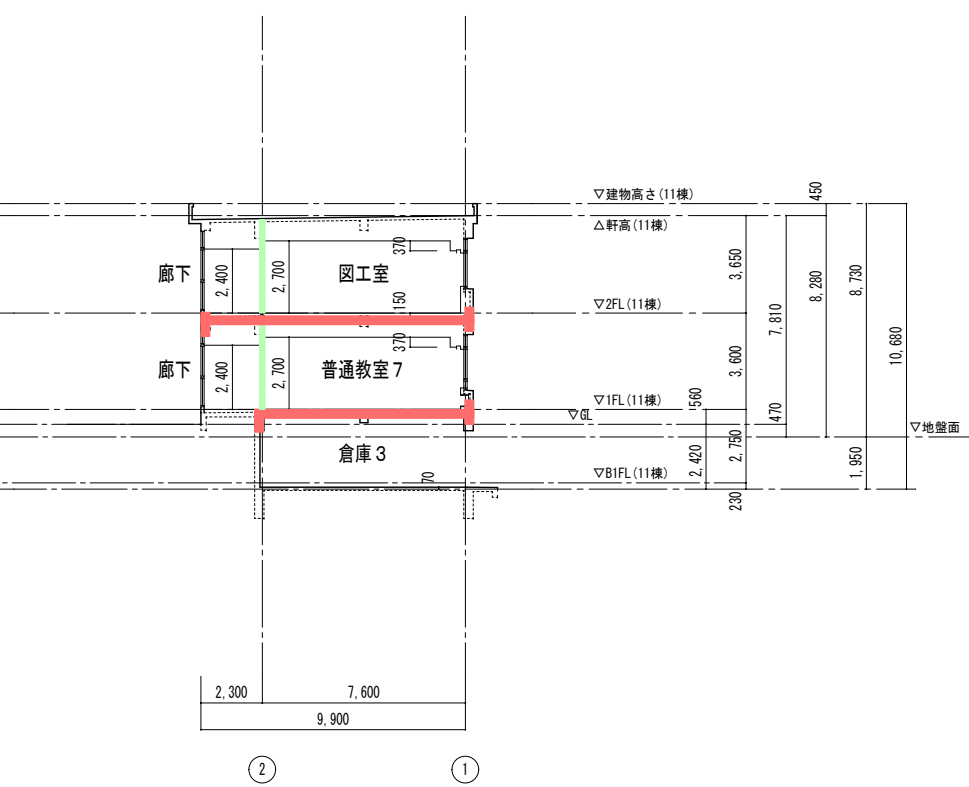
X-X断面図 (改修前) S=1/200



Y-Y断面図 (改修前) S=1/200



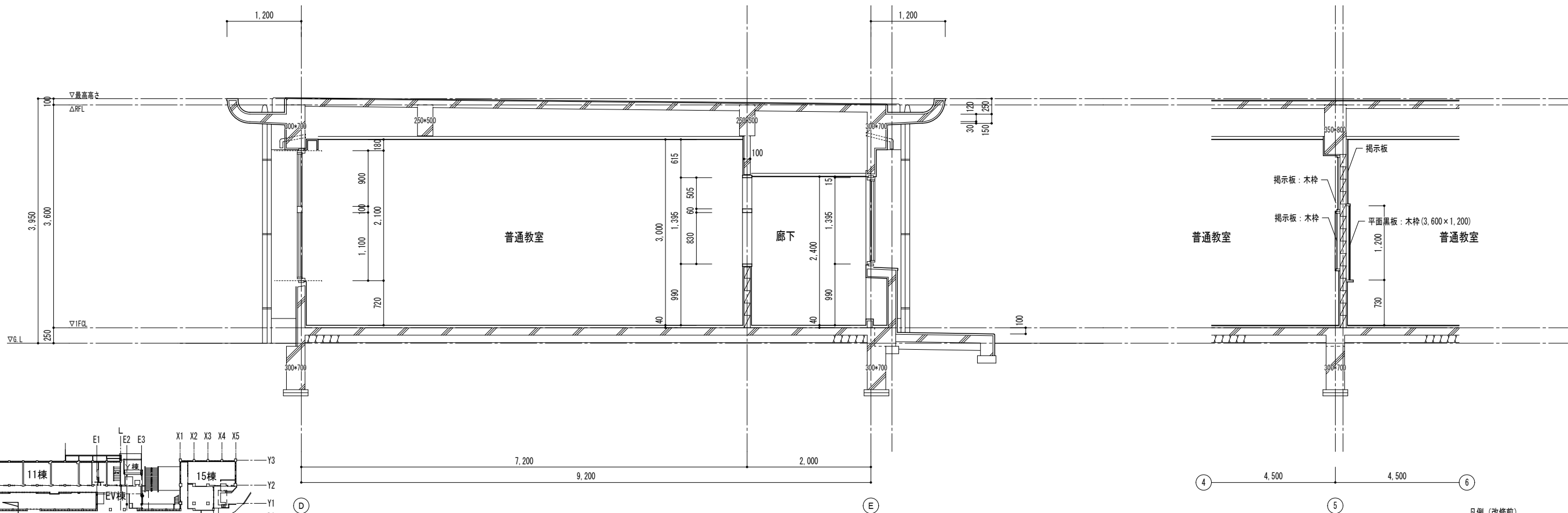
X-X断面図 (改修後) S=1/200



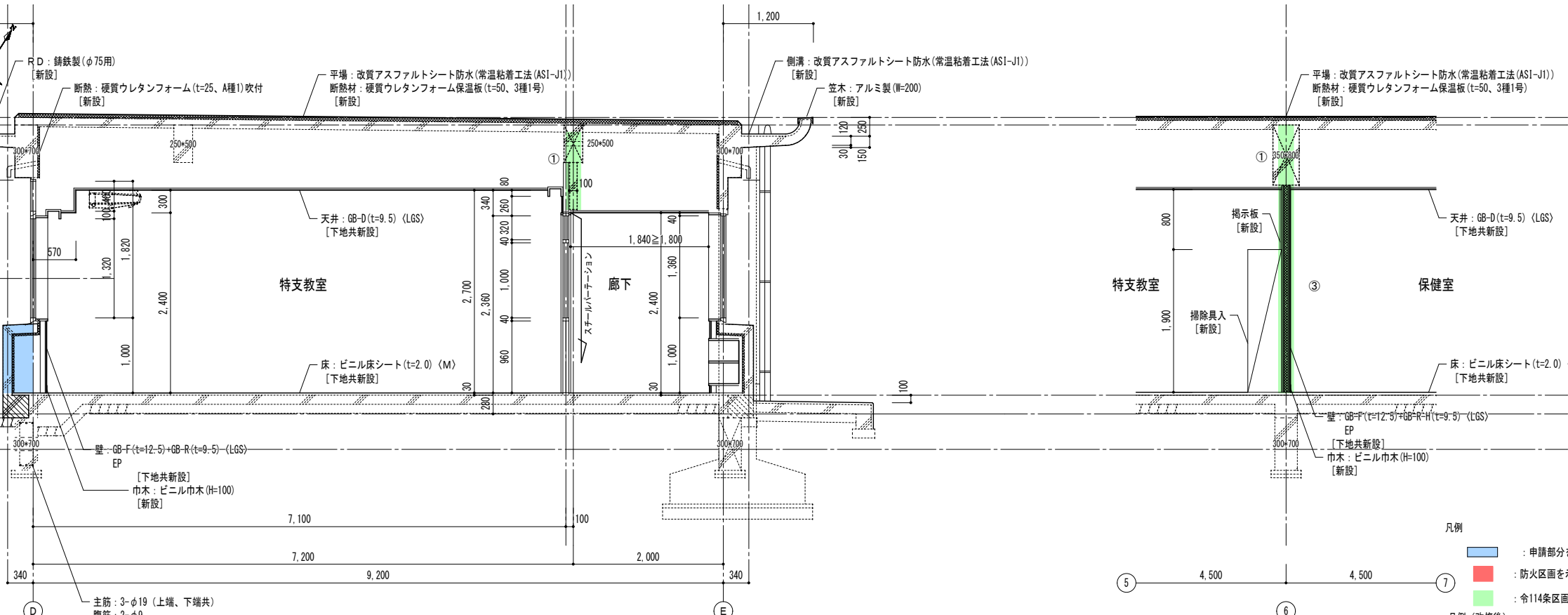
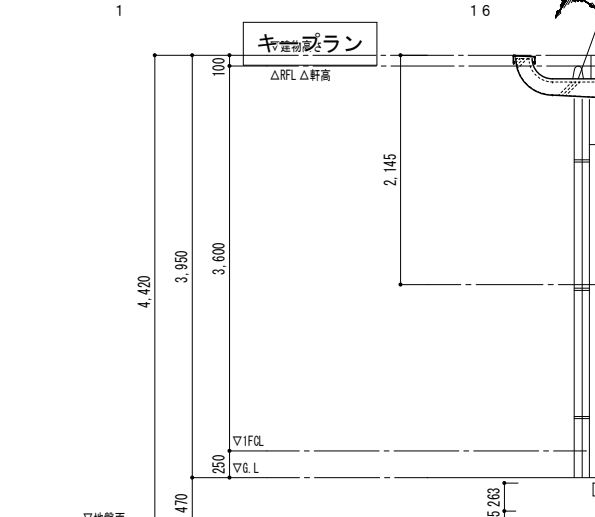
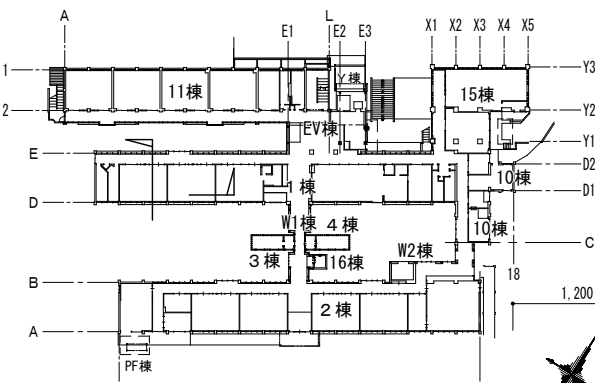
Y-Y断面図 (改修後) S=1/200

■ : 防火区画を示す
■ : 令114条区画を示す

改修前



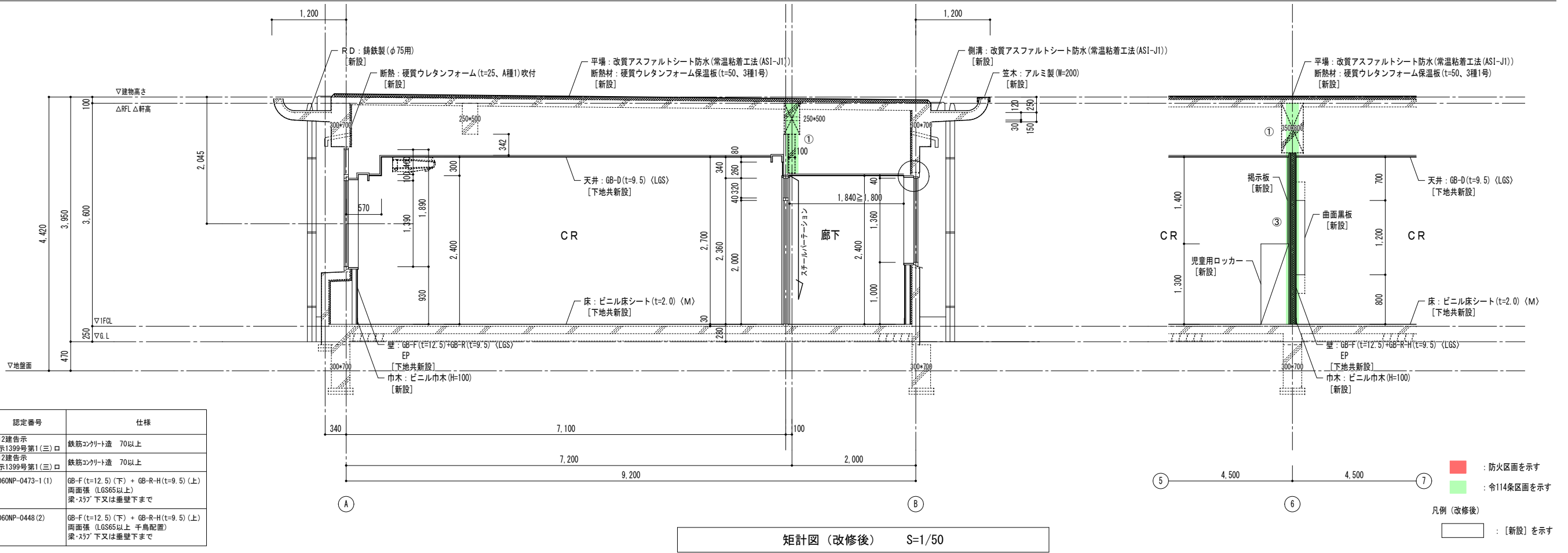
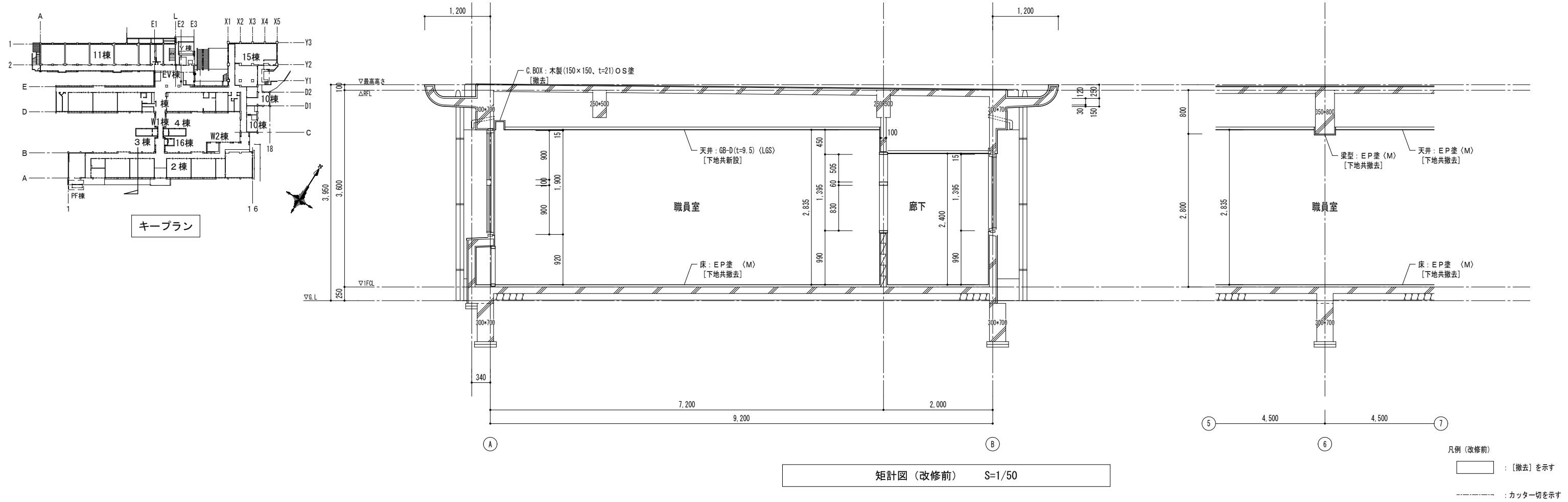
矩計図 (改修前) S=1/50



矩計図 (改修後) S=1/50

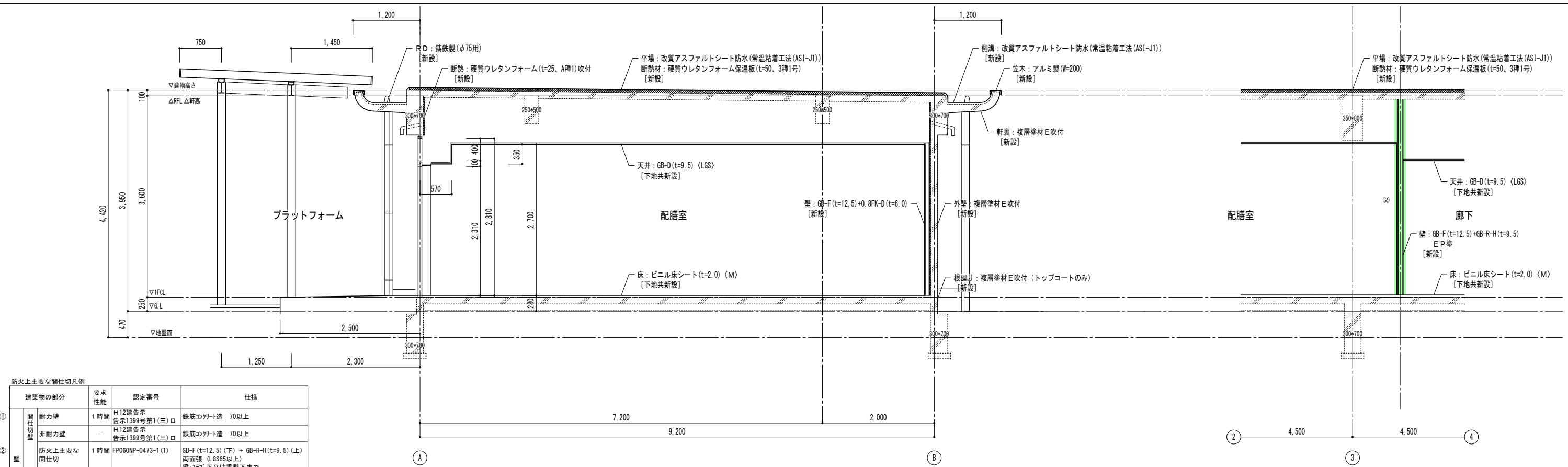
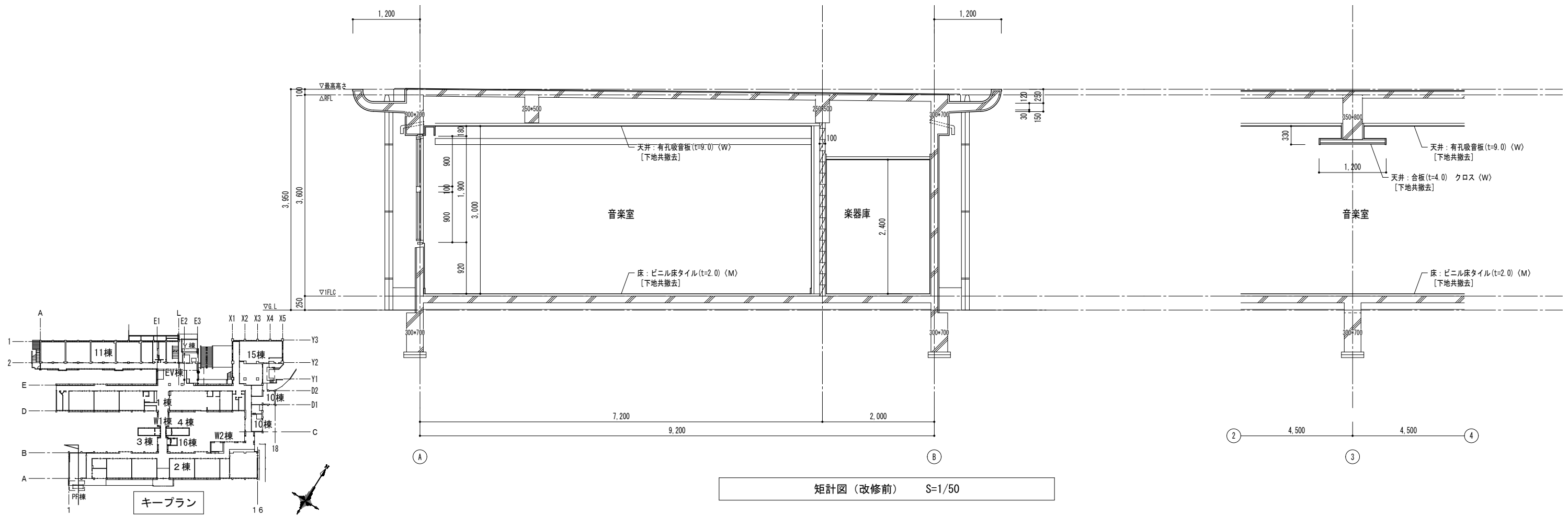
防火上主要な間仕切凡例	建築物の部分	要求性能	認定番号	仕様
① 間仕切壁	耐力壁	1時間	H12建告示 告示1399号第1(三)ロ	鉄筋コンクリート造 70以上
	非耐力壁	-	H12建告示 告示1399号第1(三)ロ	鉄筋コンクリート造 70以上
② 壁	防火上主要な間仕切	1時間	FP060NP-0473-1(1)	GB-F(t=12.5)(下) + GB-R-H(t=9.5)(上) 両面張 (LGS85以上) 梁・スラブ下又は垂壁下まで
	防火上主要な間仕切 (遮音壁)	1時間	FP060NP-0448(2)	GB-F(t=12.5)(下) + GB-R-H(t=9.5)(上) 両面張 (LGS85以上 千鳥配置) 梁・スラブ下又は垂壁下まで

凡例
 : 申請部分を示す
 : 防火区画を示す
 : 令114条区画を示す
 凡例 (改修後)
 : 【新設】を示す



防火上主要な間仕切凡例

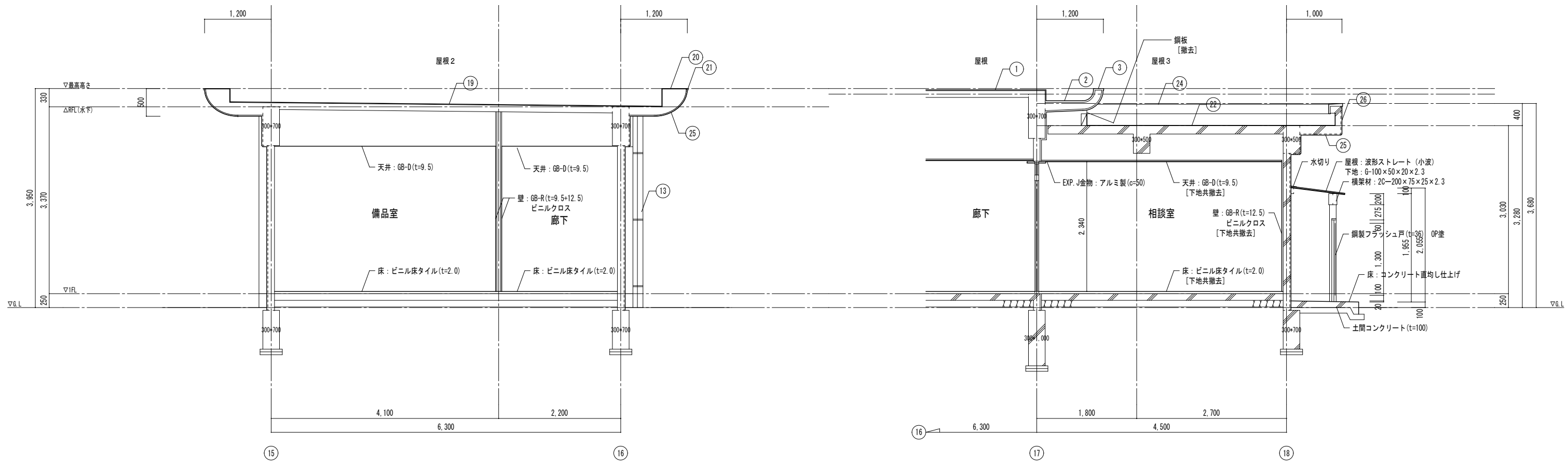
建築物の部分	要求性能	認定番号	仕様
① 間仕切壁	耐力壁	H12建告示 告示1399号第1(三)口	鉄筋コンクリート造 70以上
	非耐力壁	H12建告示 告示1399号第1(三)口	鉄筋コンクリート造 70以上
② 壁	防火上主要な間仕切	FPO60NP-0473-1(1)	GB-F(t=12.5)(下) + GB-R-H(t=9.5)(上) 両面張 (LGS65以上) 梁・ｽﾗﾌﾞ 下又は垂壁下まで
	防火上主要な間仕切(遮音壁)	FPO60NP-0448(2)	GB-F(t=12.5)(下) + GB-R-H(t=9.5)(上) 両面張 (LGS65以上 千鳥配置) 梁・ｽﾗﾌﾞ 下又は垂壁下まで



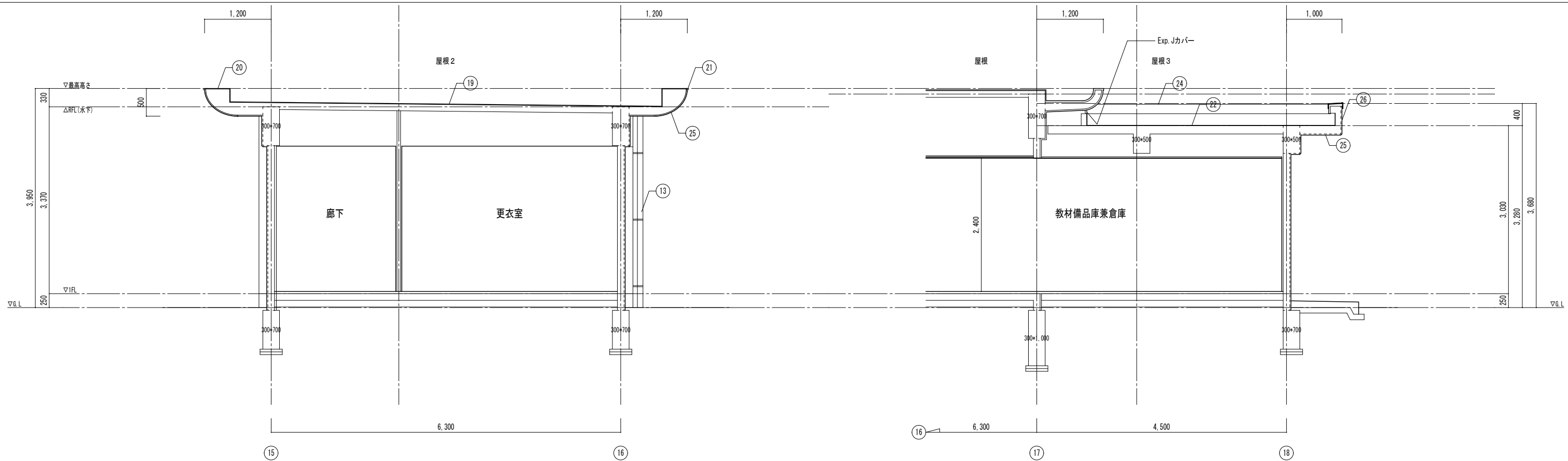
防火上主要な間仕切凡例

建築物の部分	要求性能	認定番号	仕様
① 間仕切壁	耐力壁	H12建告示 告示1399号第1(三)ロ	鉄筋コンクリート造 70以上
	非耐力壁	H12建告示 告示1399号第1(三)ハ	鉄筋コンクリート造 70以上
② 壁	防火上主要な間仕切	FP060NP-0473-1(1)	GB-F(t=12.5) (下) + GB-R-H(t=9.5) (上) 両面張 (LGS65以上) 梁・スラット下又は垂壁下まで
	防火上主要な間仕切 (遮音壁)	FP060NP-0448(2)	GB-F(t=12.5) (下) + GB-R-H(t=9.5) (上) 両面張 (LGS65以上 千鳥配置) 梁・スラット下又は垂壁下まで

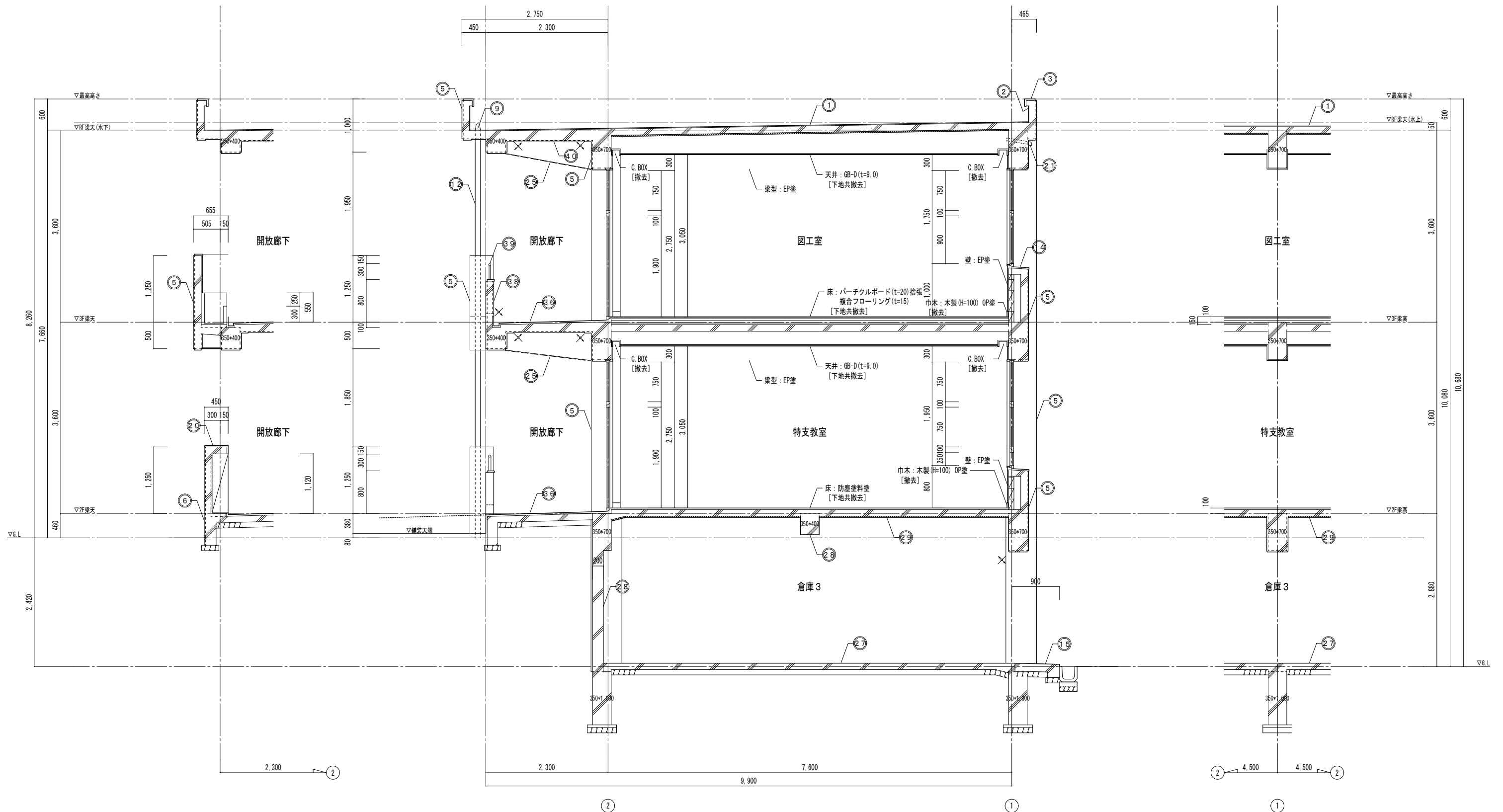
■ : 防火区画を示す
■ : 令114条区画を示す



矩計図(改修前) S=1/50



矩計図(改修後) S=1/50



矩計図 (改修前) S=1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元廣 匡伸

工事名: 令和 8 年度 小学校施設整備事業
下黒瀬小学校長寿命化改良及び
E V 棟増築工事

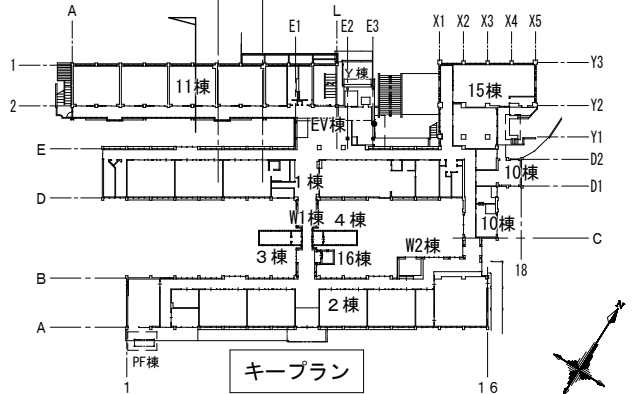
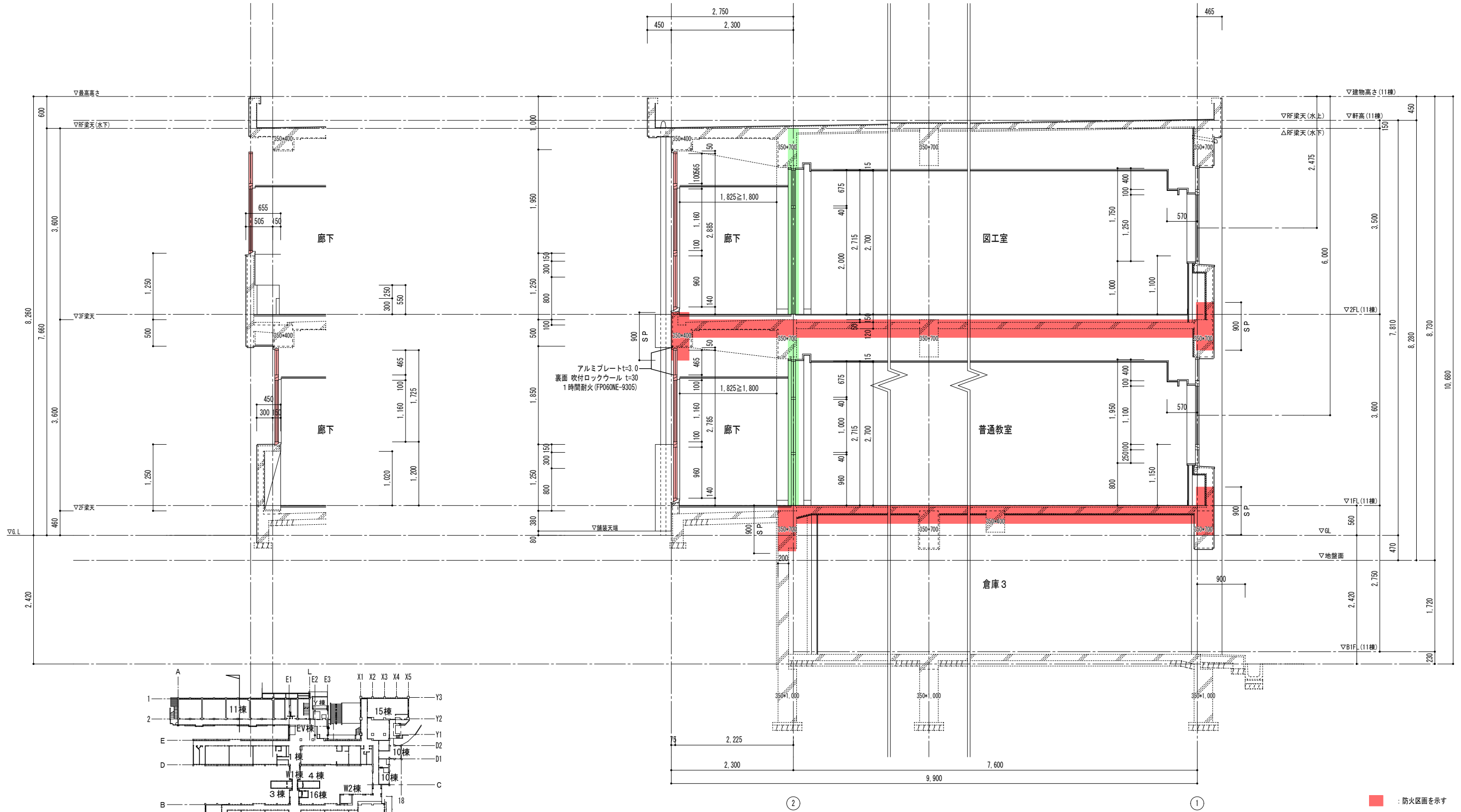
図面名: 1 1 棟
矩計図 (改修前)

縮尺: 1/50
A2版: 100%
A3版: 70%

査図: 部長: 課長: 主任: 担当:

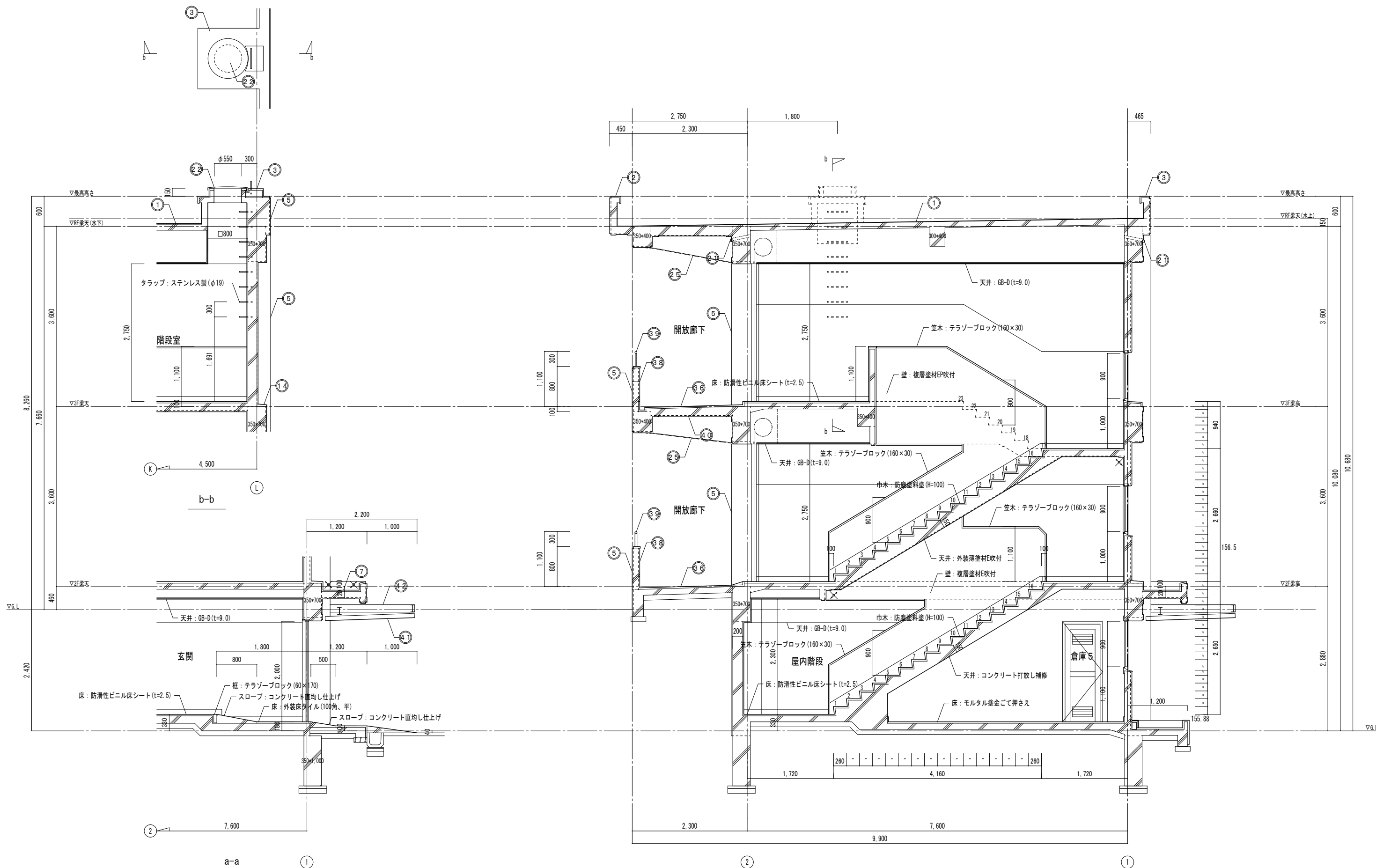
日付: R 7 年

図番: A - 052

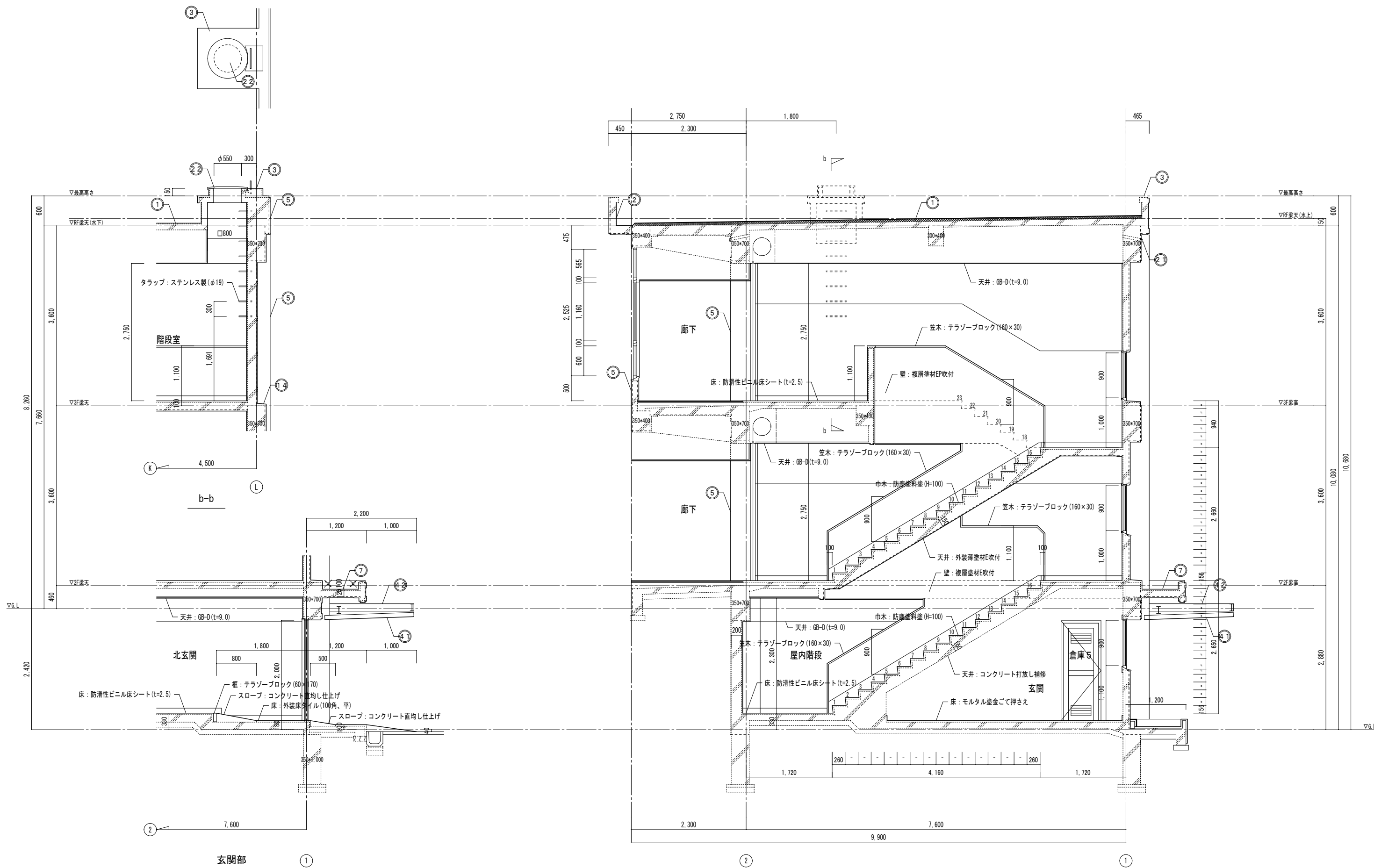


矩計図 (改修後) S=1/50

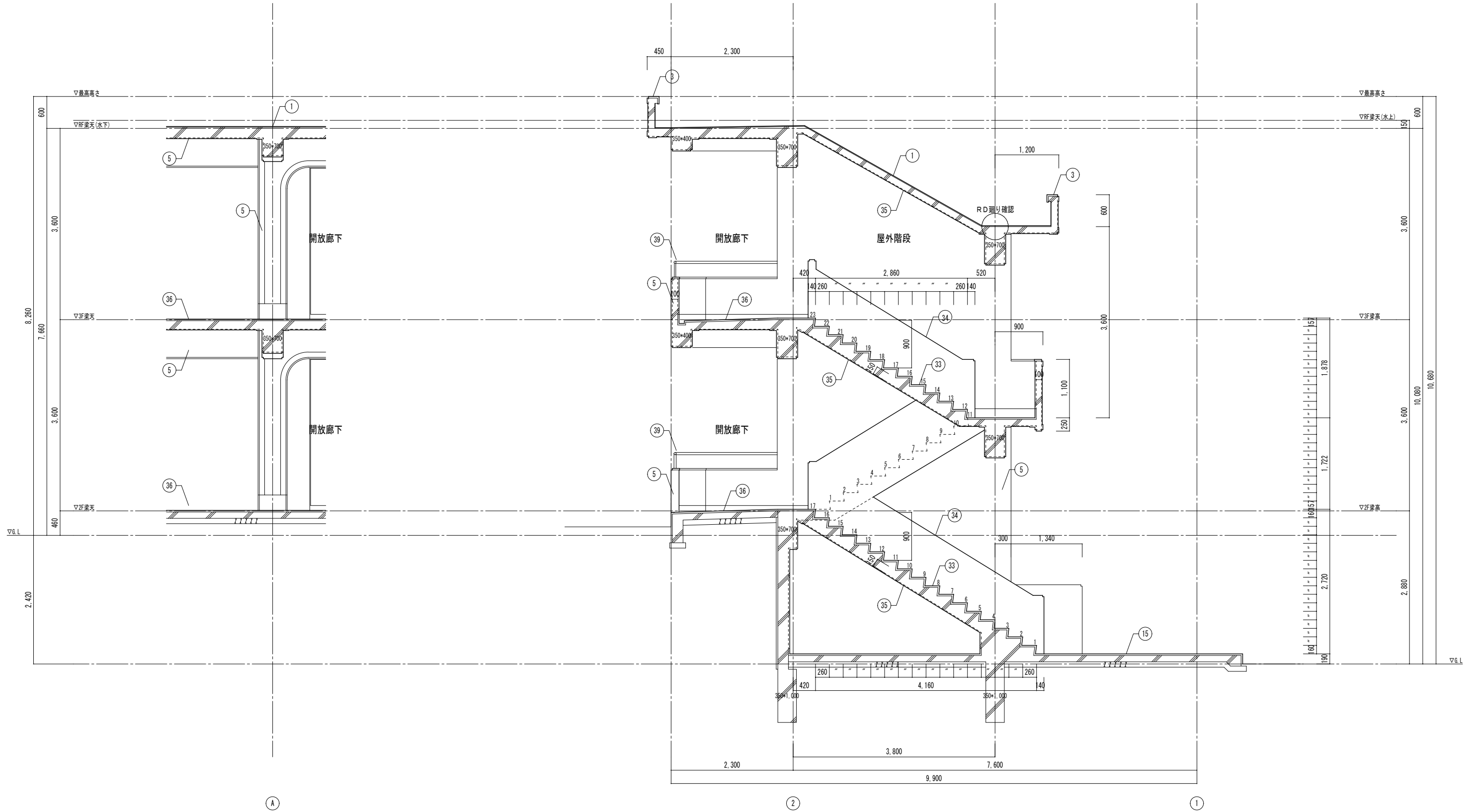
- : 防火区画を示す
- : 令114条区画を示す
- S.P. : スパンドレルを示す



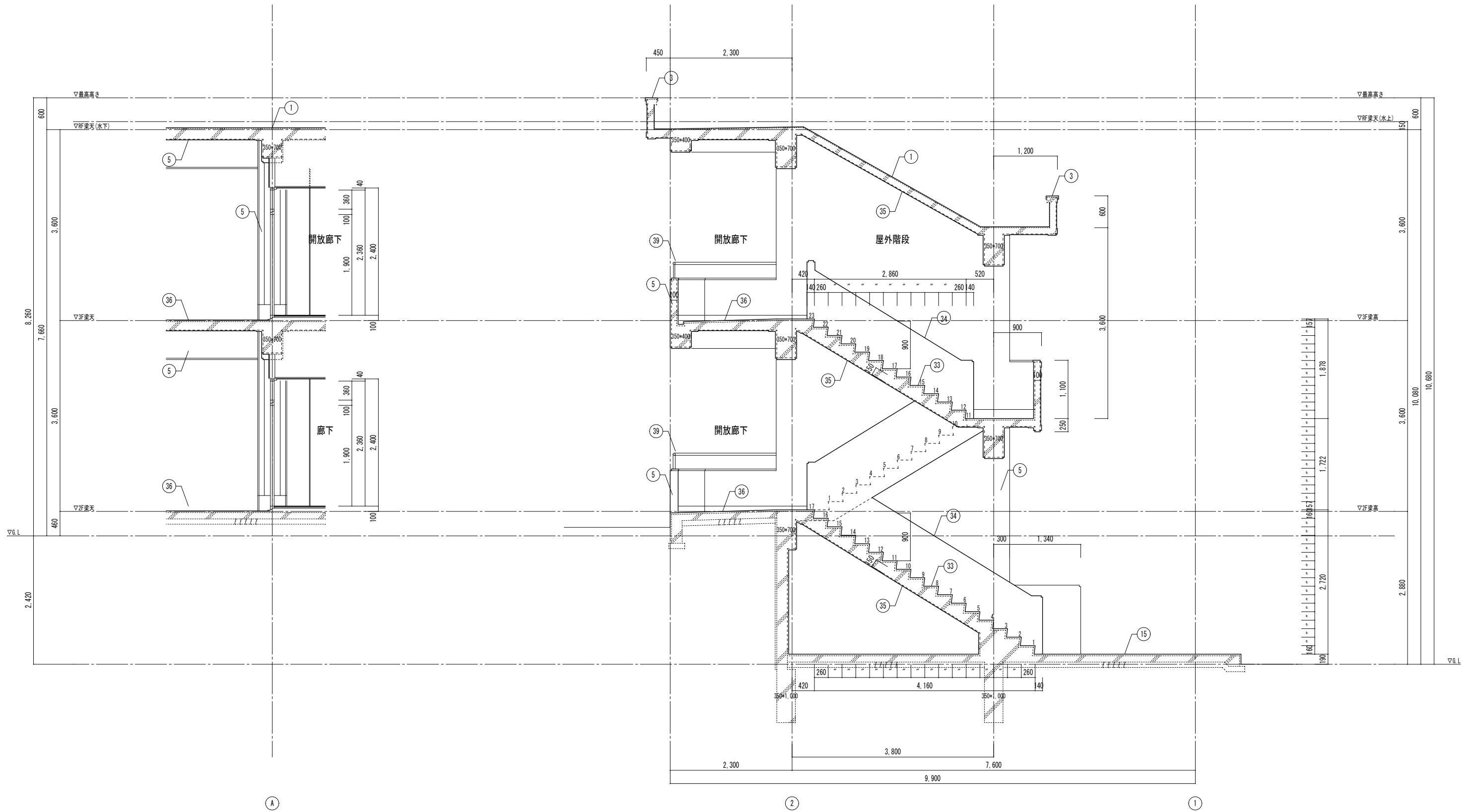
階段詳細図 (改修前) S=1/50



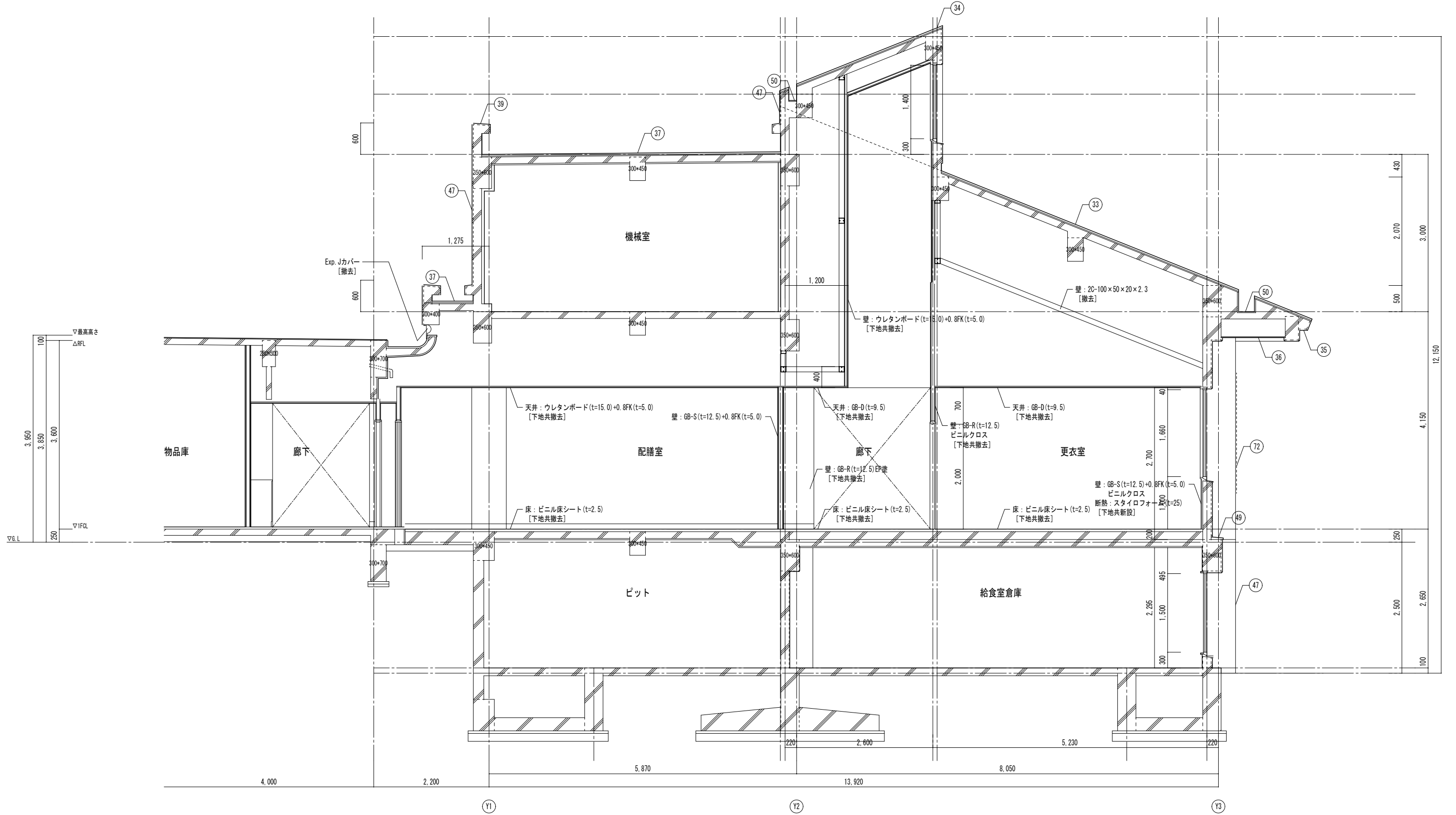
階段詳細図 (改修後) S=1/50



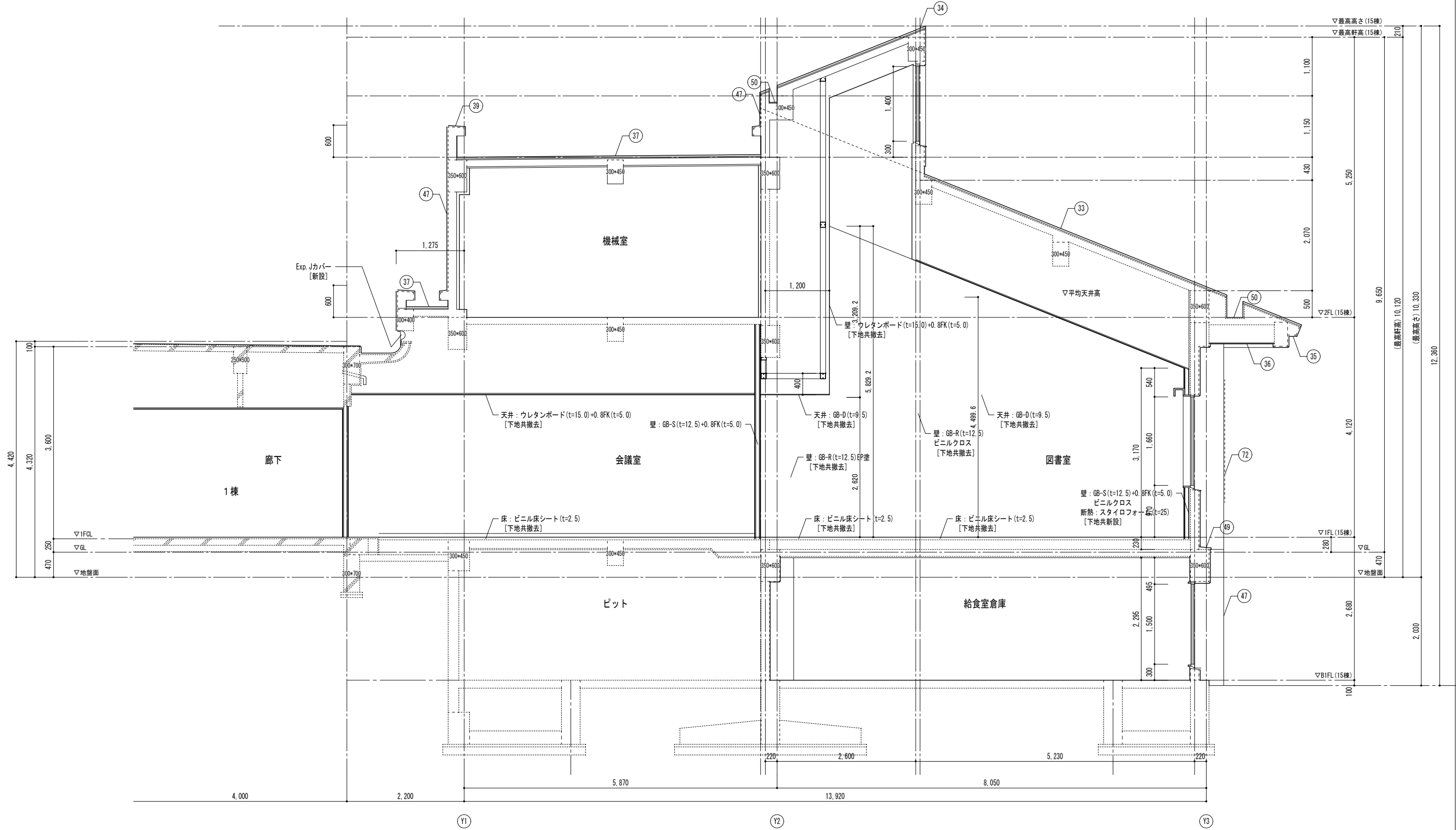
屋外階段詳細図 (改修前) S=1/50



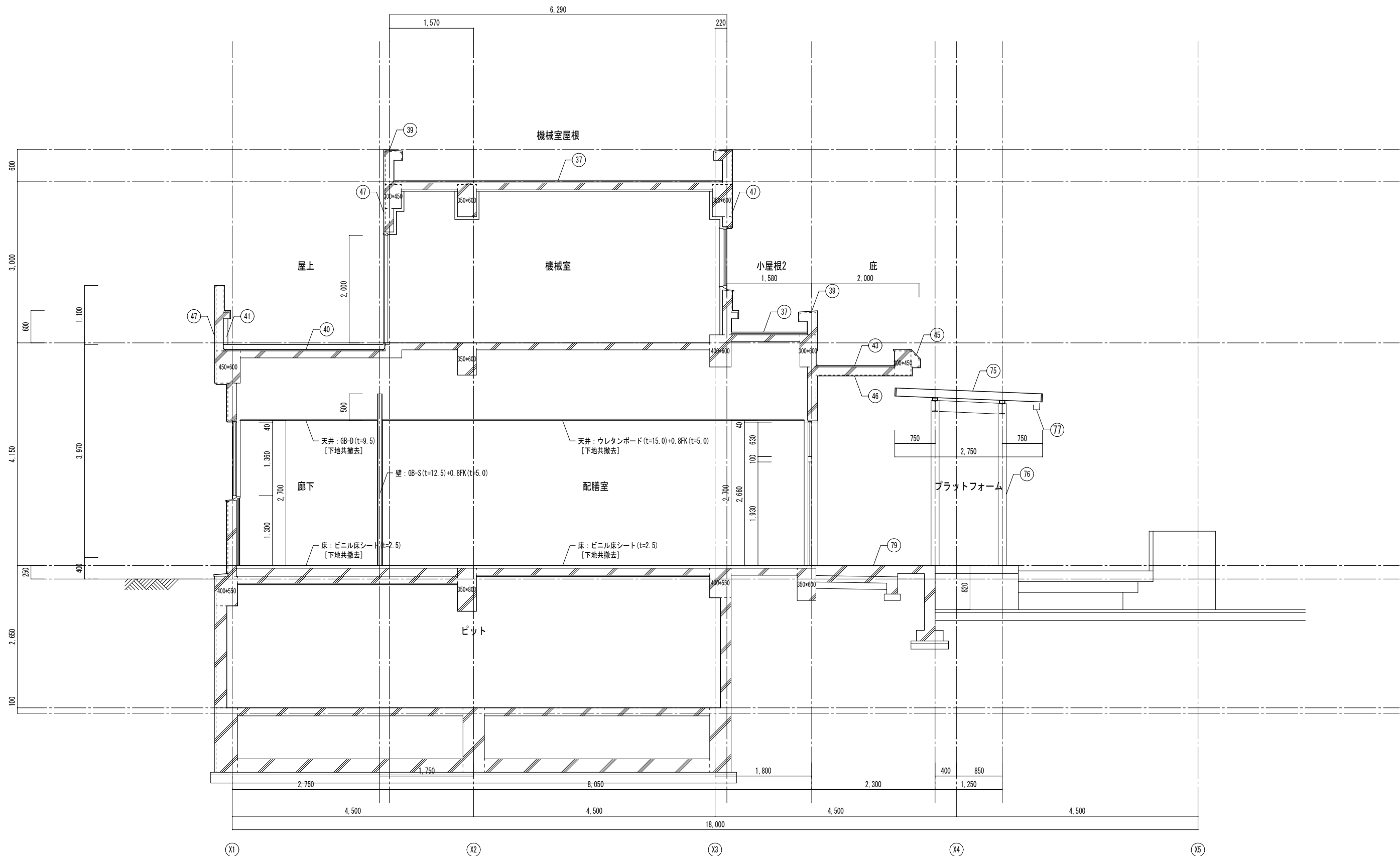
屋外階段詳細図 (改修後) S=1/50



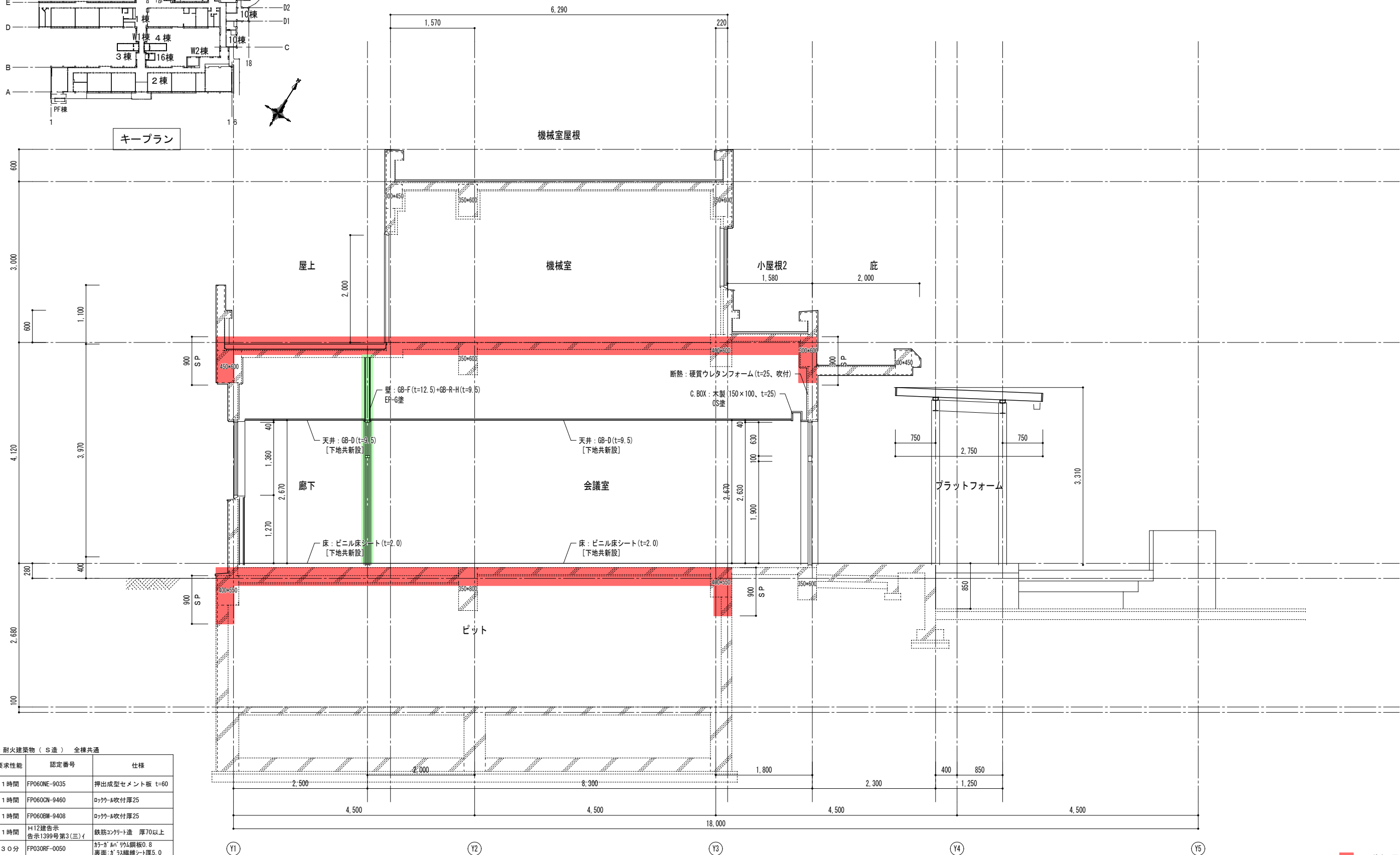
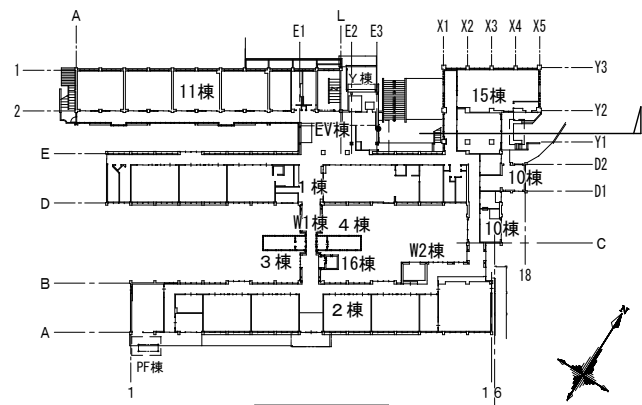
矩計図 1 (改修前) S=1/50



矩計図 1 (改修後) S=1/50

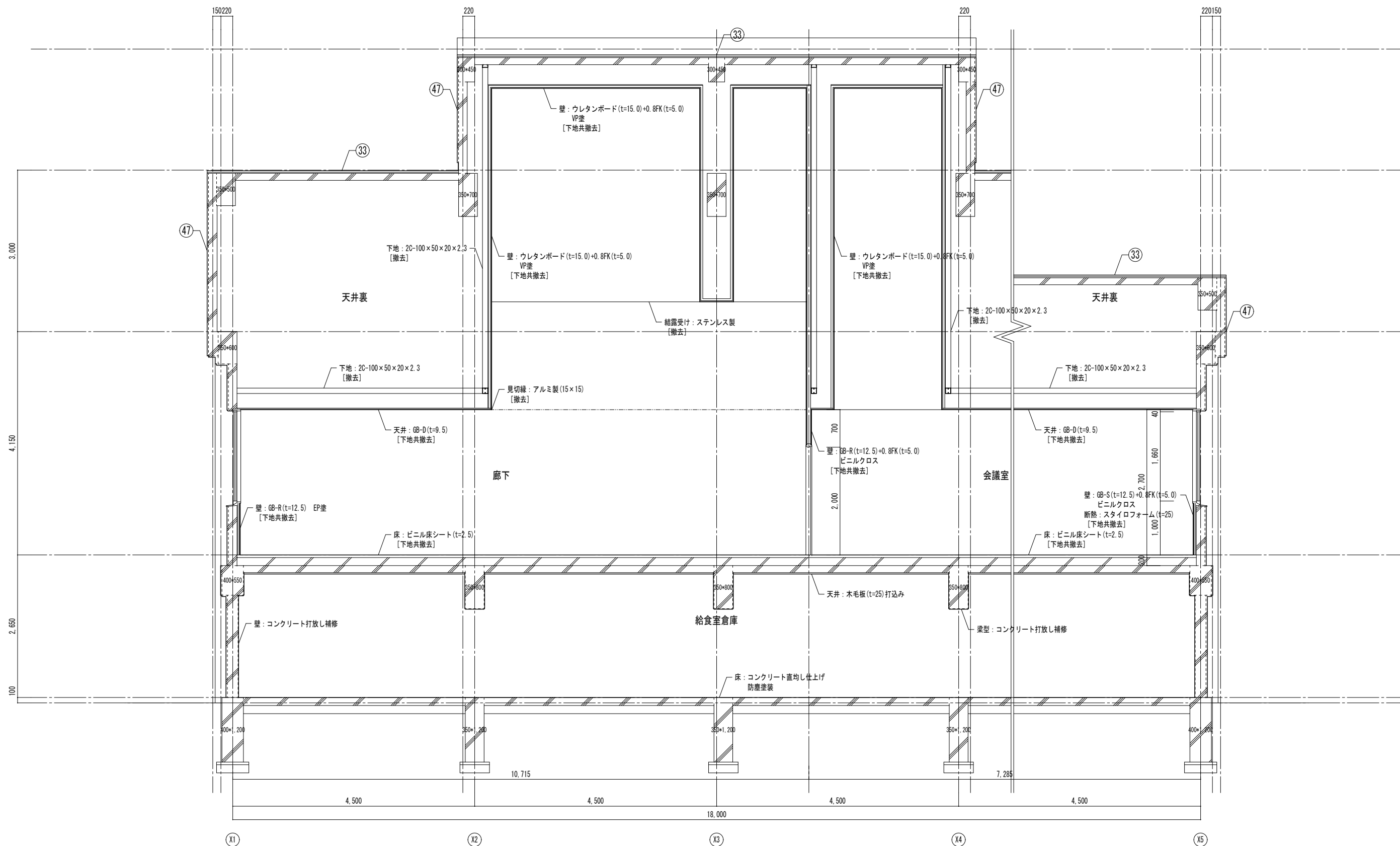


矩計図 2 (改修前) S=1/50

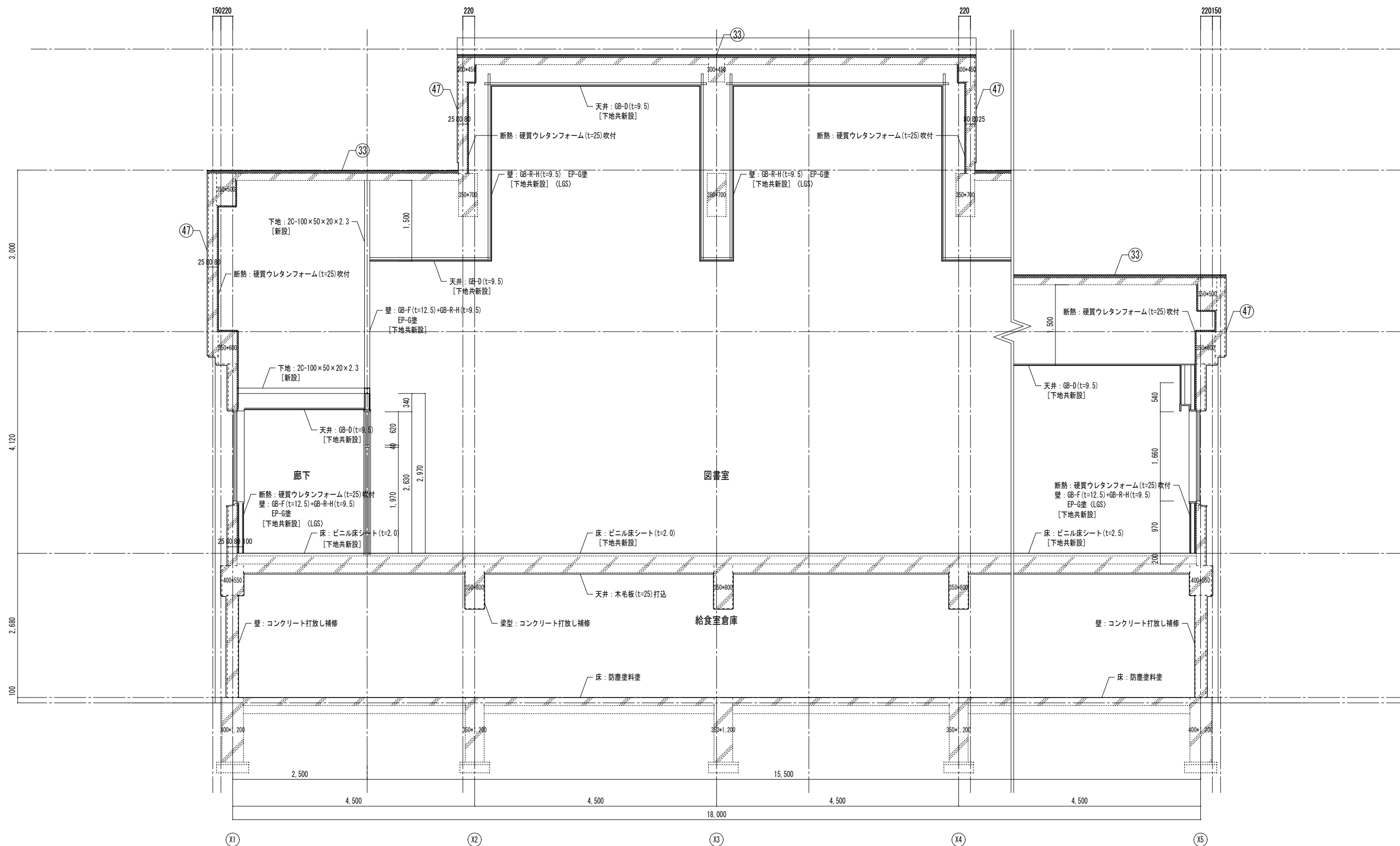


矩計図 2 (改修後) S=1/50

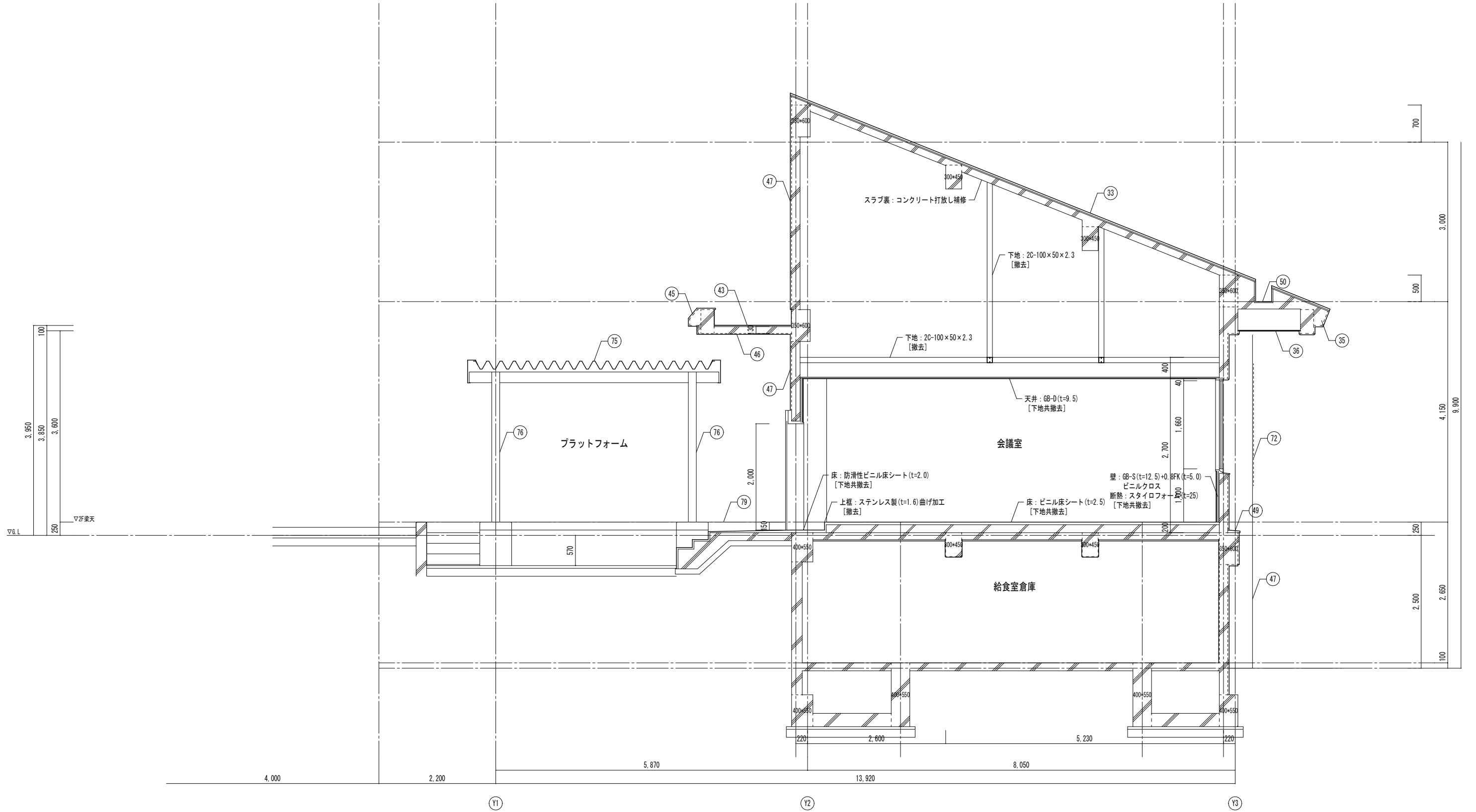
■ : 防火区画を示す
■ : 令114条区画を示す
 SP : スパンドレルを示す



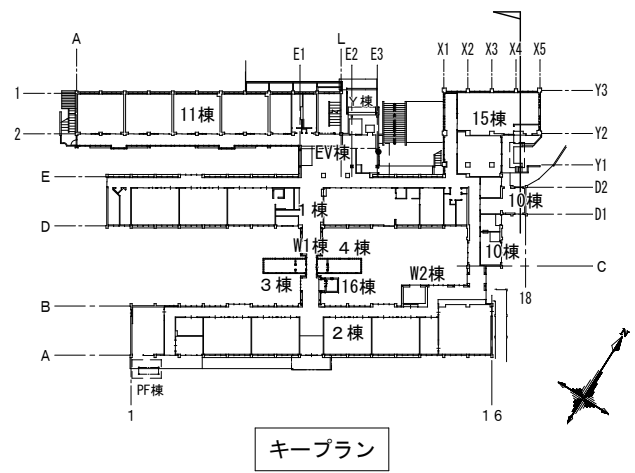
矩計図 3 (改修前) S=1/50



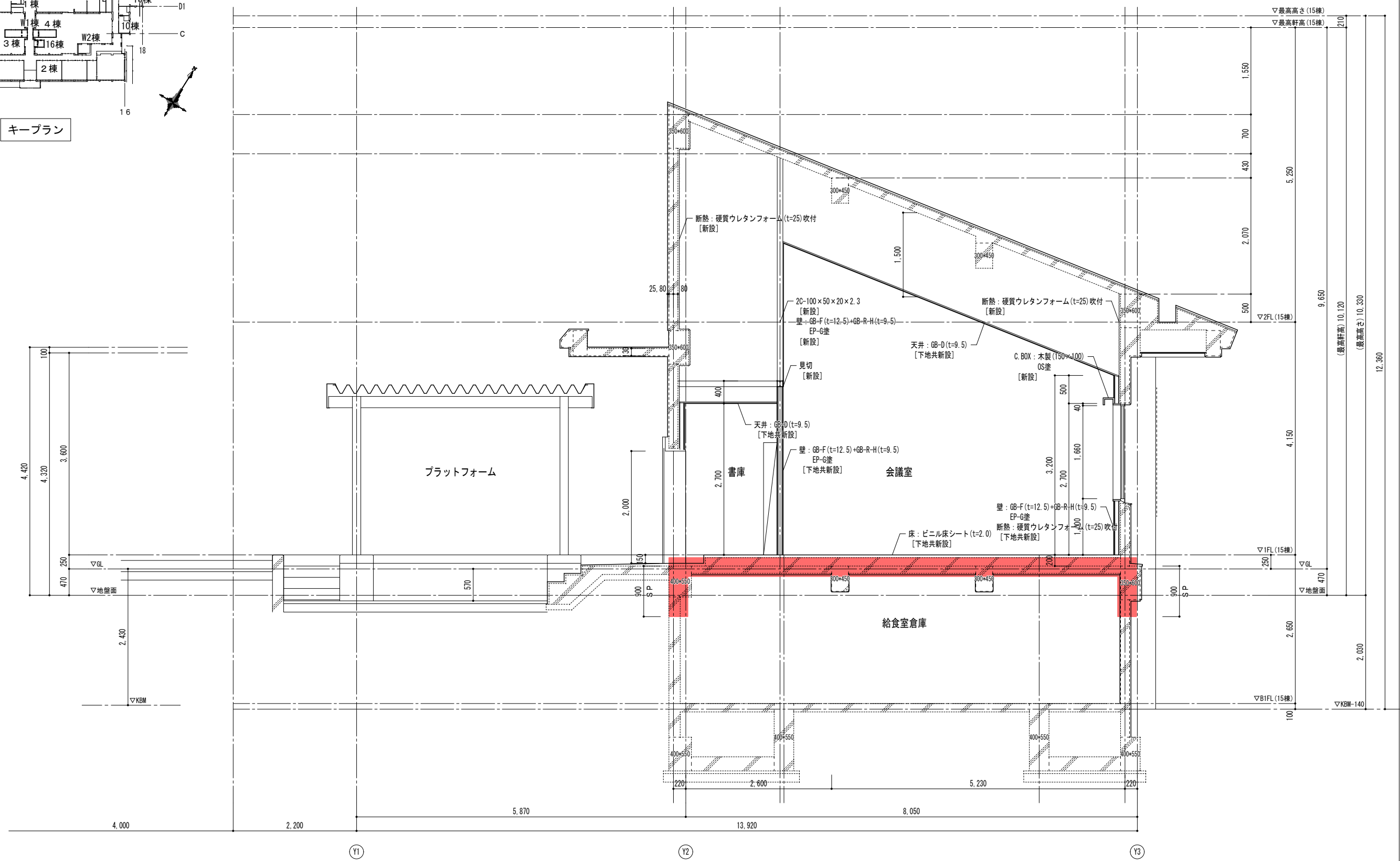
矩計図 3 (改修後) S=1/50



矩計図 4 (改修前) S=1/50

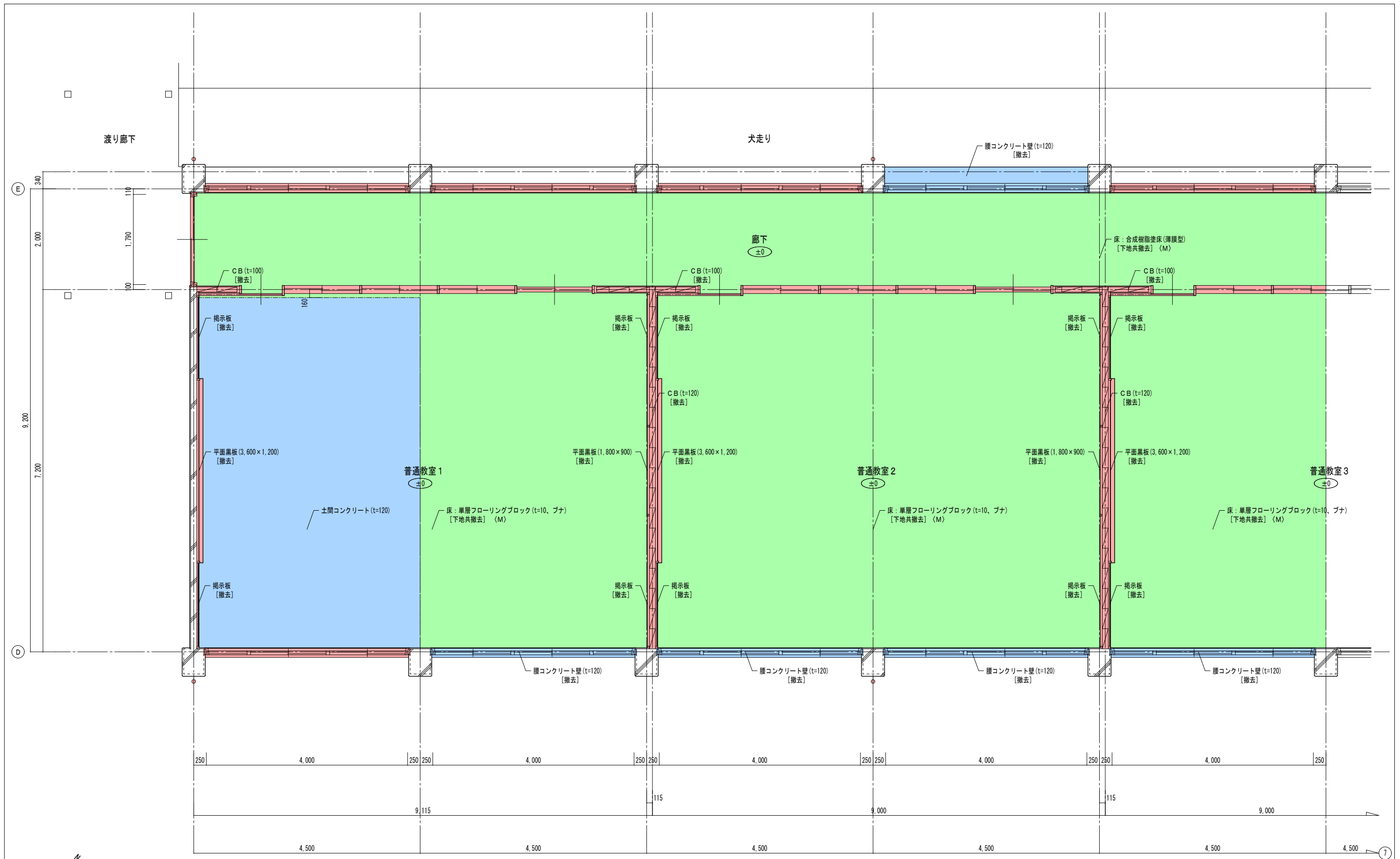


キープラン



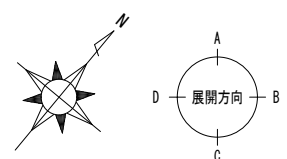
矩計図 4 (改修後) S=1/50

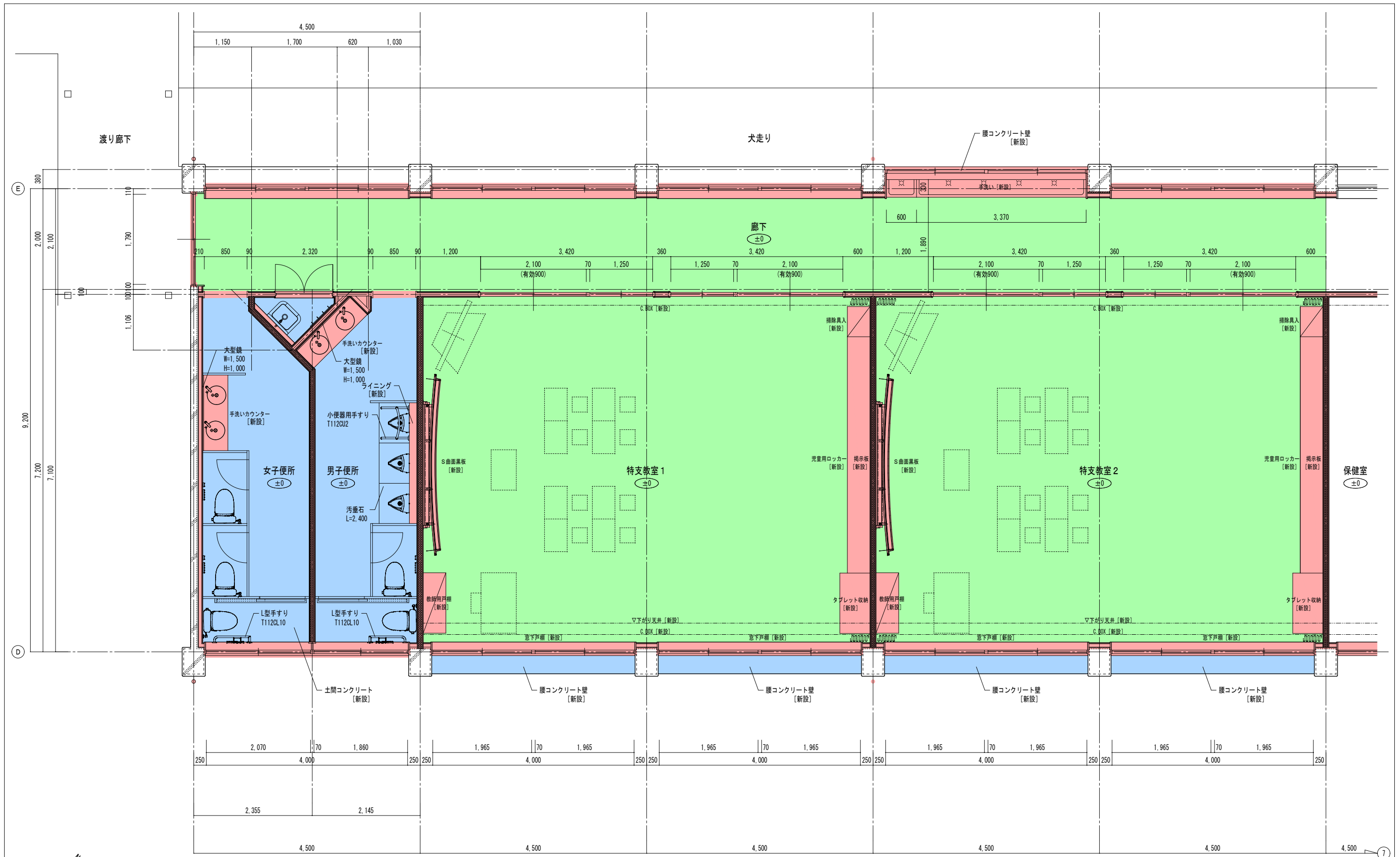
- : 防火区画を示す
- : 令114条区画を示す
- SP : スパンドレルを示す



平面詳細図 1 (改修前) S=1/50

- 凡例 (改修前)
- [Red box] : [撤去] を示す
 - [Blue box] : [躯体共撤去] を示す
 - [Green box] : [下地共撤去] を示す
 - [Dashed line] : カッター切を示す
- 特記事項
- ・特記以外の改修内容は仕上表及び仕様書、他部分詳細図等による
 - ・天井改修は天井伏図参照





平面詳細図 1 (改修後) S=1/50

- 凡例 (改修後)
- : [新設] を示す
 - : [躯体共新設] を示す
 - : [下地共新設] を示す

特記事項

- ・特記以外の改修内容は仕上表及び仕様書、他部分詳細図等による
- ・家具新設部分は [下地共新設] とする
- ・天井改修は天井伏図参照

